
令和4年度
健康づくりに関する県民意識調査
報告書 ※暫定版（抜粋）

令和5年3月

熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課

目 次

I. 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査時期	1
3 調査対象	1
4 調査方法	1
5 回収結果	1
6 集計上の留意点	1
II. 調査結果	2
あなた自身のことについて	2
運動・身体活動について	6
食生活について	10
ストレス・休養について	14
喫煙について	22
飲酒について	33
歯・口腔について	38
健診・がん検診について	49
糖尿病について	71
新型コロナウイルス感染症の影響について	81

I. 調査概要

1 調査の目的

県民の健康状態を把握し、必要な施策につなげるとともに、第5次くまもと21ヘルスプラン（熊本県健康増進計画）、第5次歯科保健医療計画、第4次熊本県健康食生活・食育推進計画の基礎資料とする。

2 調査時期

令和4年11月に実施

3 調査対象

熊本県全域において、県内居住の20歳以上の男女4,500人。
(住民基本台帳から無作為抽出。)

4 調査方法

郵送による配布・回収及びインターネット上での回収

5 回収結果

配布件数	回収件数	回収率
4,500件	2,108件	46.9%

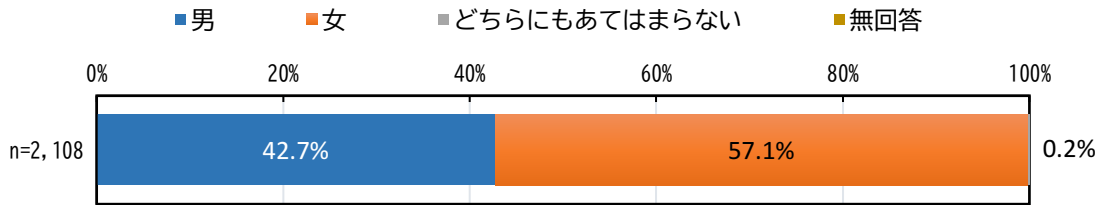
6 集計上の留意点

- (1) グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- (2) 集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の場合は、回答者実数より多くなっている場合がある。
- (4) 回答者が無い場合の設問では一部集計表・グラフを省いている。

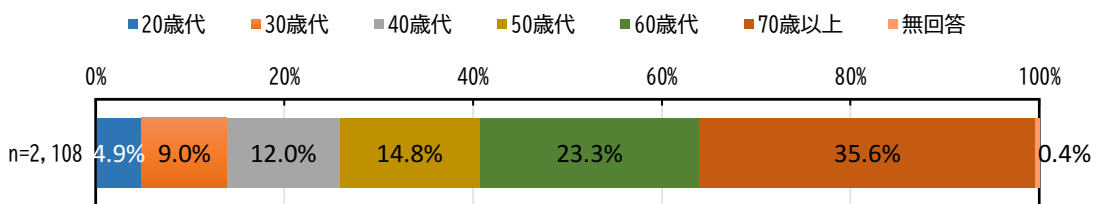
Ⅱ. 調査結果

あなた自身のことについて

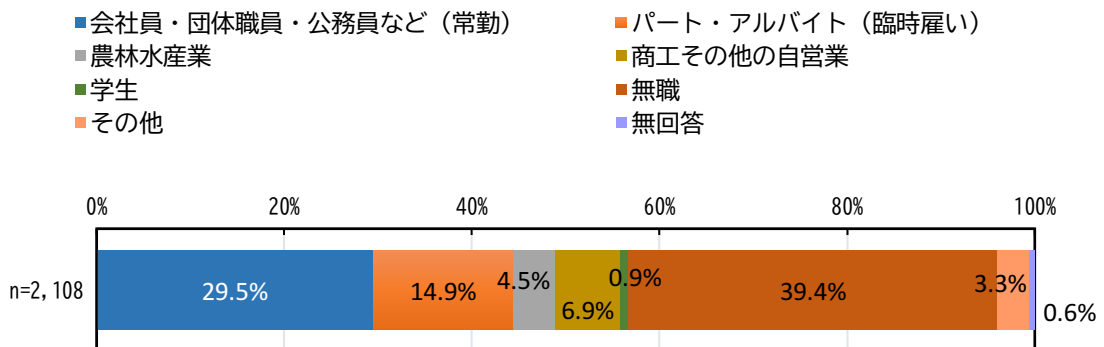
性別



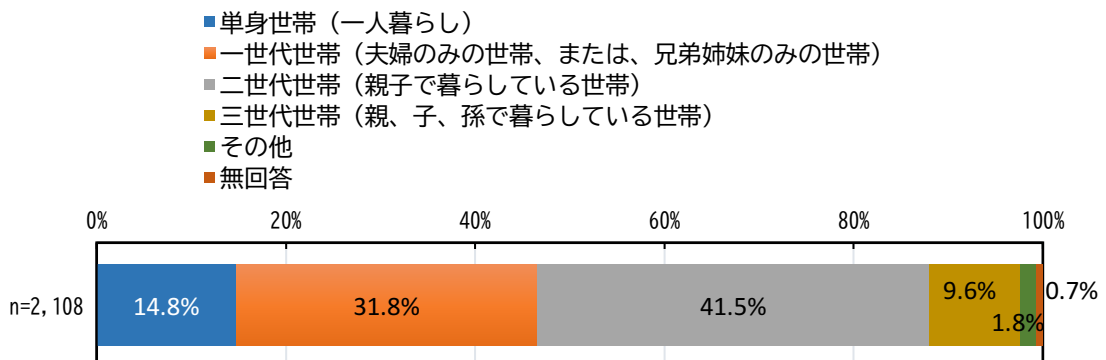
年齢



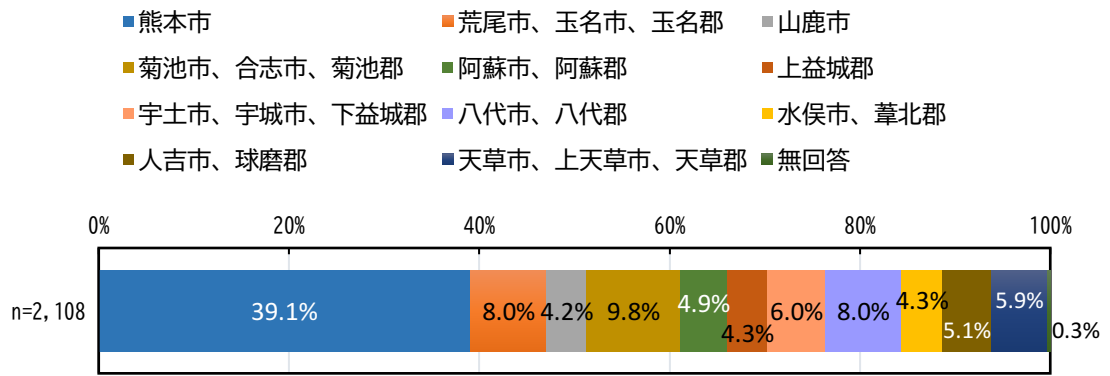
職業



世帯構成居住地



居住地



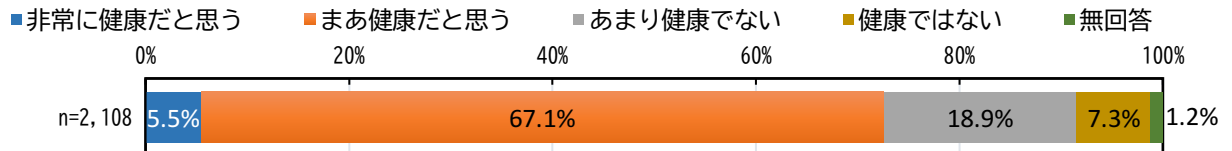
問6 あなたは、自分のことを健康だと思えますか。1つ選んで○をつけてください。

現在の健康状態について、『健康だと思う』（「非常に健康だと思う」と「まあ健康だと思う」の合算）と回答した割合は72.6%となっており、『健康ではない』（「あまり健康でない」と「健康ではない」の合算）26.2%を大きく上回っている。

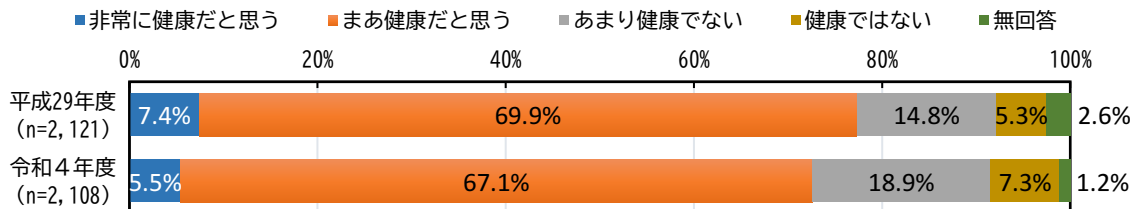
前回調査と比較すると、『健康ではない』と回答した割合は6.1ポイント高くなっている。性別でみると、男女で大きな差異は見られない。

性・年代別でみると、年代が上がるにつれて『健康ではない』と回答した割合が高くなっている。

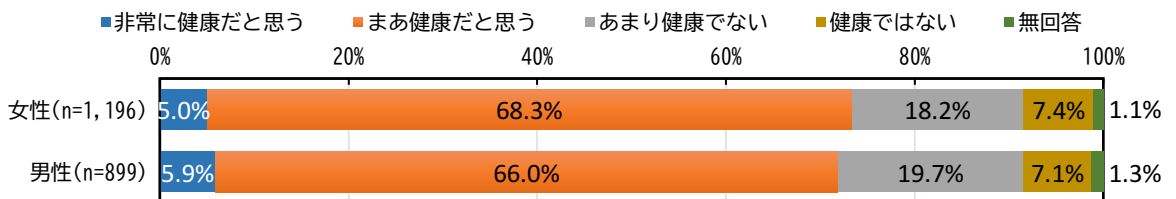
【現在の健康状態】



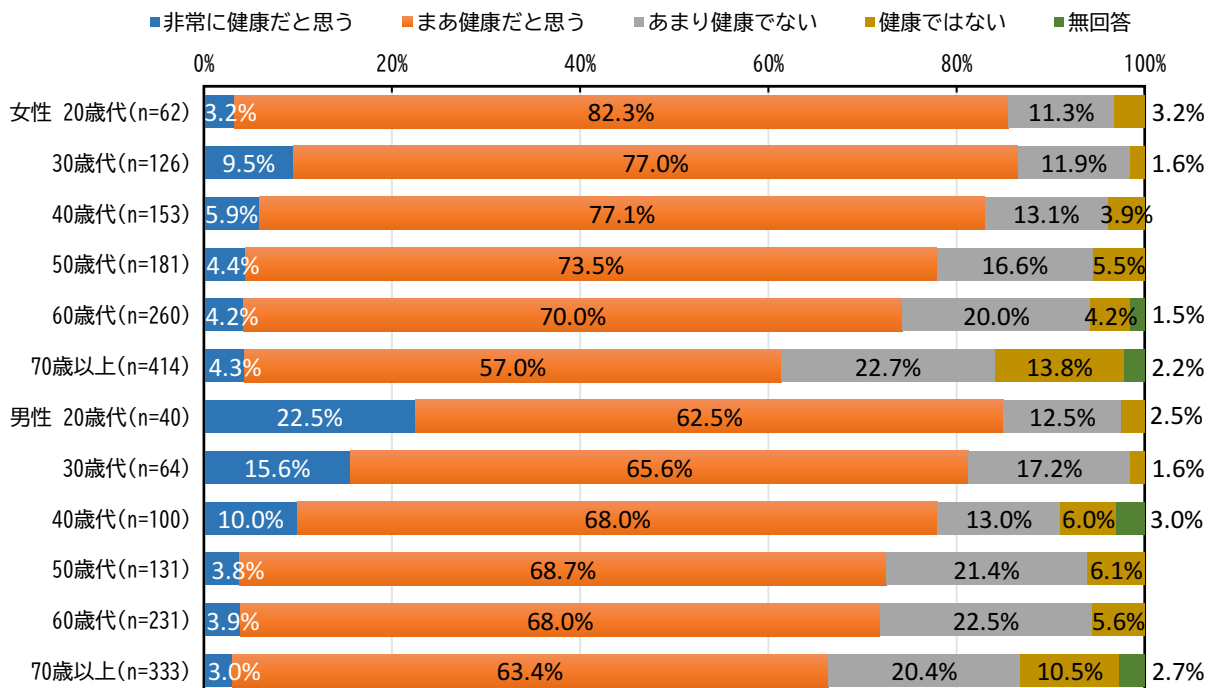
(経年比較)



(性別)



(性・年代別)



運動・身体活動について

問7 あなたは、1日に30分以上の少し息がはずむ程度の運動をどのくらい行っていますか。1つ選んで○をつけてください。

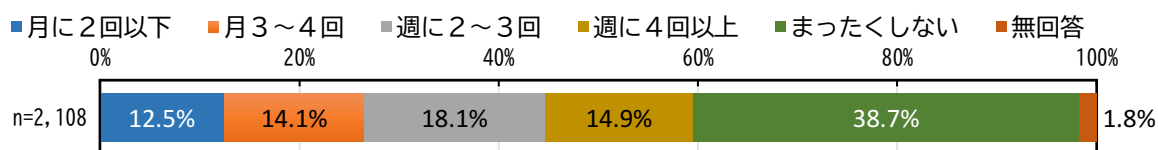
運動の頻度について、「まったくしない」38.7%が最も高く、次いで「週に2～3回」18.1%、「週に4回以上」14.9%となっている。

前回調査と比較すると、「まったくしない」と回答した割合はわずかに低く、「週に4回以上」と回答した割合は3.3ポイント高くなっている。

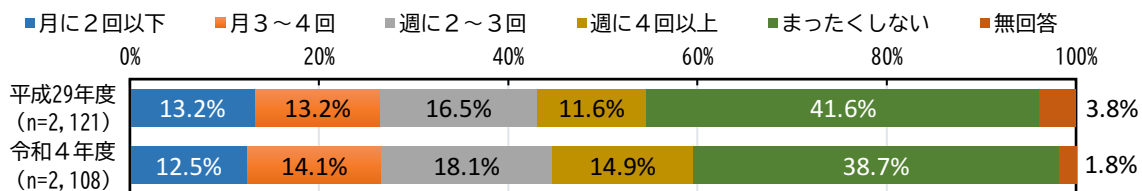
性別でみると、男性では「週に2回以上」と回答した割合が19.5%と女性と比べて7.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女ともに60歳代以上では、「週に2～3回」「週に4回以上」と回答した割合が他の年代と比べて高くなっている。

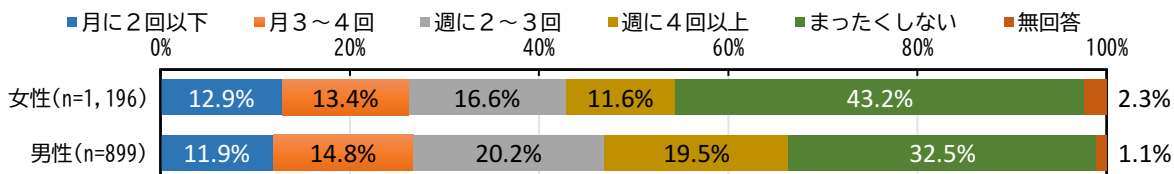
【運動の頻度】



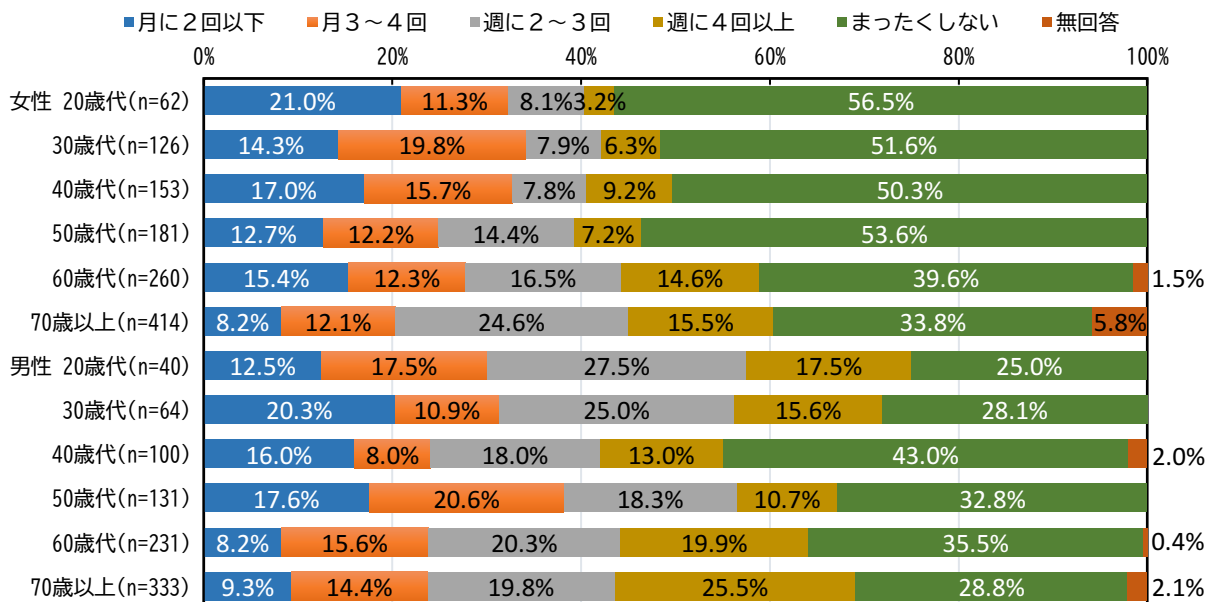
(経年比較)



(性別)



(性・年代別)



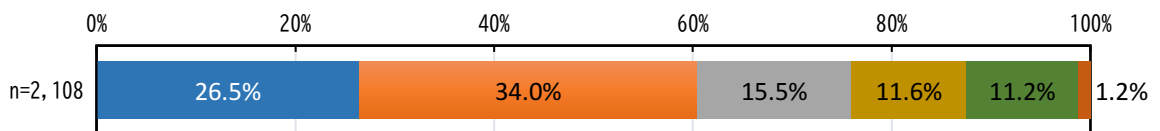
問8 あなたは、日常の生活や運動で平均して1日どのくらいの時間歩きますか。1つ選んで○をつけてください。

1日の平均歩行時間について、「30分以上～1時間未満」34.0%が最も高く、次いで「30分未満」26.5%、「1時間以上～2時間未満」15.5%となっている。

前回調査と比較すると、「30分以上～1時間未満」「1時間以上～2時間未満」と回答した割合が高くなっている。性別でみると、男女で大きな差異はみられない。性・年代別でみると、20歳代の男性では、1時間以上歩いていると回答した割合が半数を占め、他の性・年代と比べて高くなっている。

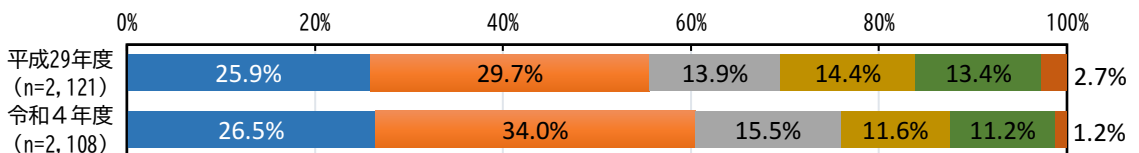
【平均歩行時間】

■ 30分未満 ■ 30分以上～1時間未満 ■ 1時間以上～2時間未満 ■ 2時間以上 ■ ほとんどない ■ 無回答



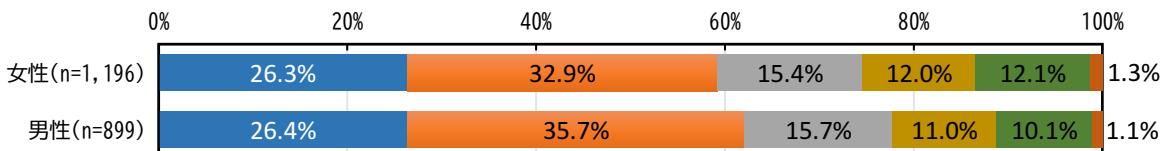
(経年比較)

■ 30分未満 ■ 30分以上～1時間未満 ■ 1時間以上～2時間未満 ■ 2時間以上 ■ ほとんどない ■ 無回答



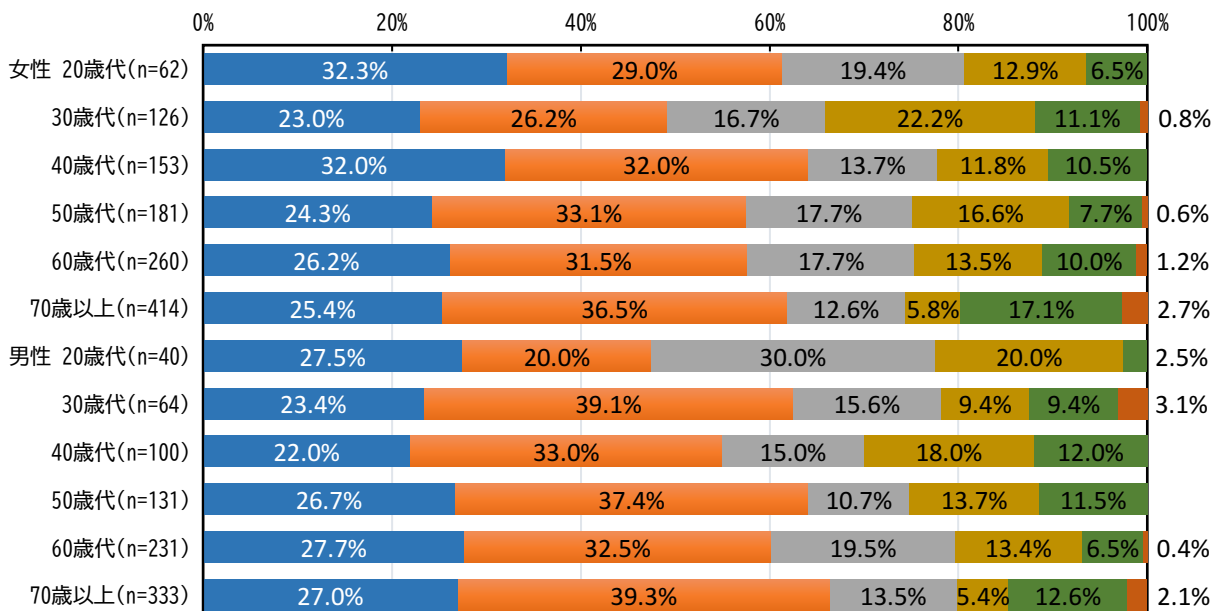
(性別)

■ 30分未満 ■ 30分以上～1時間未満 ■ 1時間以上～2時間未満 ■ 2時間以上 ■ ほとんどない ■ 無回答



(性・年代別)

■ 30分未満 ■ 30分以上～1時間未満 ■ 1時間以上～2時間未満 ■ 2時間以上 ■ ほとんどない ■ 無回答



食生活について

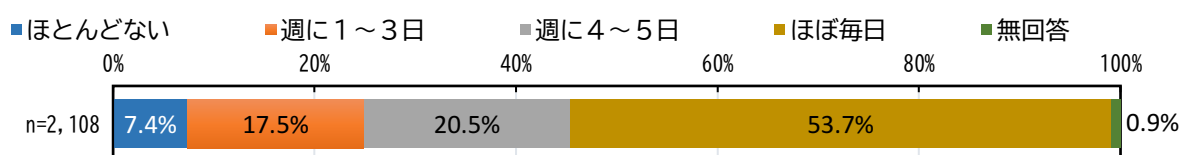
問9 あなたは、主食・主菜・副菜を3つそろえて1日2回以上食べることが週に何日ありますか。1つ選んで○をつけてください。

バランスの良い食事の摂取について、「ほぼ毎日」53.7%が最も高く、次いで「週に4～5日」20.5%、「週に1～3日」17.5%となっている。

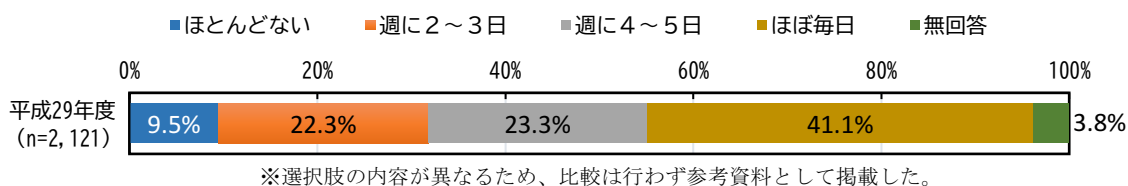
性別で見ると、男女ともに「ほぼ毎日」と回答した割合が最も高くなっている。一方、女性では「週に4～5日」と回答した割合が男性と比べて3.1ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、40歳代以上の女性と60歳代以上の男性では「ほぼ毎日」と回答した割合が半数以上となっている。一方、20歳代から30歳代までの男女ともに、「ほとんどない」と回答した割合は他の性・年代と比べて高くなっている。

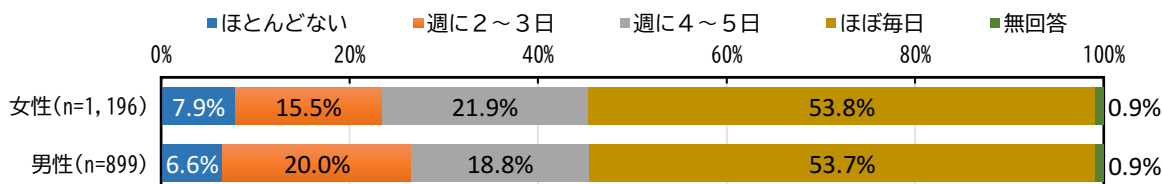
【バランスの良い食事】



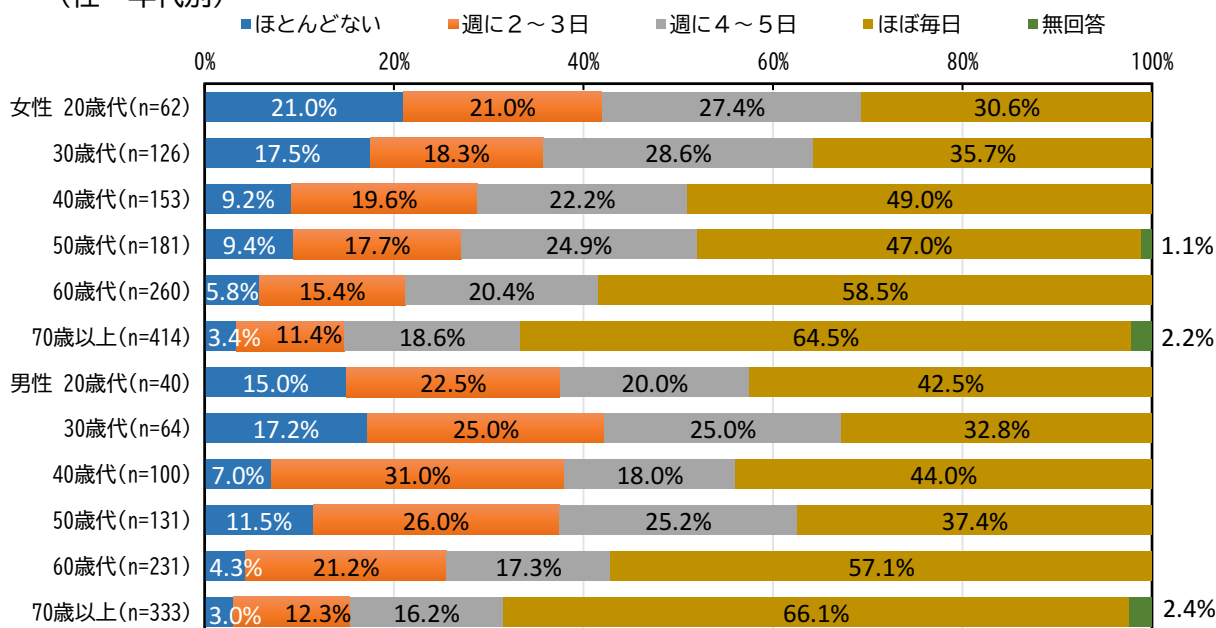
(経年比較)



(性別)



(性・年代別)



問10 あなたが普段、外食や惣菜の購入で利用する飲食店等では、バランスのとれた（主食・主菜・副菜を組み合わせた）メニューが提供されていると思いますか。1つ選んで○をつけてください。

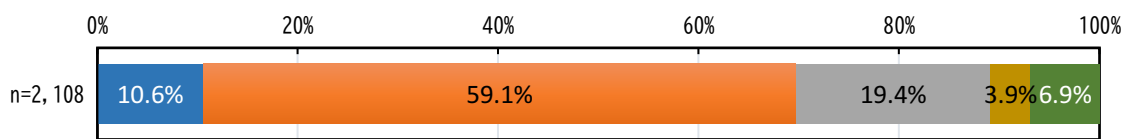
外食や惣菜購入時におけるバランスの取れたメニューの提供について、『提供されている』（「良く提供されている」と「まあ提供されている」の合算）と回答した割合は69.7%となっている。

前回調査と比較すると、『提供されている』と回答した割合は7.8ポイント高くなっている。

性別でみると、男女で大きな差異はみられない。性・年代別でみると、30歳代から40歳代の男性では、『提供されていない』と回答した割合が他の性・年代と比べて高くなっている。

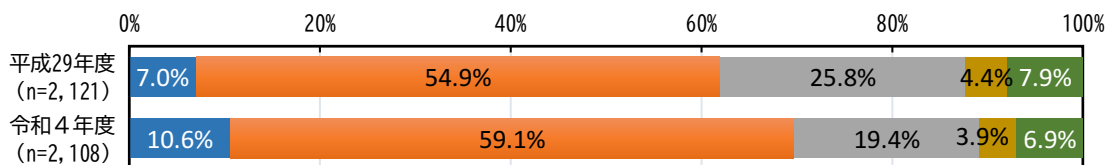
【バランスの取れたメニューの提供】

■よく提供されている ■まあ提供されている ■あまり提供されていない ■ほとんど提供されていない ■無回答



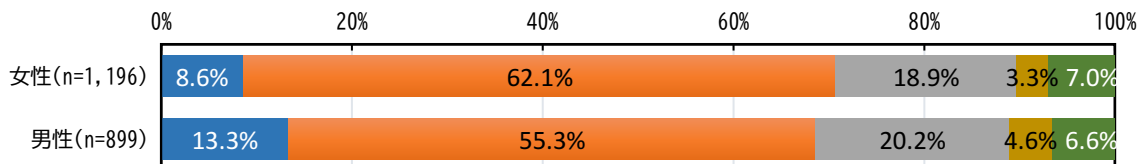
(経年比較)

■よく提供されている ■まあ提供されている ■あまり提供されていない ■ほとんど提供されていない ■無回答



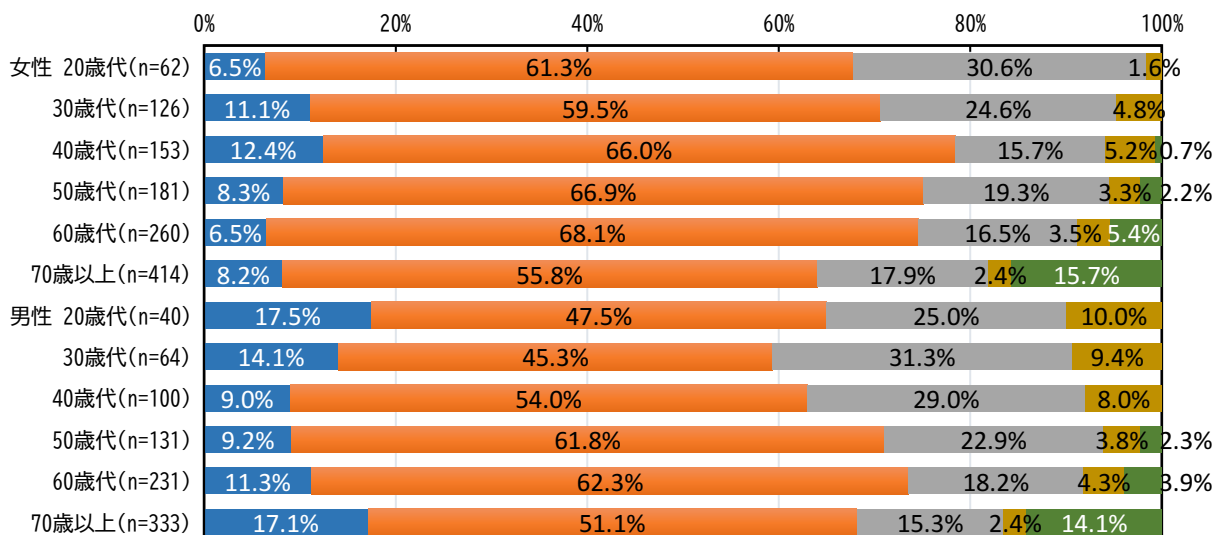
(性別)

■よく提供されている ■まあ提供されている ■あまり提供されていない ■ほとんど提供されていない ■無回答



(性・年代別)

■よく提供されている ■まあ提供されている ■あまり提供されていない ■ほとんど提供されていない ■無回答



ストレス・休養について

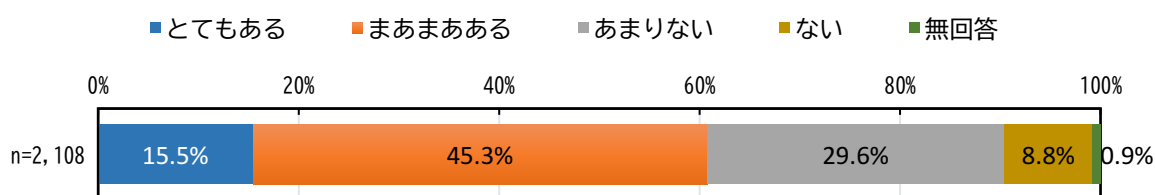
問 11 あなたは、この1ヶ月間に悩みやストレスなどがありますか。1つ選んで○をつけてください。

この1ヶ月間における悩みやストレスについて、『ある』（「とてもある」＋「まあまあある」の合算）と回答した割合は60.8%となっている。

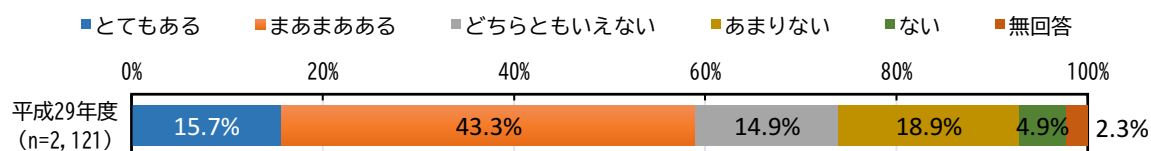
性別で見ると、女性では『ある』と回答した割合が男性と比べて9.0ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、70歳以上の女性と60歳以上の男性では『ある』と回答した割合は他の性・年代と比べて低くなっている。

【この1か月の悩みやストレス】

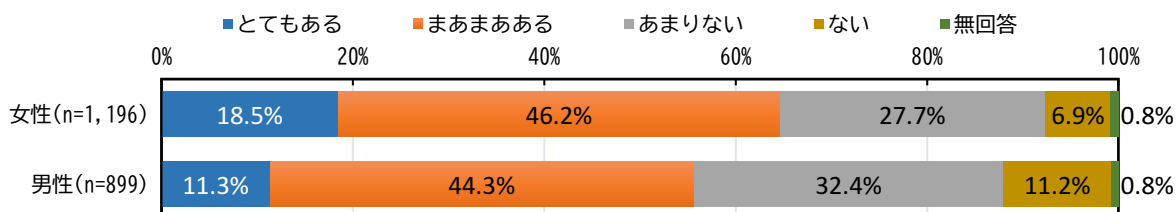


(経年比較)

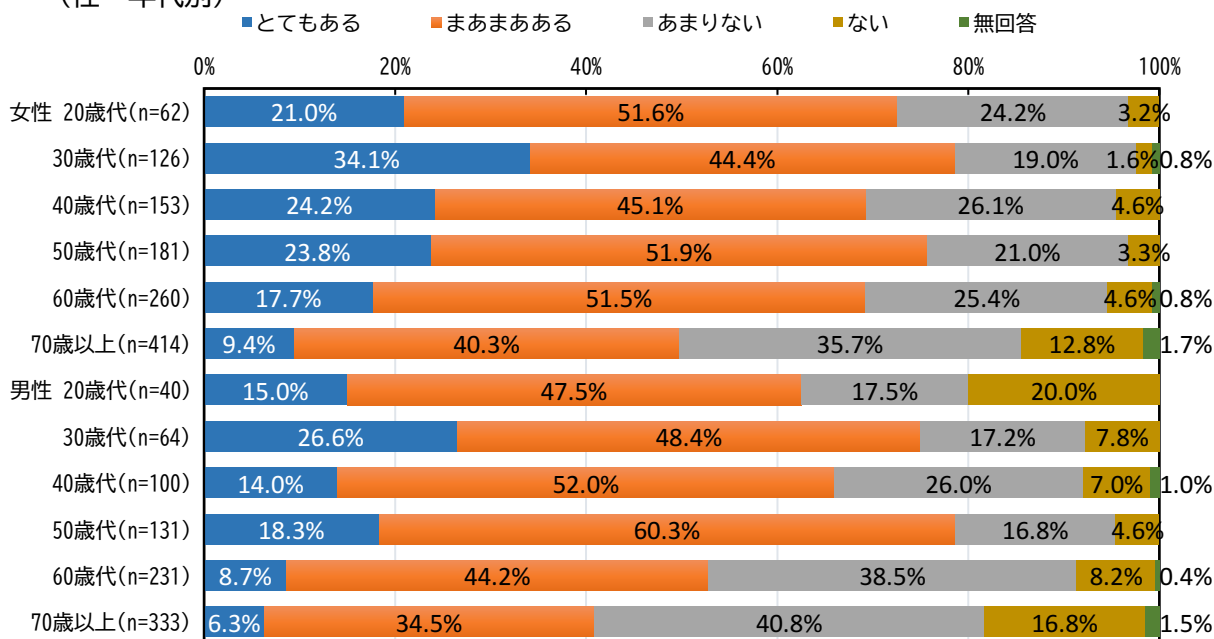


※選択肢の内容が異なるため、比較は行わず参考資料として掲載した。

(性別)



(性・年代別)



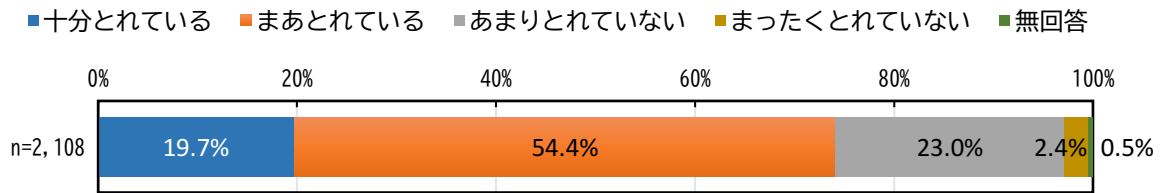
問12 あなたは、普段とっている睡眠で休養が十分にとれていると思いますか。1つ選んで○をつけてください。

睡眠で休養が取れているかについて、『とれている』（「十分とれている」と「まあとれている」の合計）と回答した割合は74.1%となっている。

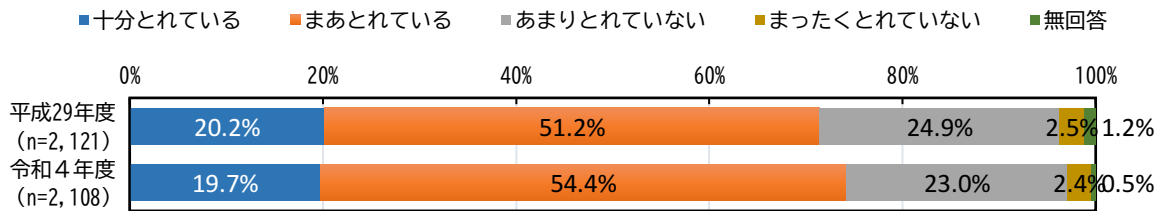
前回調査と比較すると、『とれている』と回答した割合は2.7ポイント高くなっている。

性別で見ると、男性では『とれている』と回答した割合が女性と比べて3.8ポイント高くなっている。性・年代別で見ると、20歳代から50歳代までの男女ともに『とれていない』と回答した割合が約3割を占め、中でも20歳代から30歳代までの男性では、「まったくとれていない」と回答した割合が約1割となっている。

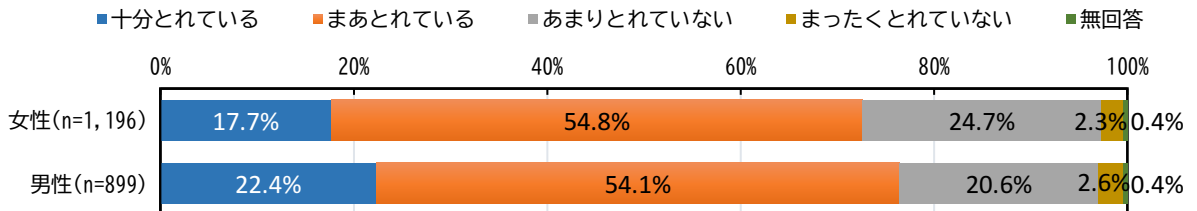
【睡眠で休養が取れているか】



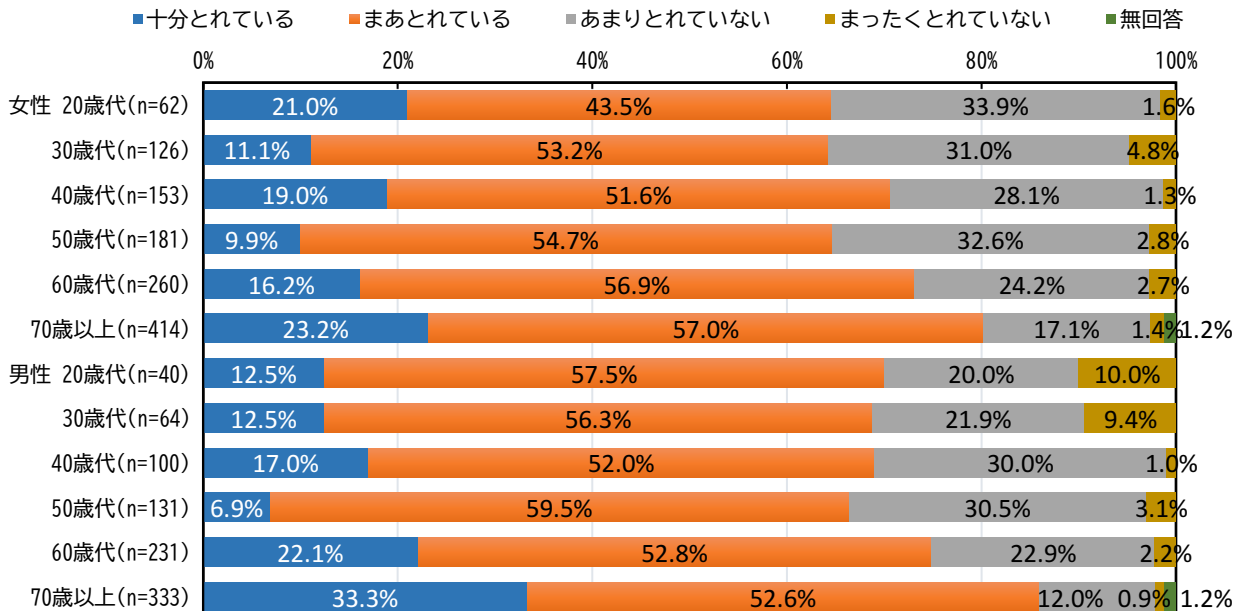
(経年比較)



(性別)



(性・年代別)

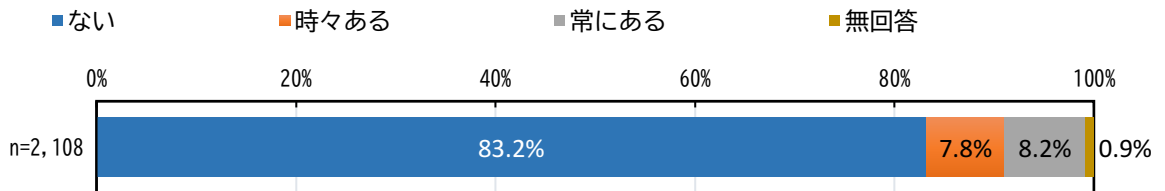


問13 あなたは、眠りを助けるために睡眠剤や安定剤などの薬を服用することがありますか。
1つ選んで○をつけてください。

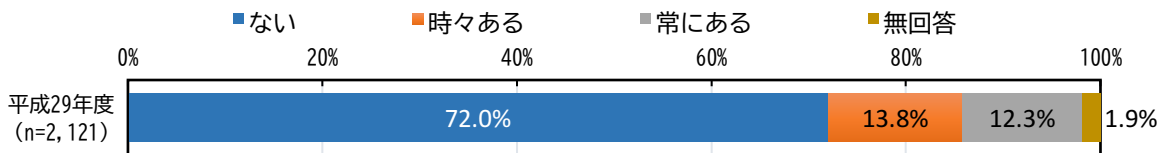
眠りを補助するための薬の服用について、「ない」83.2%が最も高く、次いで「常にある」8.2%、「時々ある」7.8%となっている。

性別で見ると、女性では「時々ある」「常にある」と回答した割合が男性と比べて高くなっている。性・年代別で見ると、70歳以上の男女ともに「時々ある」「常にある」と回答した割合が他の性・年代と比べて高くなっている。

【眠りを補助するための薬の服用】

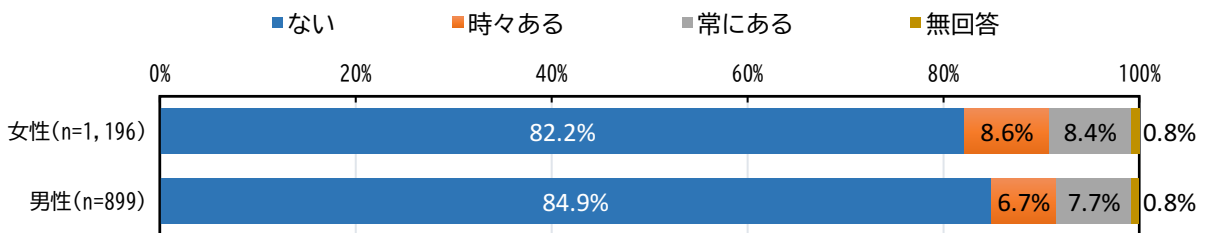


(経年比較)

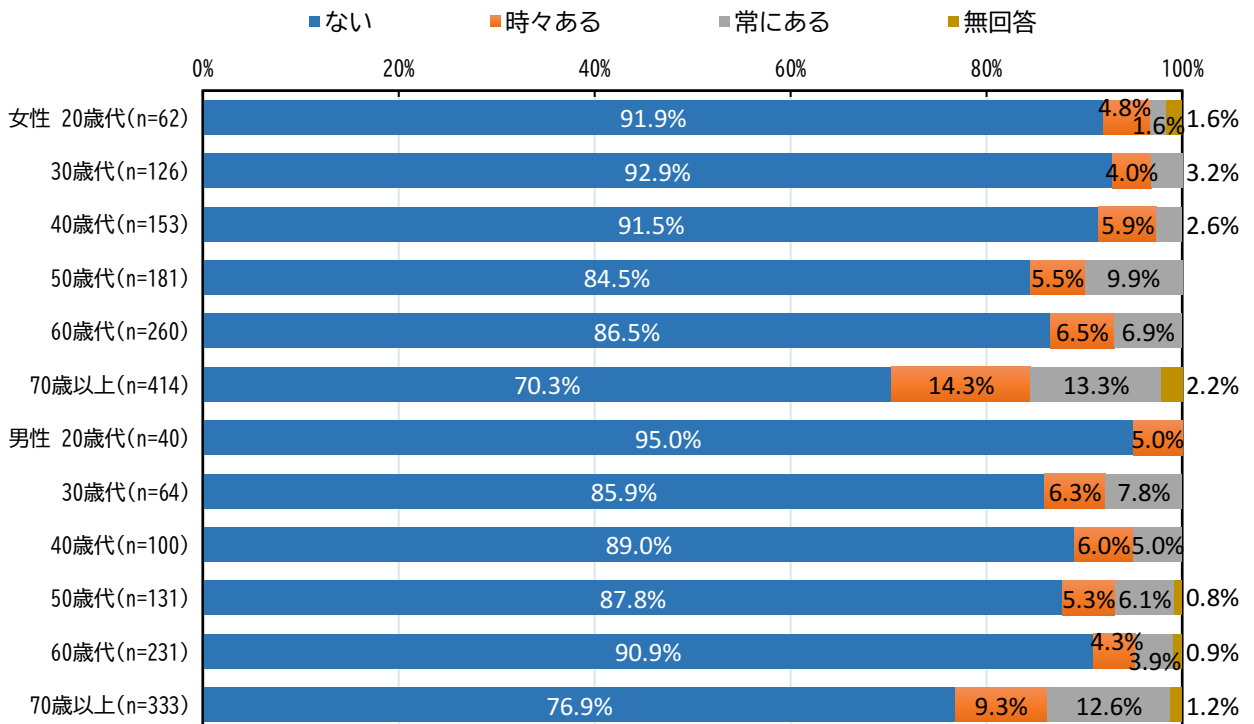


※前回調査では問13と問14を合わせた設問としているため、比較は行わず参考資料として掲載した。

(性別)



(性・年代別)



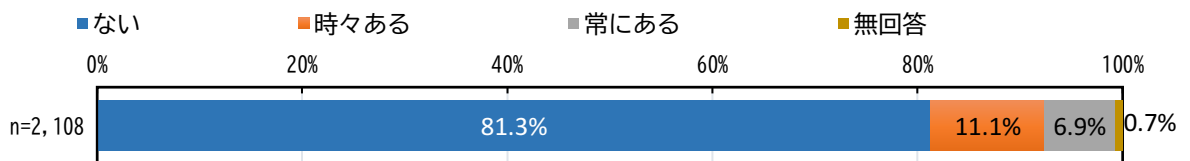
問14 あなたは、眠りを助けるためにアルコールを飲むことがありますか。1つ選んで○をつけてください。

眠りを補助するためのアルコールの摂取について、「ない」81.3%が最も高く、次いで「時々ある」11.1%、「常にある」6.9%となっている。

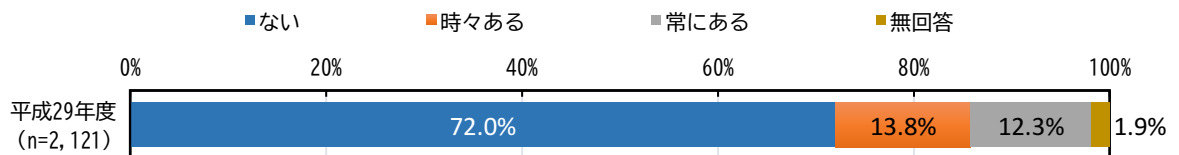
性別で見ると、男性では「時々ある」「常にある」と回答した割合が女性と比べて7.0ポイント以上高くなっている。

性・年代別で見ると、全ての年代で男性は女性より「時々ある」「常にある」と回答した割合が高く、特に60歳代の男性では「時々ある」17.3%、「常にある」19.5%と他の年代と比べて高くなっている。

【眠りを補助するためのアルコールの摂取】

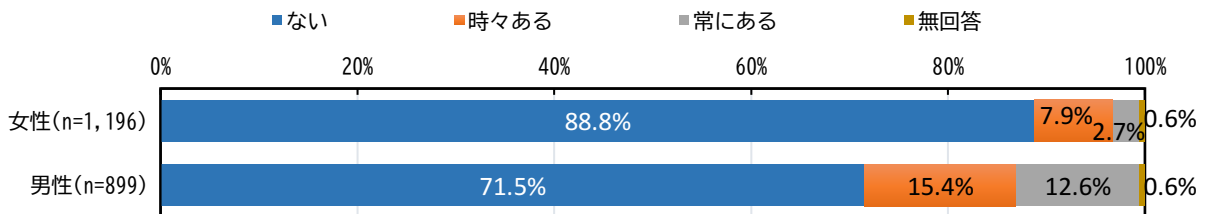


(経年比較)

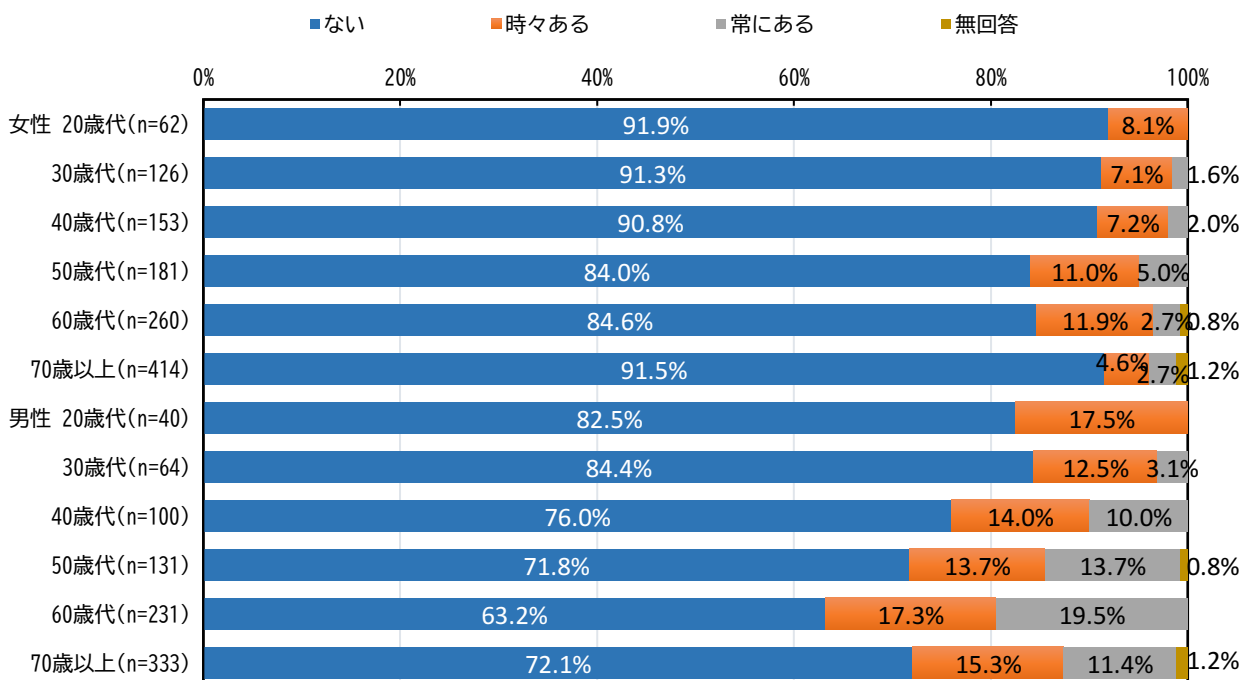


※前回調査では問13と問14を合わせた設問としているため、比較は行わず参考資料として掲載した。

(性別)



(性・年代別)



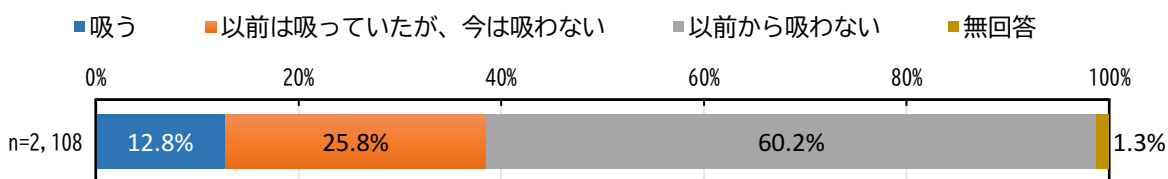
喫煙について

問 15 あなたは、たばこ（※）を吸いますか。1つ選んで○をつけてください。
 ※紙巻たばこ（従来型のたばこ）、加熱式たばこ（アイコス、グローなど）、葉巻、パイプたばこなど。電子たばこは含みません。

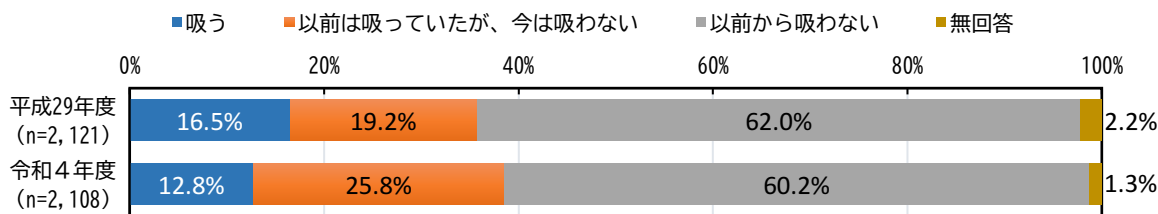
喫煙の状況について、「以前から吸わない」60.2%が最も高く、次いで「以前は吸っていたが、今は吸わない」25.8%、「吸う」12.8%となっている。

前回調査と比較すると、「以前は吸っていたが、今は吸わない」と回答した割合は6.6ポイント高く、「吸う」と回答した割合は3.7ポイント低くなっている。性別でみると、男性では「吸う」と回答した割合が女性と比べて16.8ポイント高くなっている。性・年代別にみると、男女ともに40歳代では「吸う」と回答した割合が最も高くなっている。

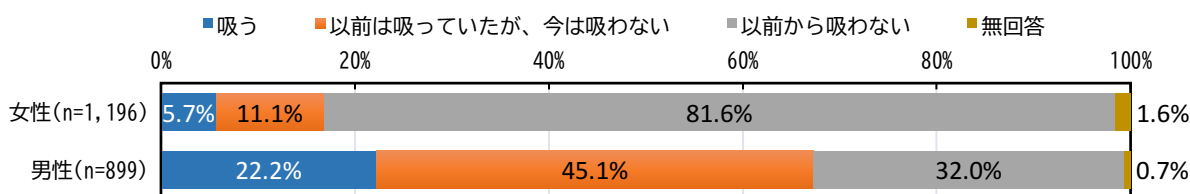
【喫煙の状況】



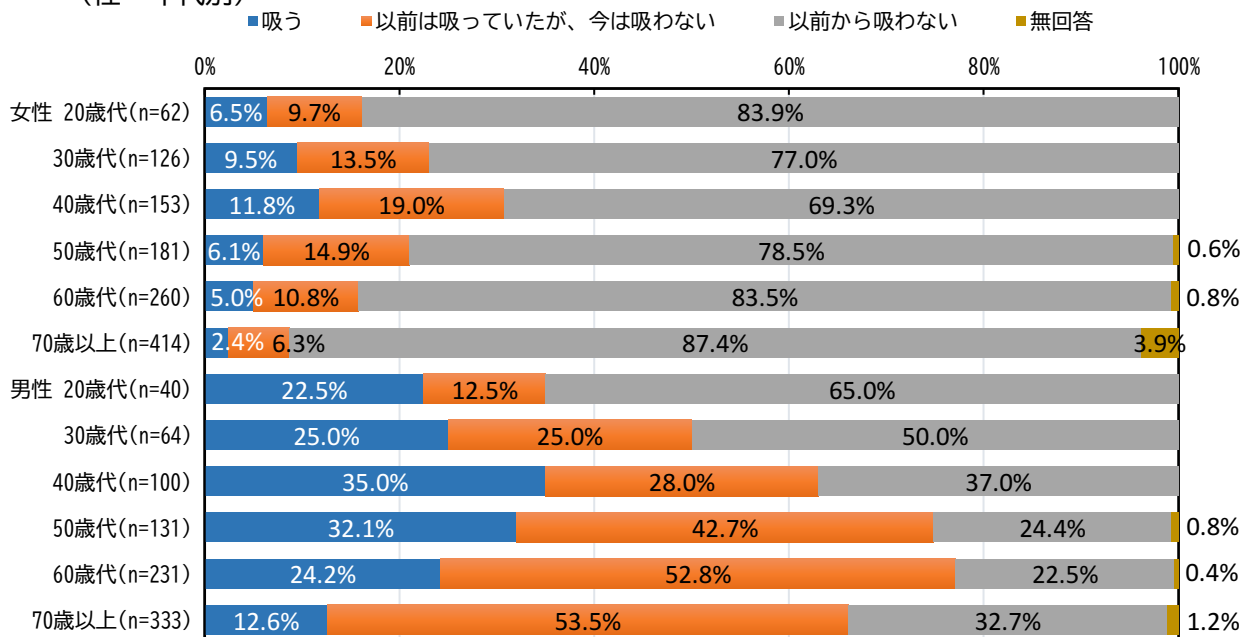
(経年比較)



(性別)



(性・年代別)



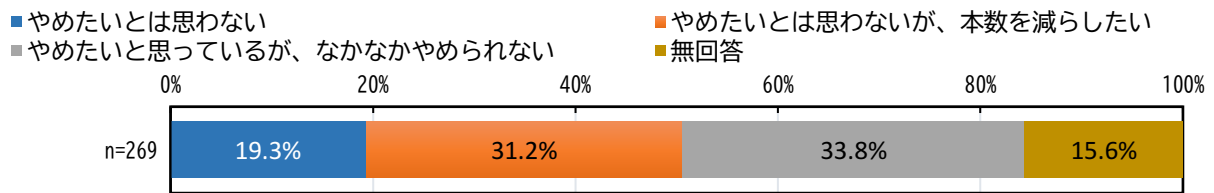
【問 15 で「1. 吸う」に○をつけた方のみお答えください。】

問 15-2 たばこについて、あなたのお気持ちは次のどれにあてはまりますか。1つ選んで○をつけてください。

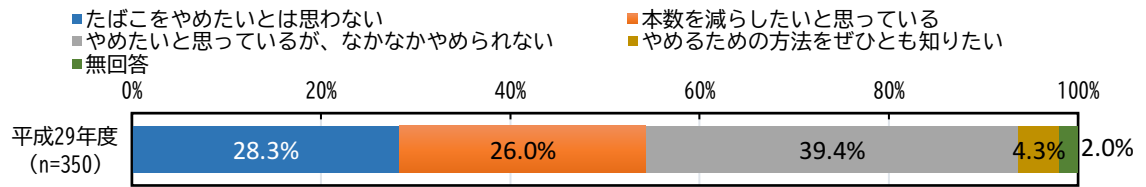
喫煙についての心境をたずねると、「やめたいと思っているが、なかなかやめられない」33.8%が最も高く、次いで「やめたいとは思わないが、本数を減らしたい」31.2%、「やめたいとは思わない」19.3%となっている。

性別で見ると、男性では「やめたいとは思わない」「やめたいとは思わないが、本数を減らしたい」と回答した割合が女性と比べて高くなっている。性・年代別にみると、70歳以上の女性と20歳代、40歳代の男性では「やめたいとは思わない」と回答した割合は3割以上となっている。

【喫煙についての心境】

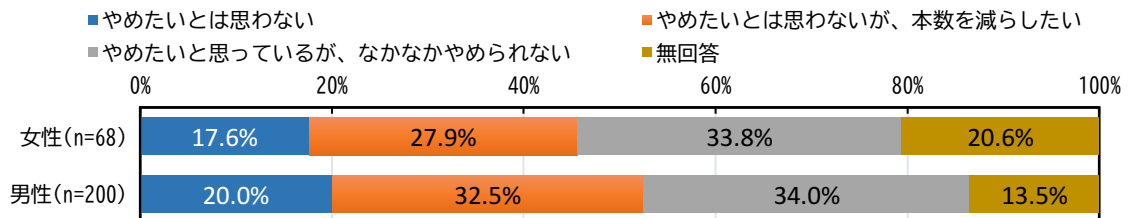


(経年比較)

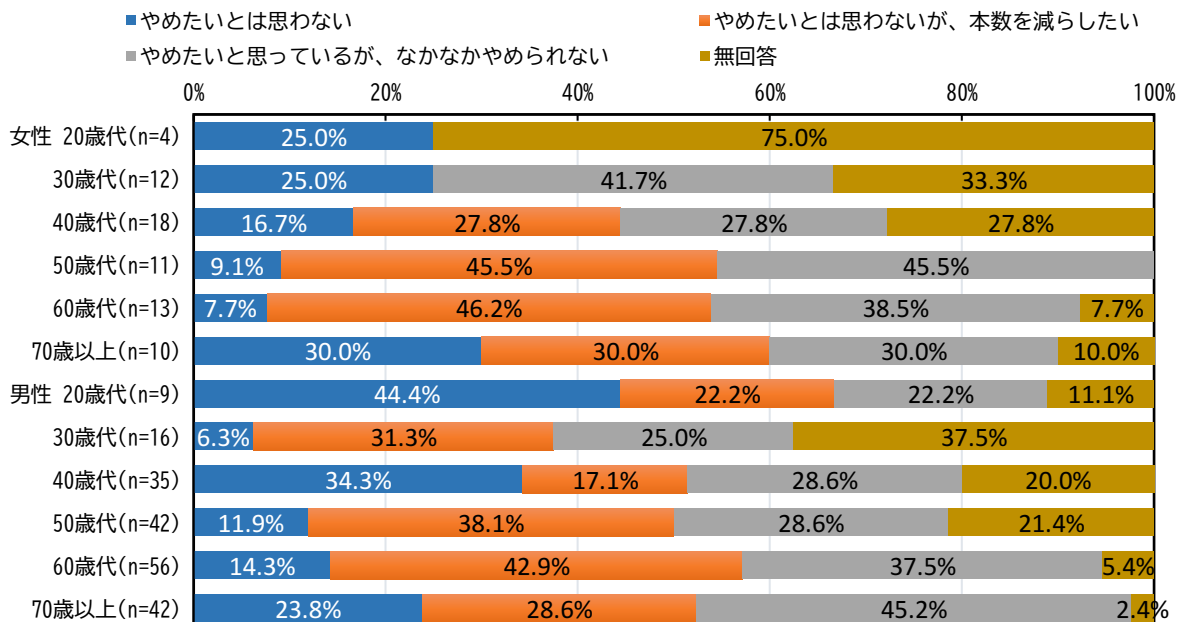


※選択肢の内容が異なるため、比較は行わず参考資料として掲載した。

(性別)



(性・年代別)

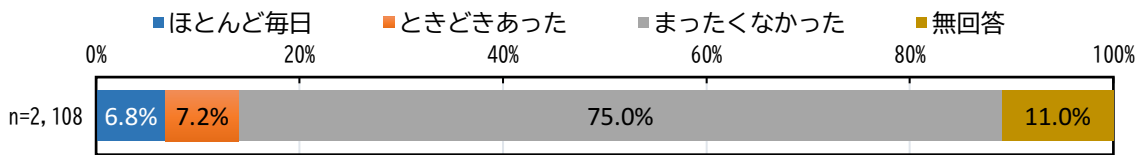


問 16 この1週間に自分以外の方のたばこの煙を吸う機会がありましたか。(1)～(3)
 それぞれの場所について、1つ選んで○をつけてください。
 (1) 家庭 (2) 職場 (3) 飲食店

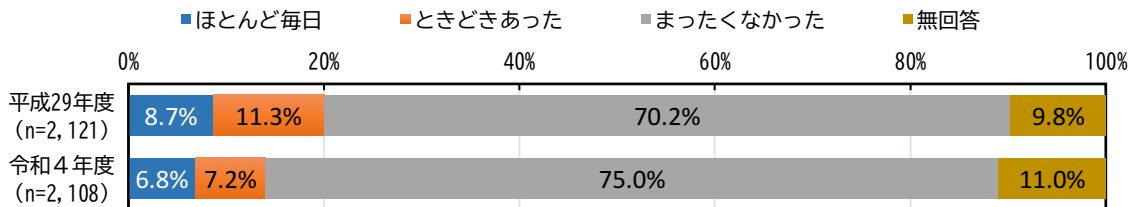
家庭における受動喫煙の機会については、「まったくなかった」75.0%が最も高く、次いで「ときどきあった」7.2%、「ほとんど毎日」6.8%となっている。

前回調査と比較すると、「ほとんど毎日」、「ときどきあった」と回答した割合はともに減少傾向にある。性別にみると、女性は受動喫煙の機会があったと回答した割合が高くなっている。性・年代別にみると、20歳代から50歳代までの女性では、「ほとんど毎日」と回答した割合が他の性・年代と比較して高くなっている。

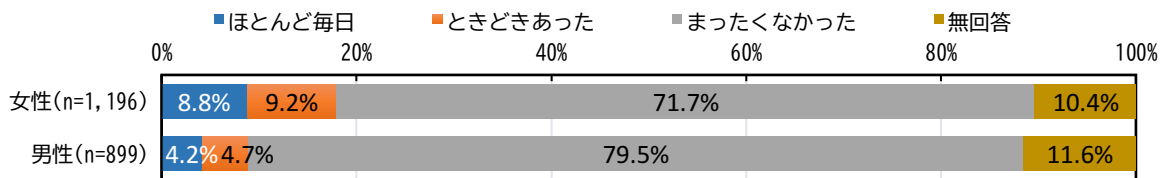
【(1) 家庭における受動喫煙の機会】



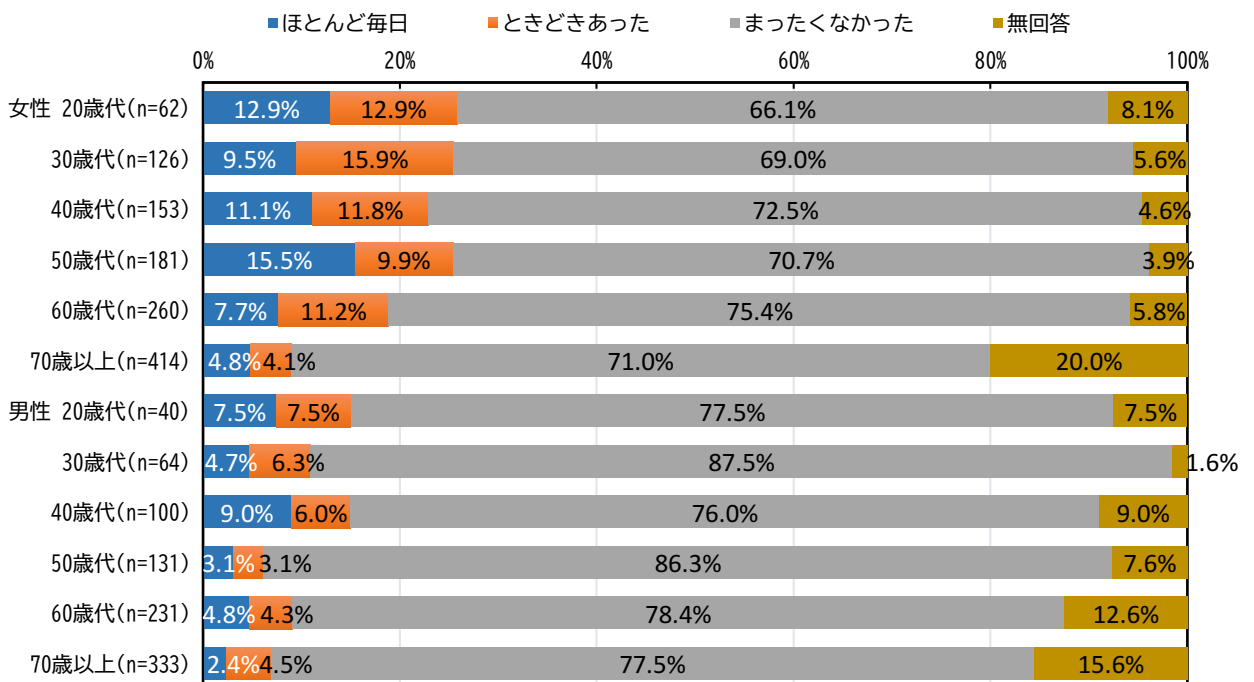
(経年比較)



(性別)



(性・年代別)

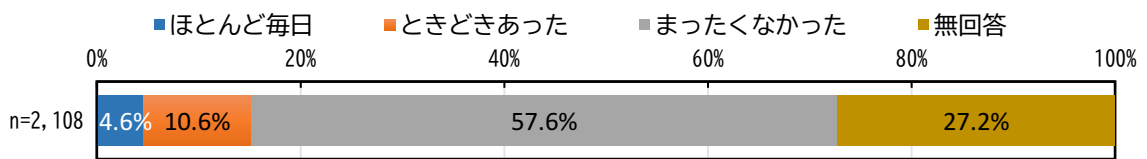


問 16 この1週間に自分以外の人のたばこの煙を吸う機会がありましたか。(1)～(3)
 それぞれの場所について、1つ選んで○をつけてください。
 (1) 家庭 (2) 職場 (3) 飲食店

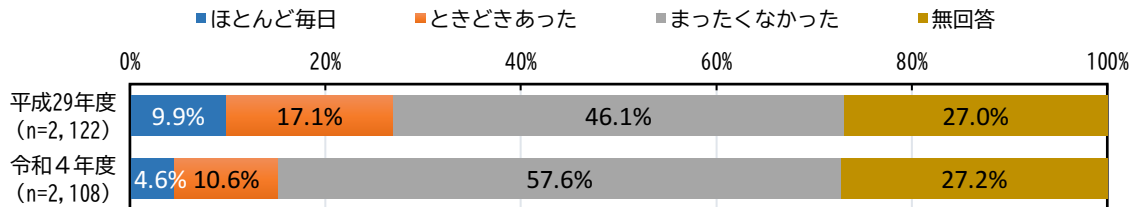
職場における受動喫煙の機会について、「まったくなかった」57.6%が最も高く、次いで「ときどきあった」10.6%、「ほとんど毎日」4.6%となっている。

前回調査と比較すると、「ほとんど毎日」「ときどきあった」と回答した割合が5.0ポイント以上低くなっている。性別で見ると、男性では「ほとんど毎日」「ときどきあった」と回答した割合が女性と比べて高くなっている。性・年代別で見ると、20歳代から50歳代までの男性では、「ほとんど毎日」と回答した割合が他の性・年代と比べて高くなっている。

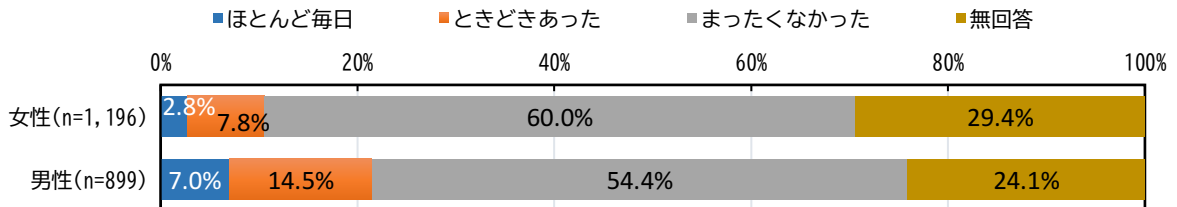
【(2) 職場における受動喫煙の機会】



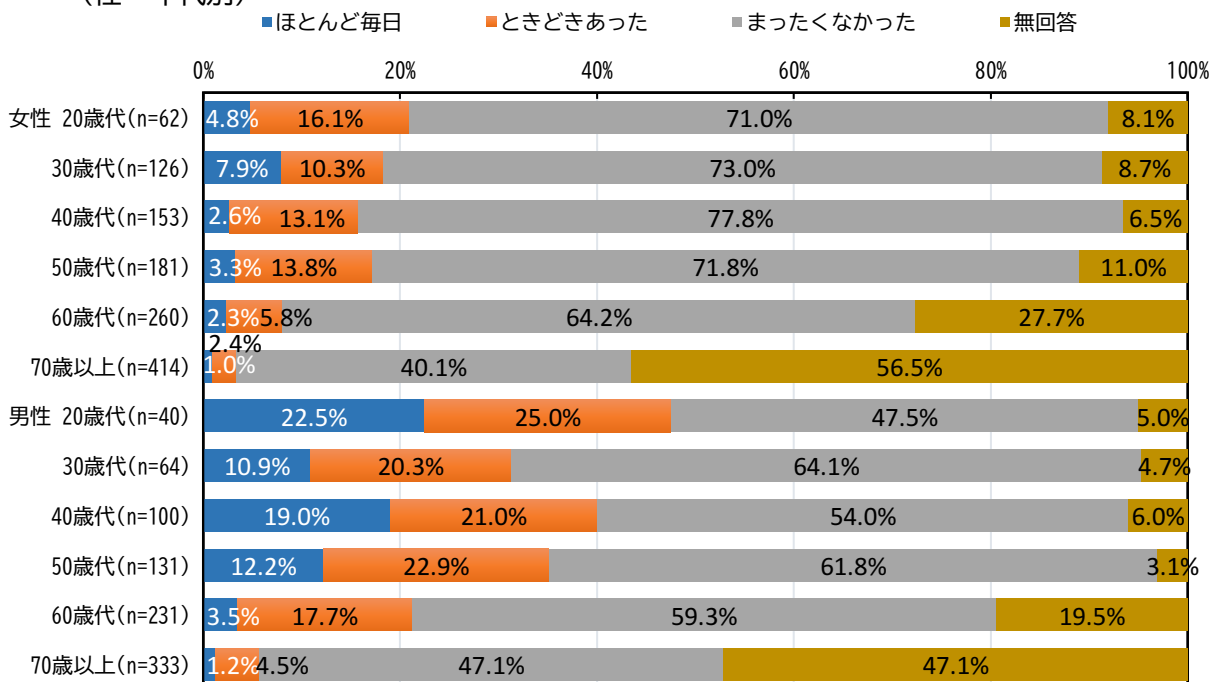
(経年比較)



(性別)



(性・年代別)



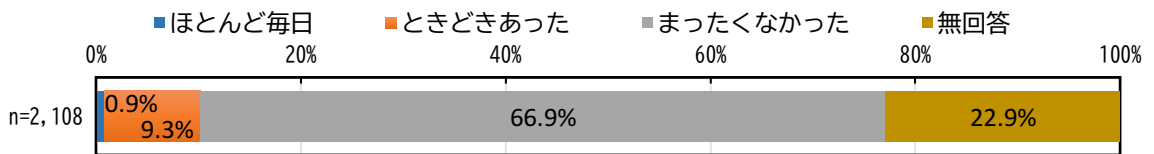
問 16 この1週間に自分以外の方のたばこの煙を吸う機会がありましたか。(1)～(3) それぞれの場所について、1つ選んで○をつけてください。
 (1) 家庭 (2) 職場 (3) 飲食店

飲食店における受動喫煙の機会について、「まったくなかった」66.9%が最も高く、次いで「ときどきあった」9.3%、「ほとんど毎日」0.9%となっている。

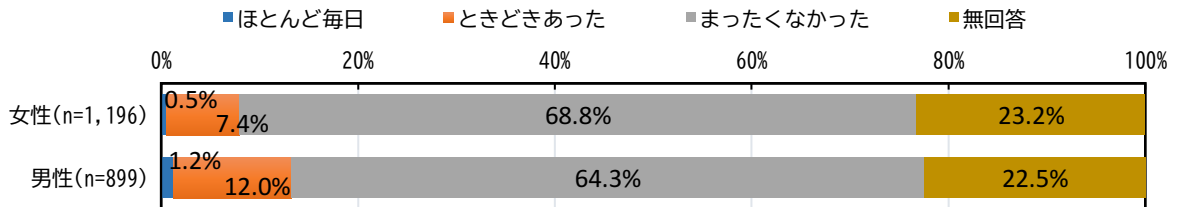
性別で見ると、男性では「ときどきあった」と回答した割合が女性と比べて4.6ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、20歳代、30歳代の女性と20歳代男性では「ときどきあった」と回答した割合が約2割となっている。

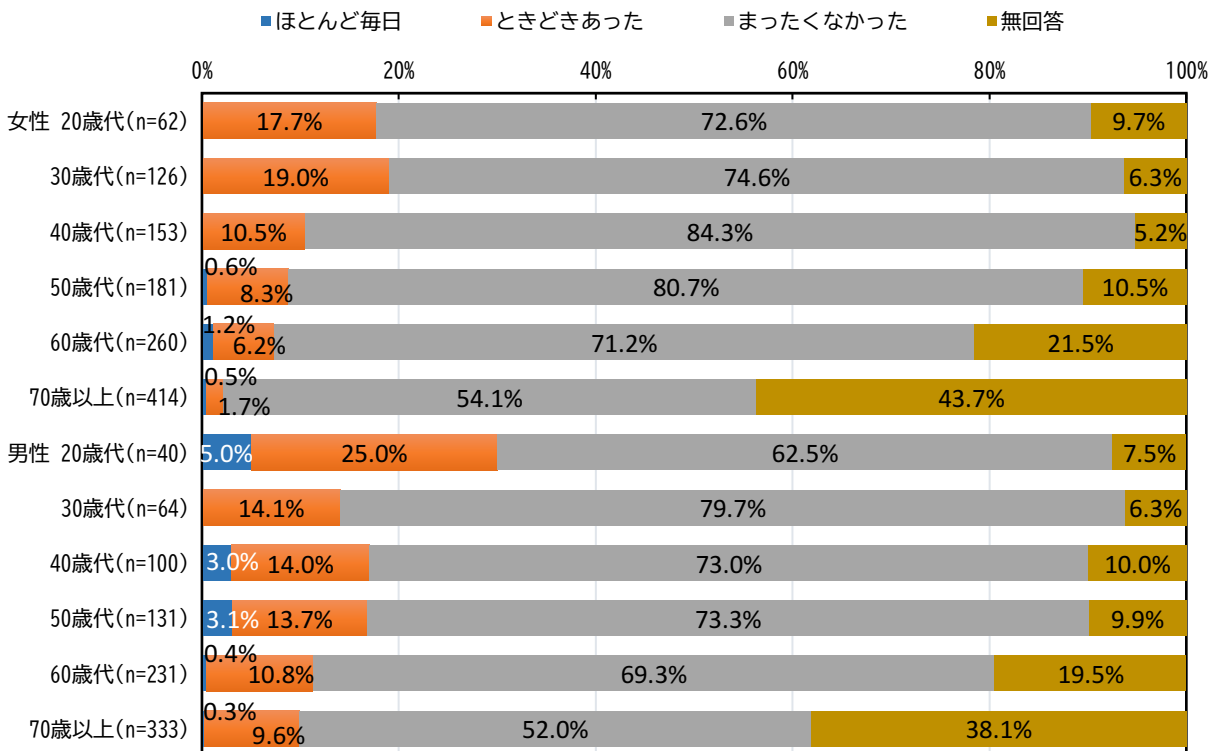
【(3) 飲食店における受動喫煙の機会】



(性別)



(性・年代別)



問17 たばこを吸うことでのかかりやすくなる病気や身体などへの影響として、知っているもの全てに○をつけてください。

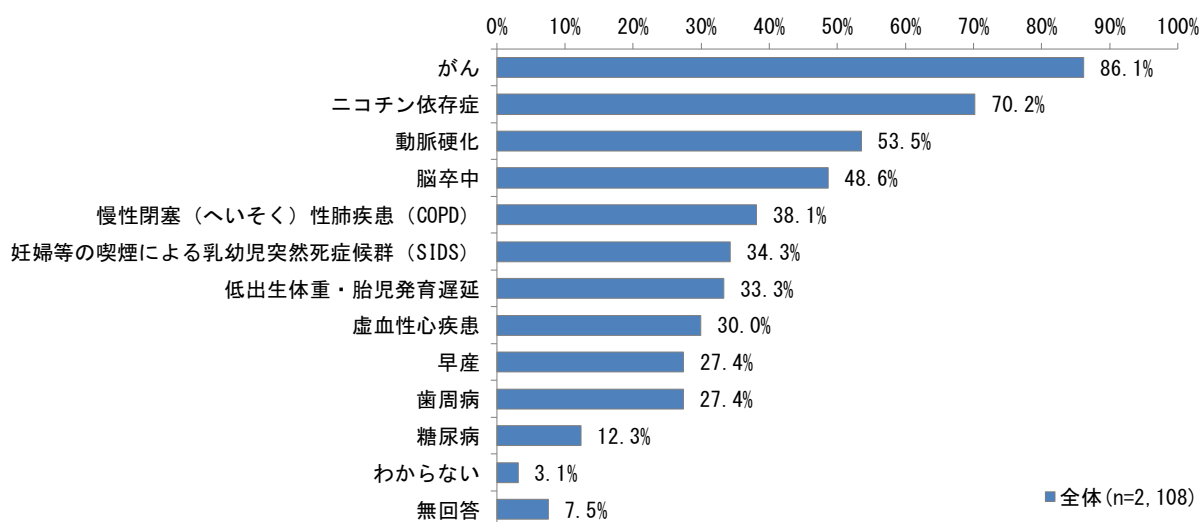
喫煙によりかかりやすくなる病気や身体への影響について知っているものをたずねたところ、「がん」86.1%が最も高く、次いで「ニコチン依存症」70.2%、「動脈硬化」53.5%となっている。

性別で見ると、女性では「早産」「低出生体重・胎児発育遅延」「妊婦等の喫煙による乳幼児突然死症候群(SIDS)」と回答した割合が男性と比べて20.0ポイント以上高くなっている。

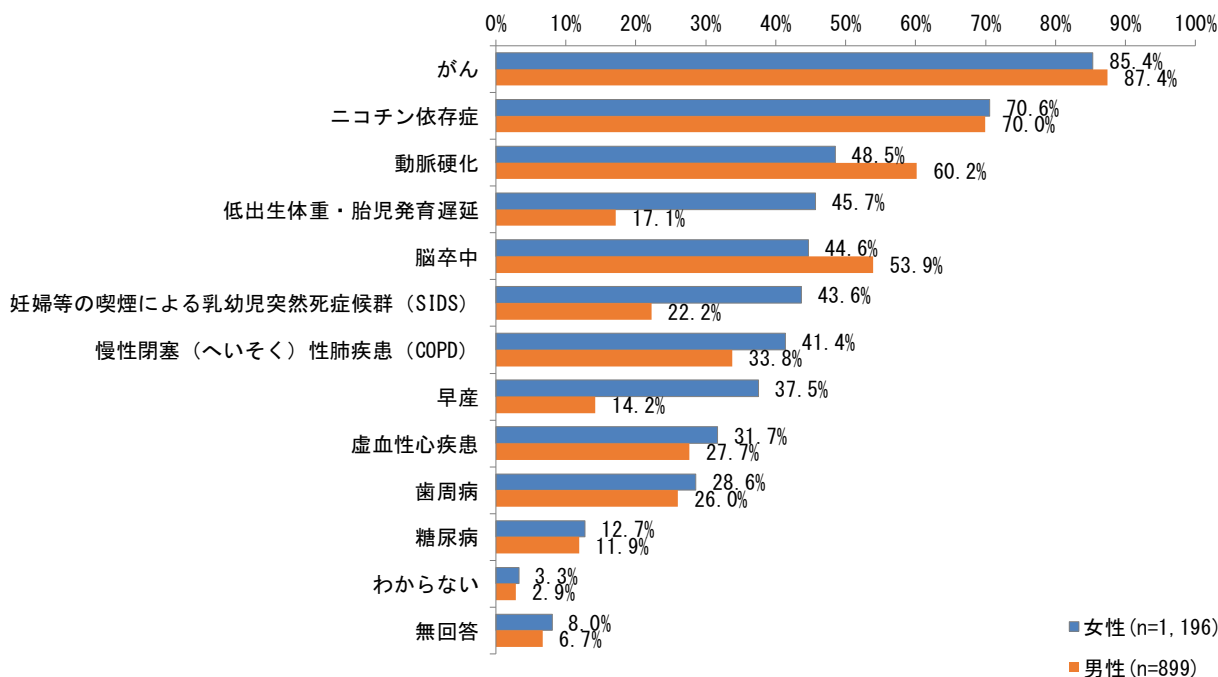
性・年代別で見ると、20歳代から60歳代までの女性と60歳代の男性では「慢性閉塞(へいそく)性肺疾患(COPD)」と回答した割合が約4割以上となっている。また、40歳代以下の女性と30歳代以下の男性では「歯周病」と回答した割合が約4割となっている。

【喫煙によりかかりやすくなる病気や身体への影響】

(全体)



(性別)



飲酒について

問 18 あなたは、平均してどのくらいアルコール（洋酒・日本酒・ビール・焼酎など）を飲みますか。1つ選んで○をつけてください。

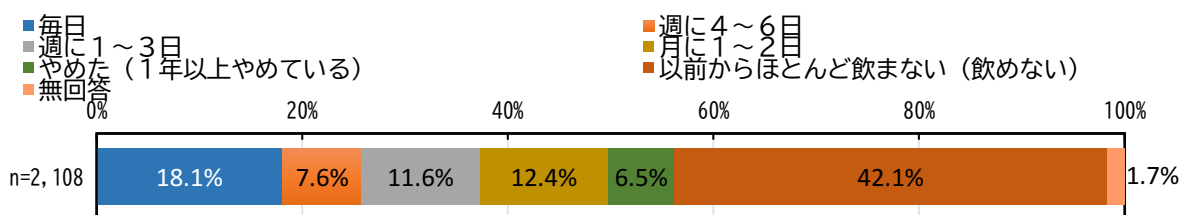
平均酒量について、「以前からほとんど飲まない（飲めない）」42.1%が最も高く、次いで「毎日」18.1%、「月に1～2日」12.4%、「週に1～3日」11.6%となっている。

前回調査と比較すると、「以前からほとんど飲まない（飲めない）」と回答した割合が5.5ポイント高くなっている。

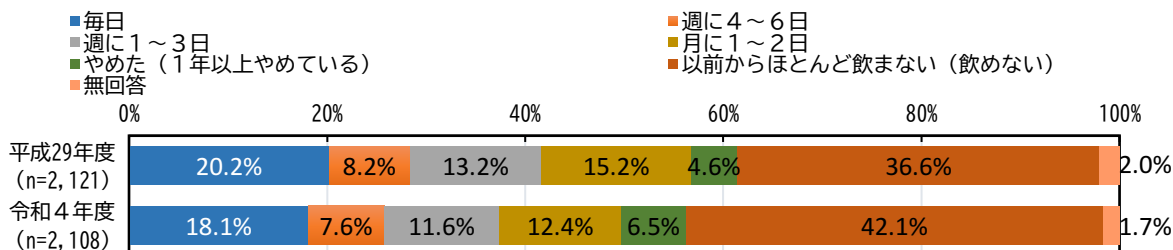
性別でみると、男性では「毎日」と回答したが女性と比べて23.9ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、60歳代の男性では「毎日」と回答した割合が4割以上となっている。

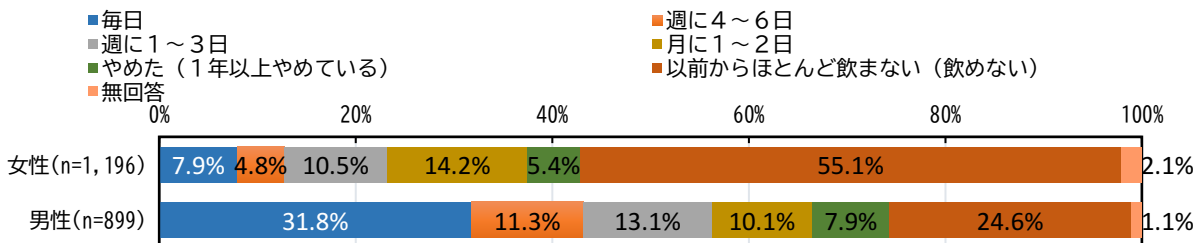
【平均酒量】



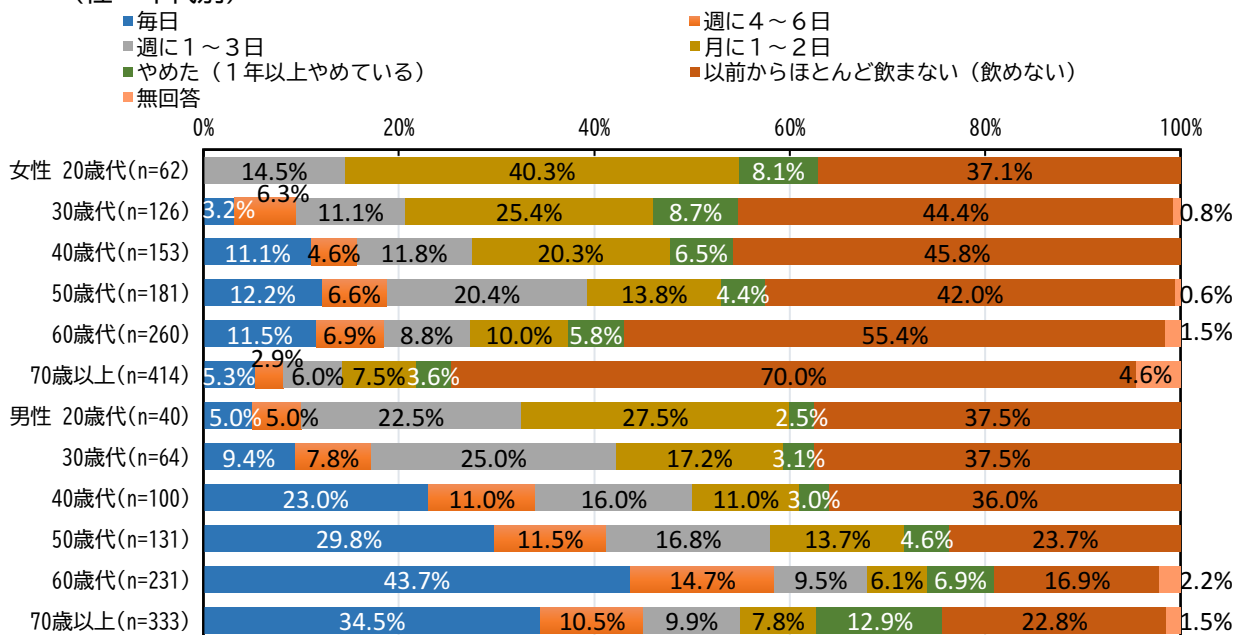
（経年比較）



（性別）



（性・年代別）



【問 18 で 1、2、3、4 に ○ をつけた方のみお答えください。】

問 18-2 1 回に飲んでいる量はおおよそどれくらいですか。1 つ選んで ○ をつけてください。

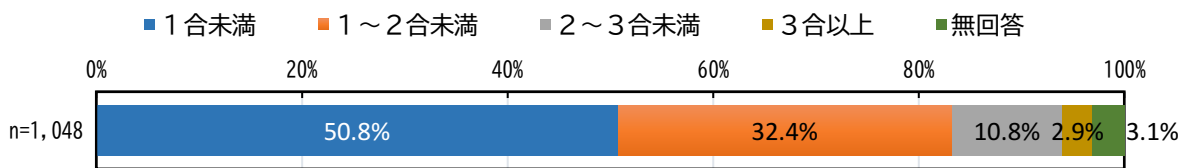
1 回の飲酒量について、「1 合未満」50.8%が最も高く、次いで「1～2 合未満」32.4%、「2～3 合未満」10.8%となっている。

前回調査と比較すると、「1～2 合未満」と回答した割合が 2.9 ポイント低く、「3 合以上」と回答した割合が 2.4 ポイント高くなっている。

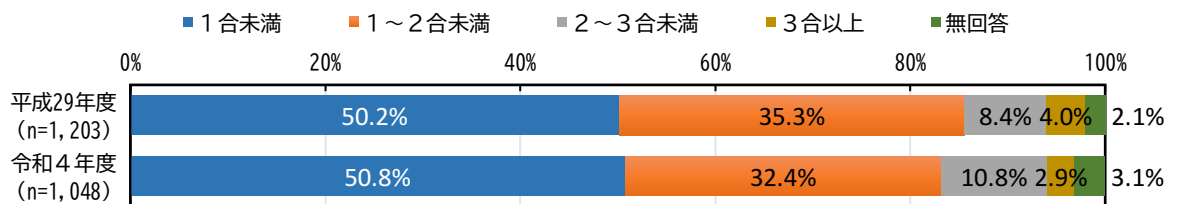
性別でみると、女性では「1 合未満」と回答した割合が男性と比べて 21.7 ポイント高く、男性では 1 合以上の全ての割合が女性と比べて高くなっている。

性・年代別でみると、20 歳代と 40 歳代から 60 歳代の男性で 1 合以上と回答した割合が 6 割以上を占めている。

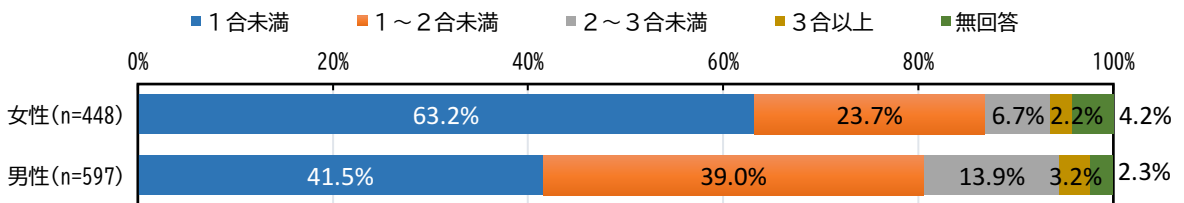
【1 回の飲酒量】



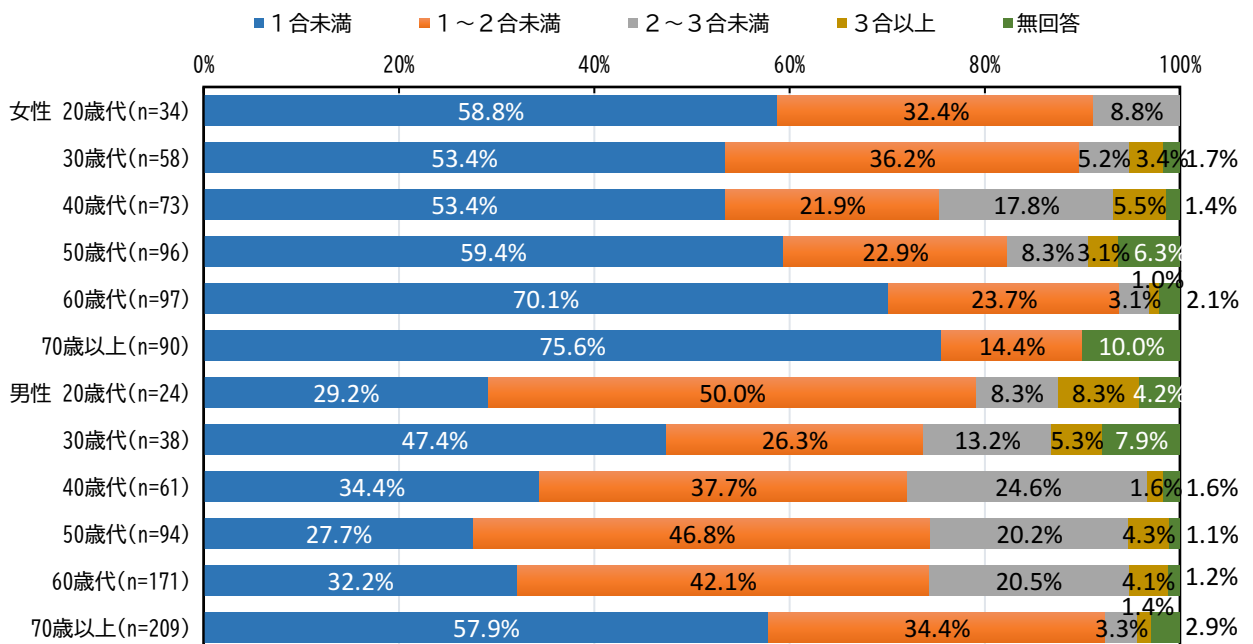
(経年比較)



(性別)



(性・年代別)



歯・口腔について

問 19 歯ブラシ以外に、次の器具（歯間部清掃用器具）を使用していますか。使用しているもの全てに○をつけてください。

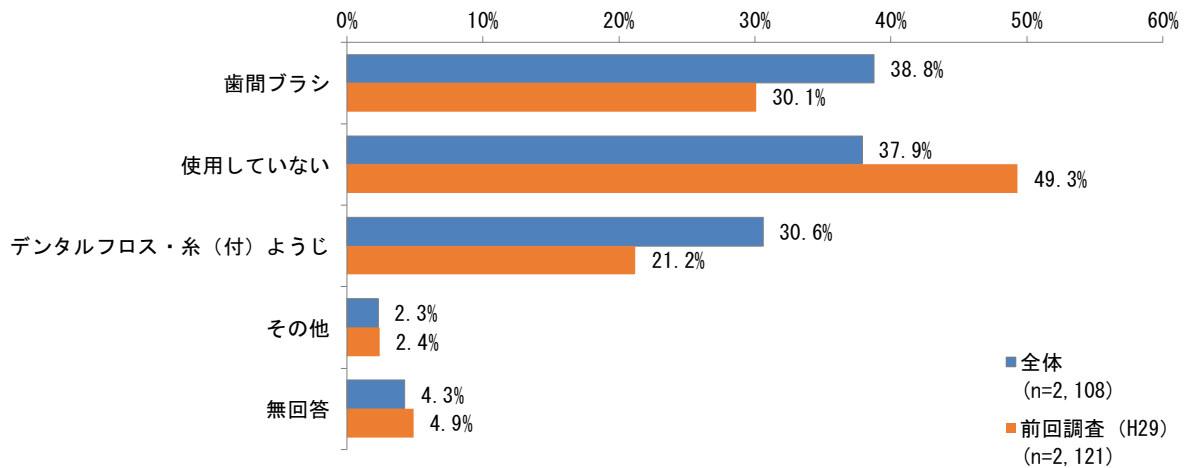
使用している歯間部清掃用器具について、「歯間ブラシ」38.8%が最も高く、次いで「使用していない」37.9%、「デンタルフロス・糸（付）ようじ」30.6%となっている。

前回調査と比較すると、「使用していない」と回答した割合が11.4ポイント低く、「歯間ブラシ」「デンタルフロス・糸（付）ようじ」と回答した割合が8.0ポイント以上高くなっている。

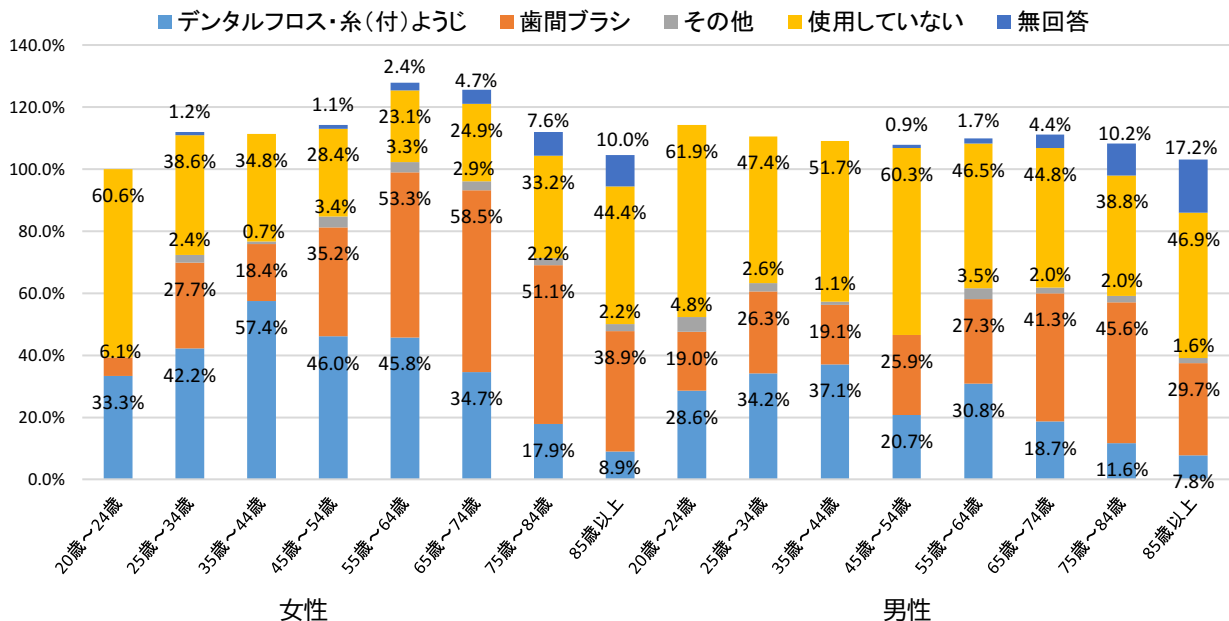
性別で見ると、女性では「歯間ブラシ」「デンタルフロス・糸（付）ようじ」と回答した割合が男性と比べて10.0ポイント以上高くなっている。一方、男性では「使用していない」と回答した割合が女性と比べて16.6ポイント高くなっている。

【使用している歯間部清掃用器具】

（全体・経年比較）



（性・年齢別）



問19 その他回答内容
舌ブラシ
電動歯ブラシ
ツマヨウジ
液体歯磨き
洗口液
つまようじ
電動歯ブラシ奥歯用
マウスウォッシュ
ワンタフトブラシ
口腔洗浄機
口腔洗浄ジェット水流
ポイントケア用シングルタフト (ポイント用歯ブラシ)
うがい液
輪ゴム
小さい歯ブラシ
薬用洗口液
歯周ケア
口腔洗浄液
タフトブラシ
イオン電動歯ブラシ
ポリデント
デンタルフロス
うがい薬
ナイトケアリンス
小さいミニ歯ブラシ (丸型)
ウォーターピック
ホワイトニング
爪楊枝
舌磨き

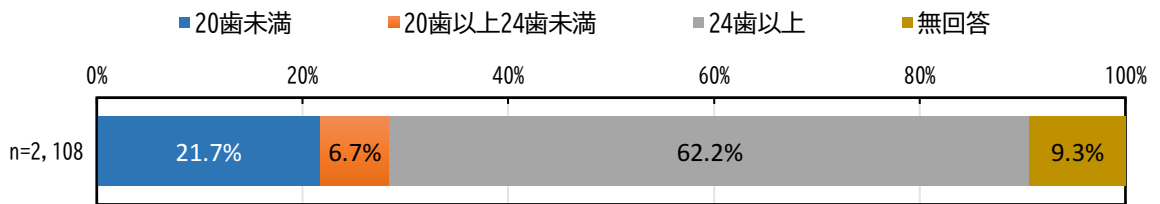
問 20 あなたの口の中には、何本の歯がありますか。() 内に数字を書いて下さい。
 ※かぶせた歯(金歯、銀歯)、さし歯、根だけ残っている歯も本数に含まれます。

歯の本数について、「24 歯以上」62.2%が最も高く、次いで「20 歯以上 24 歯未満」6.7%、「20 歯未満」は21.7%となっている。

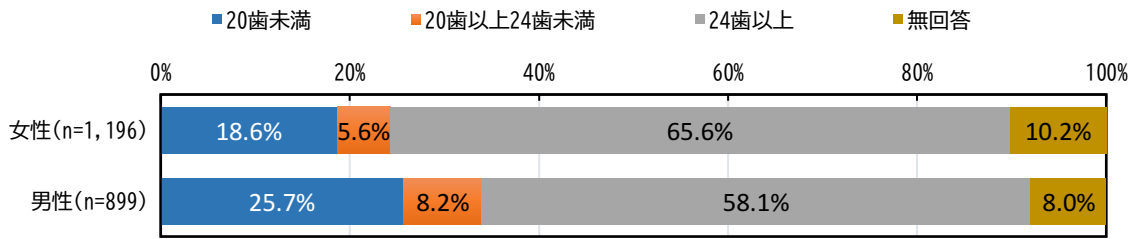
性別で見ると、女性では「24 歯以上」と回答した割合が男性と比べて7.5ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、75歳以上の男性では「20本未満」と回答した割合が4割以上となっている。

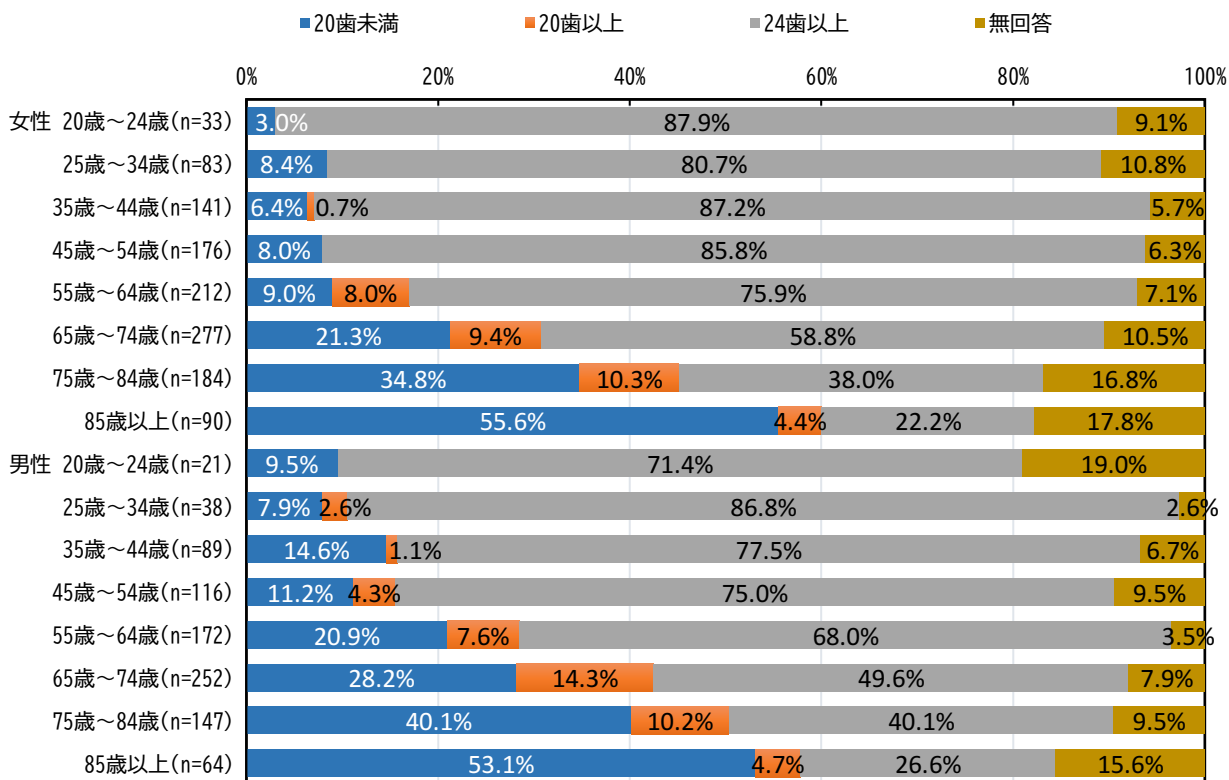
【歯の本数】



(性別)



(性・年代別)

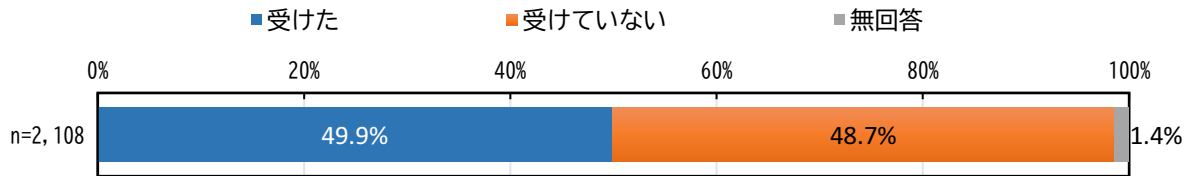


問 21 この1年間に、歯科検診（治療のための受診を除く）を受けましたか。1つ選んで○をつけてください。

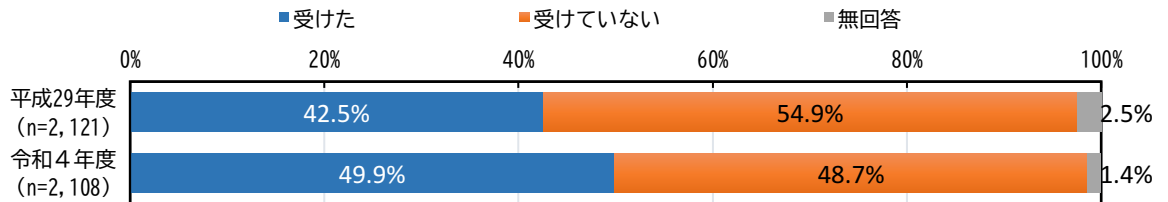
歯科検診受診状況について、「受けた」49.9%、「受けていない」48.7%となっている。前回調査と比較すると、「受けた」と回答した割合は7.4ポイント高くなっている。性別でみると、女性では「受けた」と回答した割合が男性と比べて8.9ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、女性では20～24歳、85歳以上、男性では75～84歳を除くすべての年代において「受けていない」と回答した割合が半数以上を占めている。

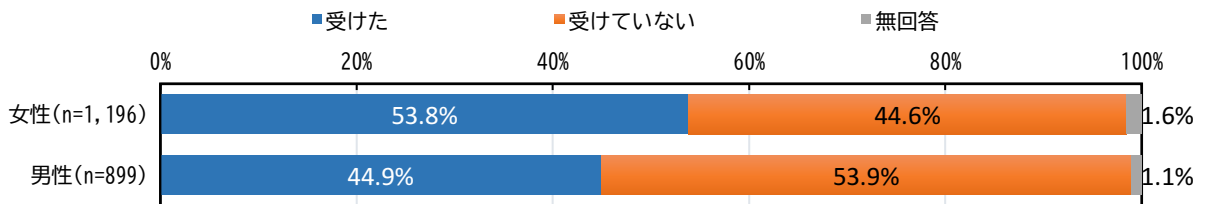
【歯科検診受診状況】



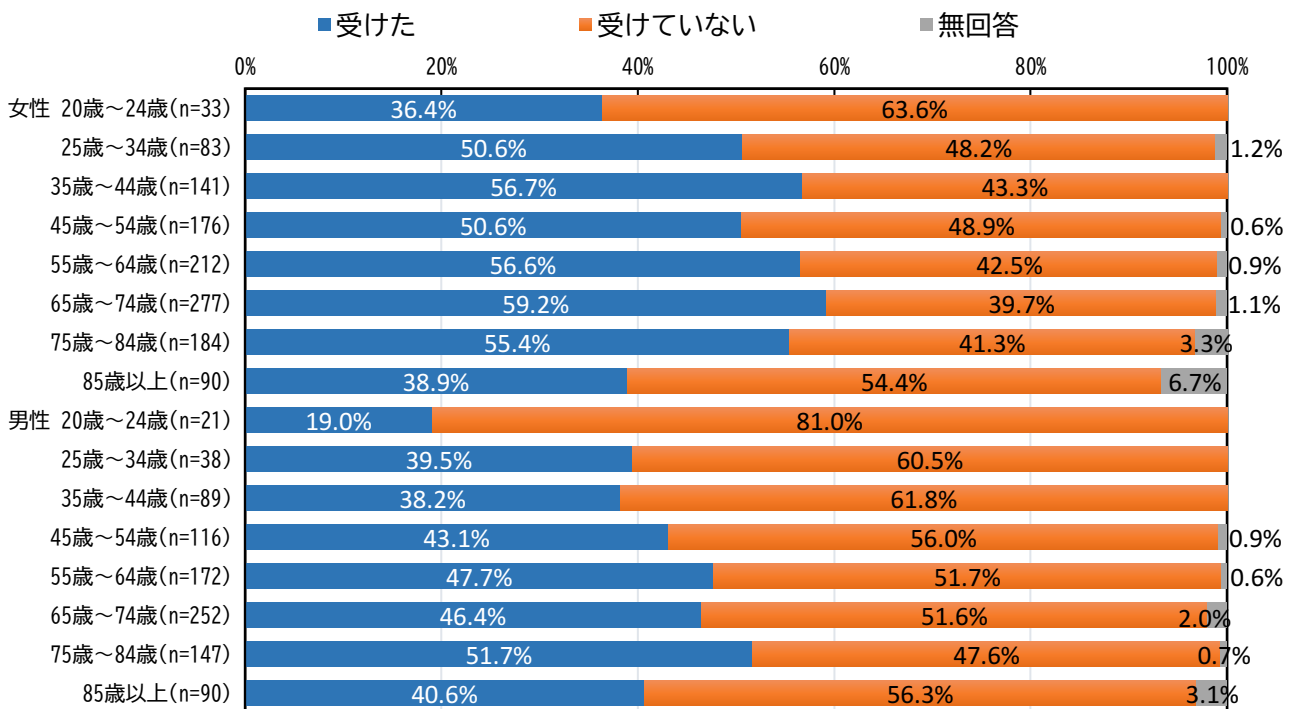
(経年比較)



(性別)



(性・年代別)



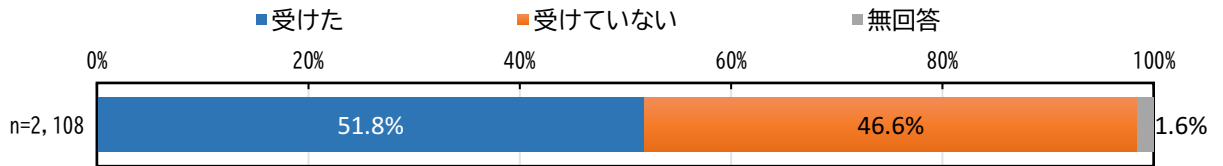
問 22 この1年間に、歯科医院等で歯石除去や歯面清掃（歯面の沈着物等をとる）を受けましたか。1つ選んで○をつけてください。

歯石除去や歯面清掃状況について、「受けた」51.8%、「受けていない」46.6%となっている。前回調査と比較すると、「受けた」と回答した割合は8.3ポイント高くなっている。

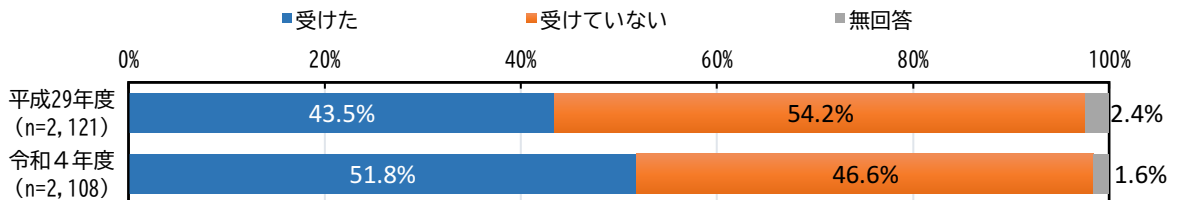
性別でみると、女性では「受けた」と回答した割合が男性と比べて9.8ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、女性では20～24歳、85歳以上、男性では75～84歳を除くすべての年代において「受けていない」と回答した割合が高くなっている。

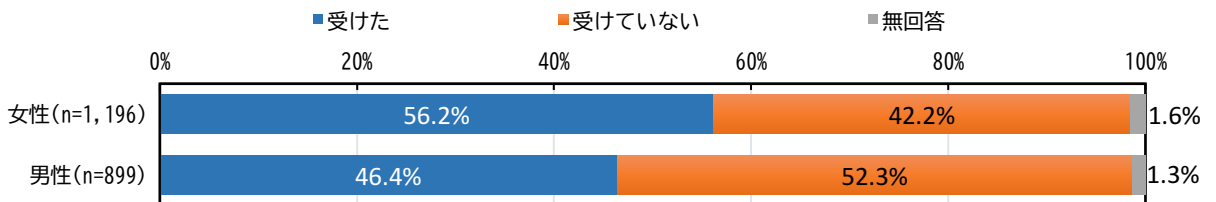
【歯石除去・歯面清掃状況】



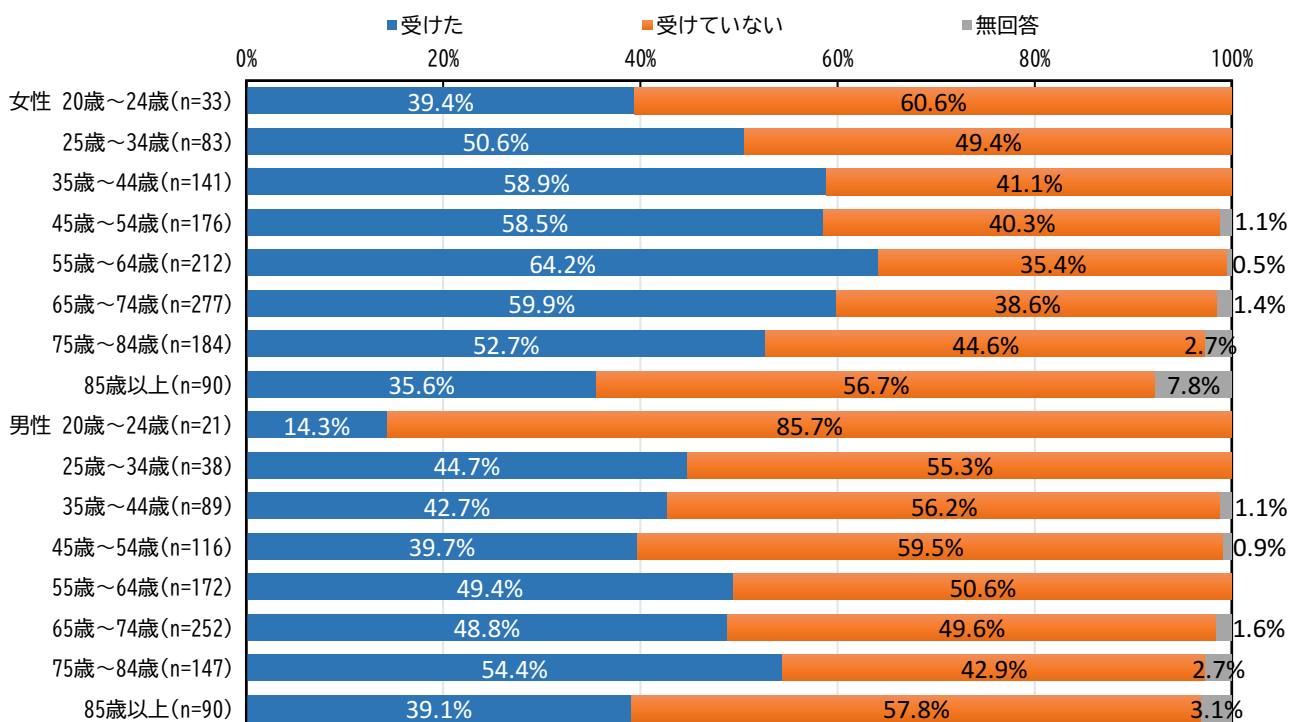
(経年比較)



(性別)



(性・年代別)



問 23 歯周病と関係があると思う病気、全てに○をつけてください。

歯周病と関係があると思う病気について、「わからない」36.4%が最も高く、次いで「認知症」26.3%、「糖尿病」25.2%となっている。

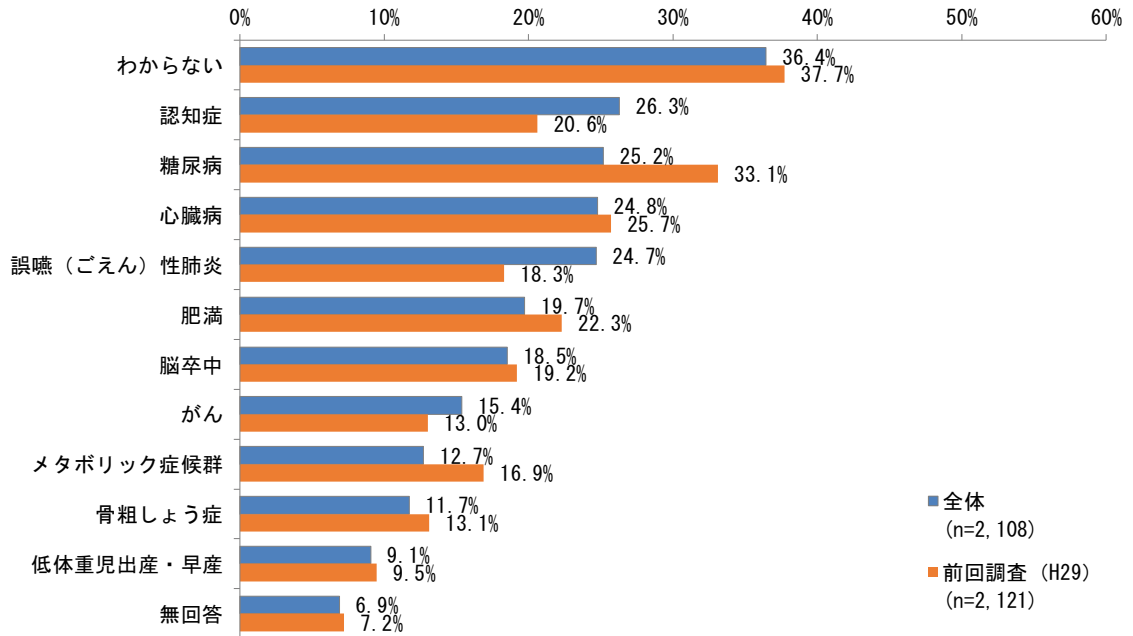
前回調査と比較すると、「糖尿病」と回答した割合は7.9ポイント低くなっている。一方、「認知症」「誤嚥（ごえん）性肺炎」と回答した割合は5.0ポイント以上高くなっている。

性別でみると、女性では「認知症」、男性では「わからない」と回答した割合が最も高くなっている。

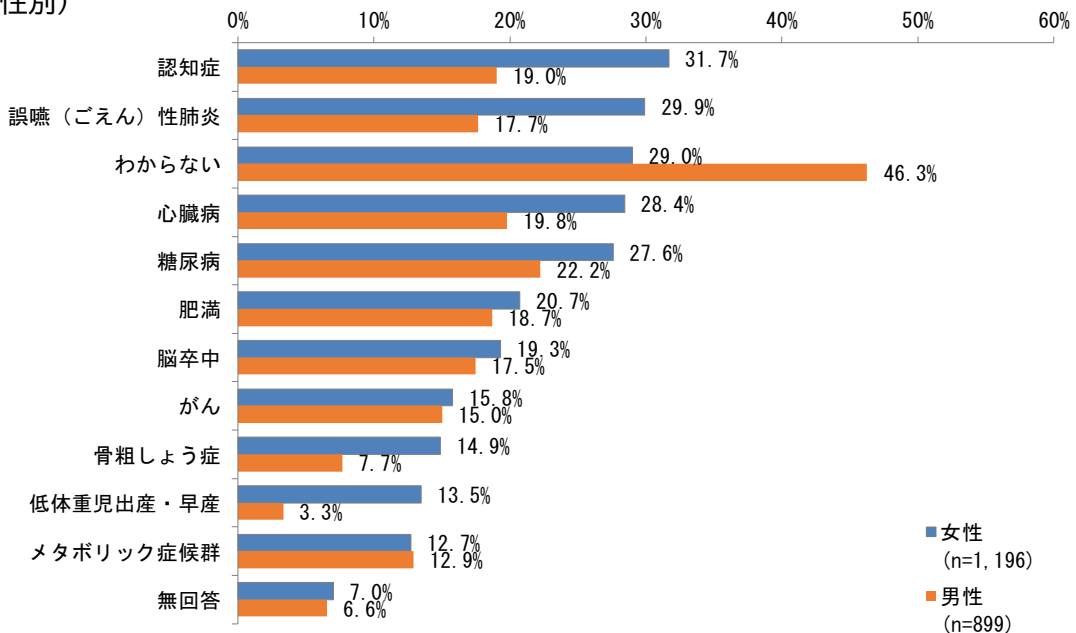
性・年代別でみると、25歳～34歳、45歳～54歳では「認知症」、35歳～44歳では「糖尿病」、55歳～64歳では「心臓病」、65歳～74歳では「誤嚥（ごえん）性肺炎」と回答した割合が最も高く、年代により異なる結果となっている。一方、男性では「わからない」と回答した割合が全ての年代で4割以上となっている。

【歯周病と関係があると思う病気】

(全体・経年比較)



(性別)



健診・がん検診について

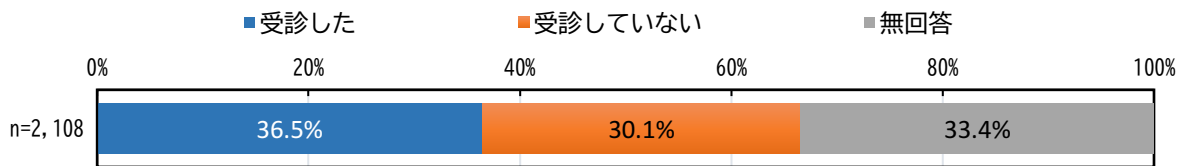
問 24 あなたは過去1年間に健康診断や人間ドックを受けましたか。(1)～(3)それぞれについて1つ選んで○をつけてください。
 (1) 職場の健康診断 (2) 市町村の健康診断 (3) 人間ドック

職場の健康診断の受診状況について、「受診した」36.5%、「受診していない」30.1%となっている。

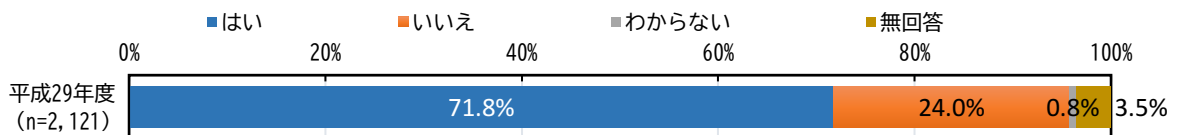
性別で見ると、男性では「受診した」と回答した割合が女性と比べて5.3ポイント高くなっている。

性、年代別で見ると、男女ともに50歳代以下の全ての年代で「受診した」が半数以上を占めている。

【(1) 職場の健康診断受診状況】

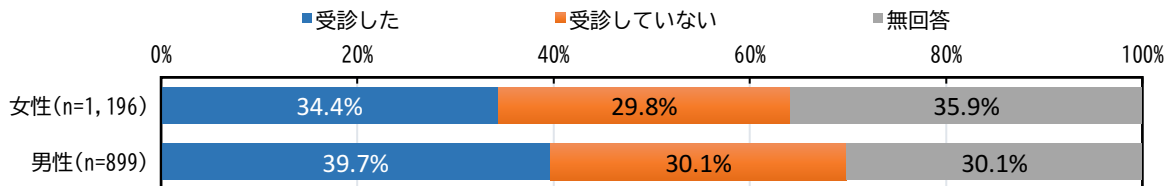


(経年比較) ※平成29年度「あなたは、過去1年間に、職場や市町村等で行われる健康診断や人間ドックを受けましたか」

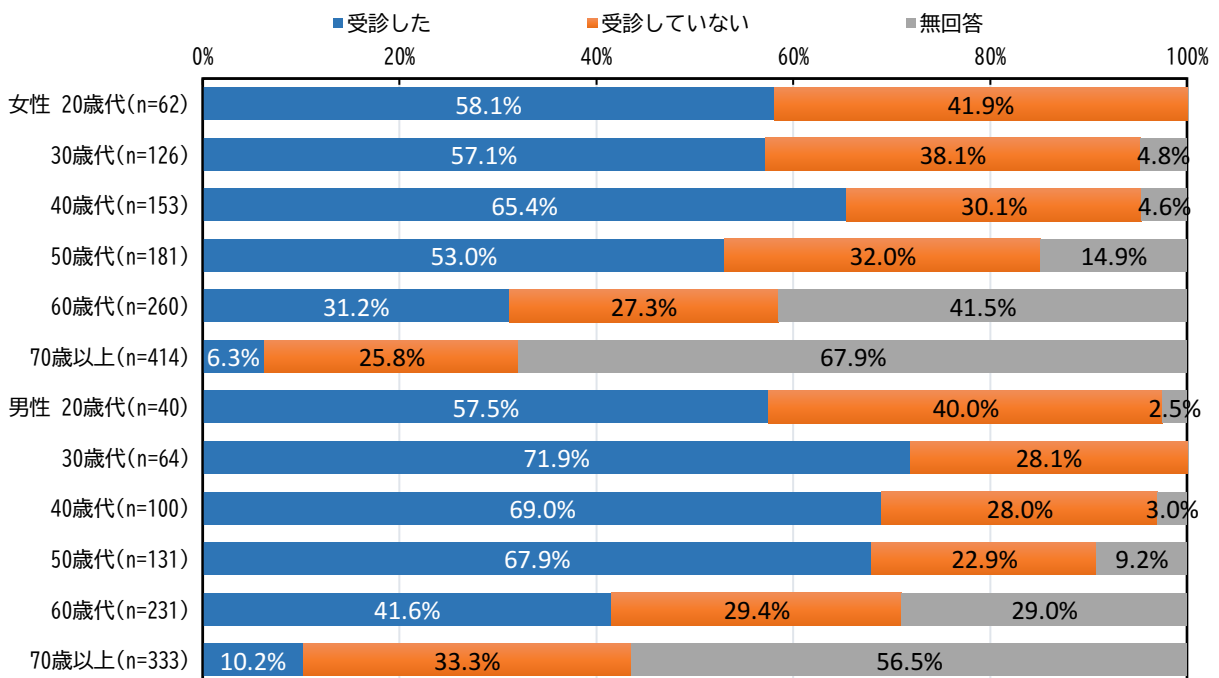


※設問の内容が異なるため、比較は行わず参考資料として掲載した。

(性別)



(性・年代別)



問 24 あなたは過去1年間に健康診断や人間ドックを受けましたか。(1)～(3)それぞれについて1つ選んで○をつけてください。

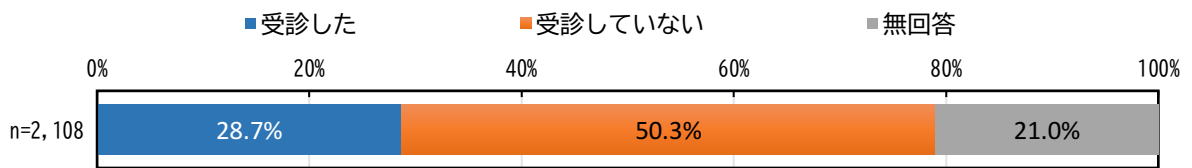
(1) 職場の健康診断 (2) 市町村の健康診断 (3) 人間ドック

市町村の健康診断の受診状況について、「受診した」28.7%、「受診していない」50.3%となっている。

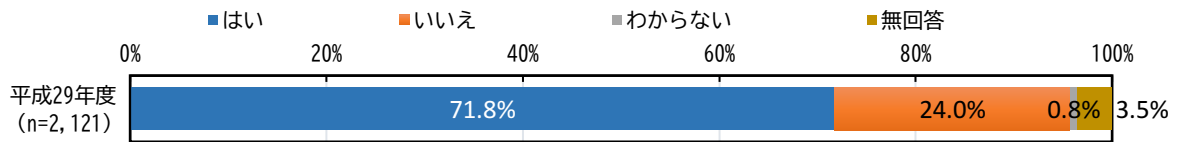
性別でみると、女性では「受診した」と回答した割合が男性と比べて5.3ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、60歳以上の女性と70歳以上男性では「受診した」と回答した割合が約4割となっている。

【(2) 市町村の健康診断受診状況】

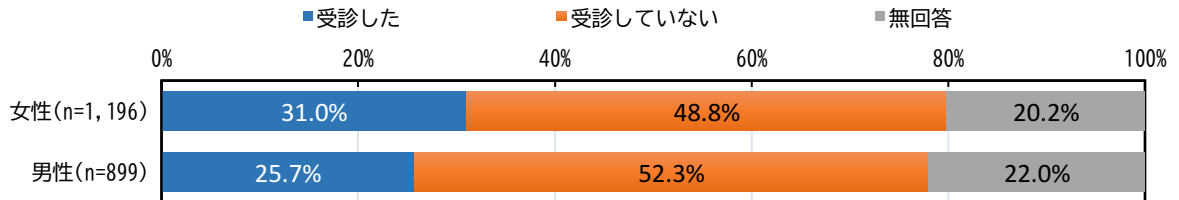


(経年比較) ※平成29年度「あなたは、過去1年間に、職場や市町村等で行われる健康診断や人間ドックを受けたことがありますか」

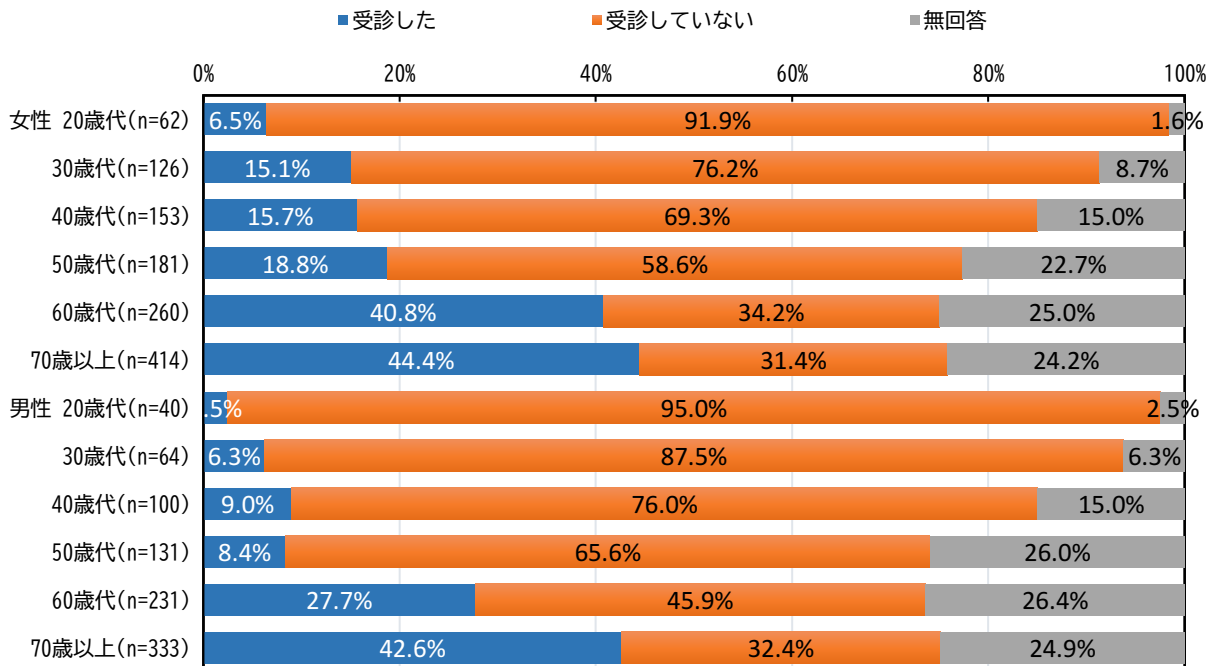


※設問の内容が異なるため、比較は行わず参考資料として掲載した。

(性別)



(性・年代別)



問 24 あなたは過去1年間に健康診断や人間ドックを受けましたか。(1)～(3)それぞれについて1つ選んで○をつけてください。

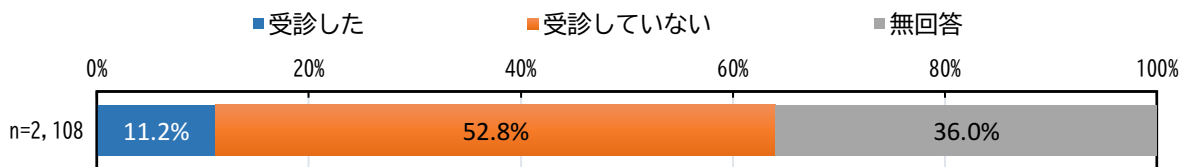
(1) 職場の健康診断 (2) 市町村の健康診断 (3) 人間ドック

人間ドックの受診状況について、「受診した」11.2%、「受診していない」52.8%となっている。

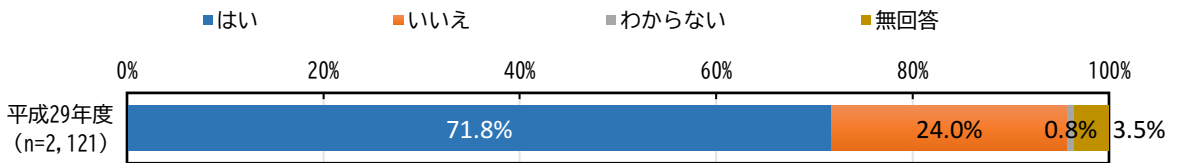
性別でみると、「受診した」と回答した割合は男性が女性より3.5ポイント高くなっている。

性、年代別でみると、50歳代男性では「受診した」と回答した割合が25.2%と最も高く、その他の性・年代では2割以下となっている。また、30歳代以下の男女ともに「受診していない」と回答した割合は約9割以上を占めている。

【(3) 人間ドック受診状況】

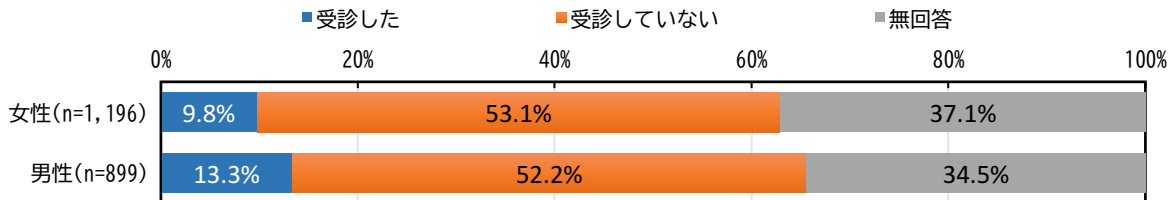


(経年比較) ※平成29年度「あなたは、過去1年間に、職場や市町村等で行われる健康診断や人間ドックを受けたことがありますか」

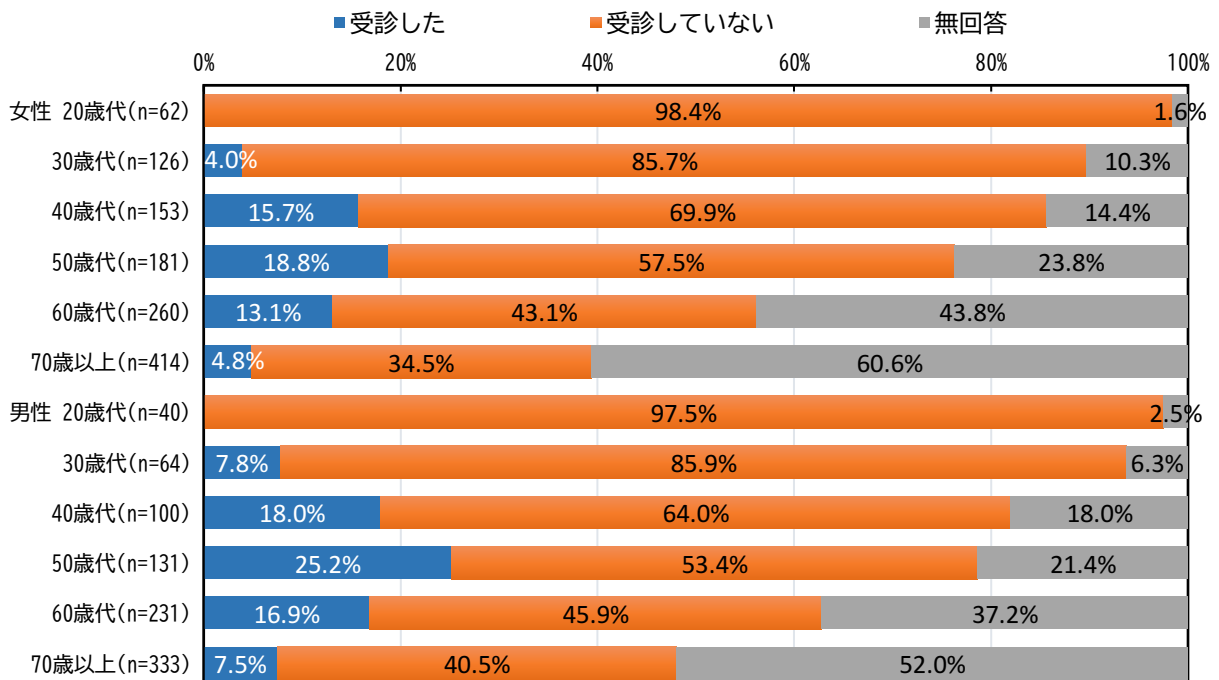


※設問の内容が異なるため、比較は行わず参考資料として掲載した。

(性別)



(性・年代別)



【問 24 で (1)、(2)、(3) 全て「2. 受診していない」に○をつけた方のみお答えください】

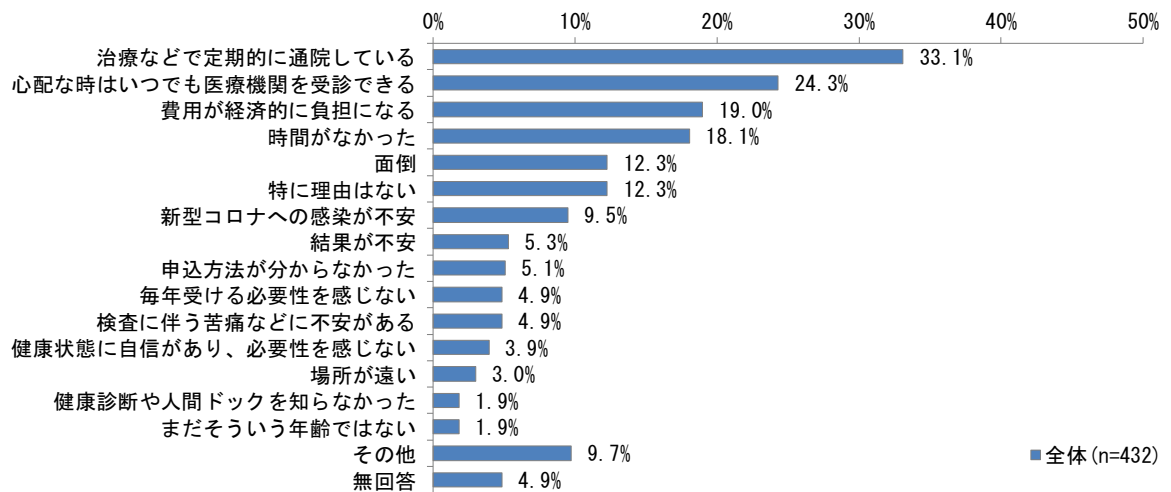
問 24-2 健康診断や人間ドックを受けなかった理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

健康診断や人間ドックを受けなかった理由について、「治療などで定期的に通院している」33.1%が最も高く、次いで「心配な時はいつでも医療機関を受診できる」24.3%、「費用が経済的に負担になる」19.0%となっている。

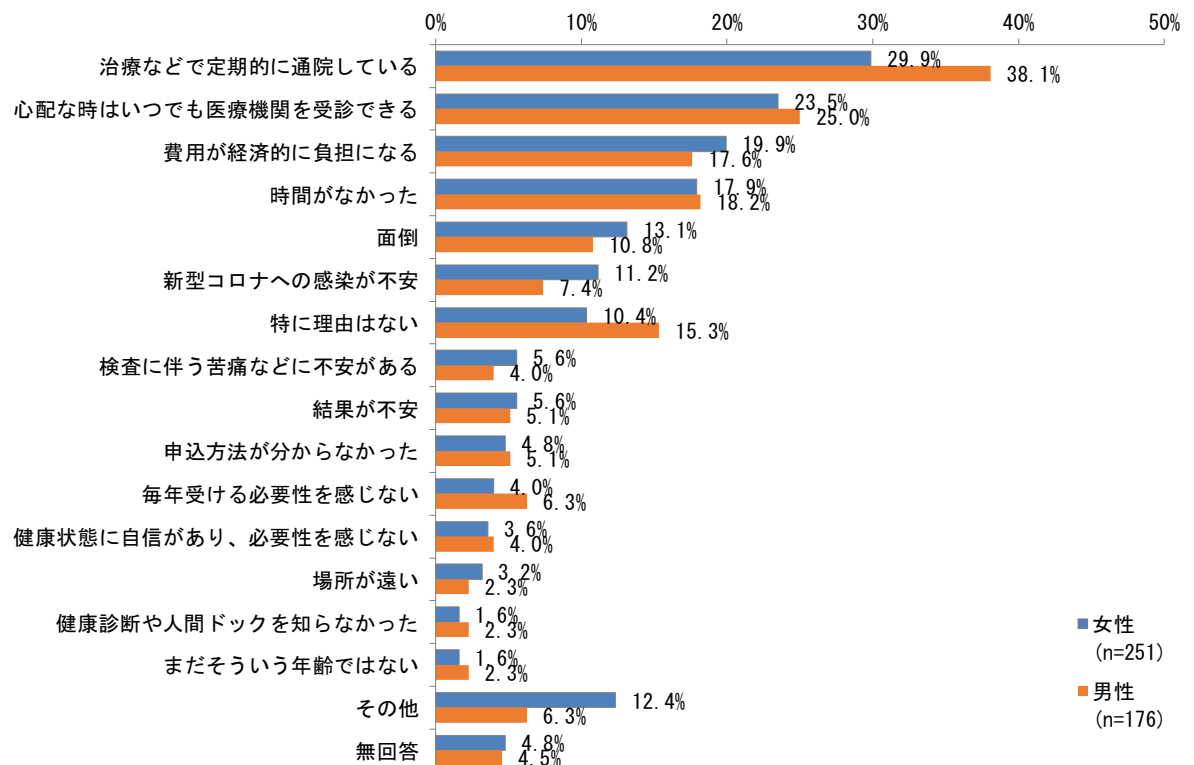
性別でみると、男性では「治療などで定期的に通院している」と回答した割合が女性と比べて8.2ポイント高くなっている。性・年代別でみると、30歳代の男女ともに「費用が経済的に負担になる」と回答した割合が約4割となっている。また、50歳代男性では「時間がなかった」と回答した割合が半数以上を占め、他の性・年代と比べて高くなっている。

【健康診断や人間ドックを受けなかった理由】

(全体)



(性別)



問24-2 その他回答内容
タイミングが合わなかった
入院中
妊娠していたから
定期的に血液検査している
ホームドクターでやってもらっている
治療中
半年に一度程度、簡易的な血液検査を受けている
健康診断の通知があげ受けたい
腎臓病あり
たばこを吸えない場所には行かない
興味なし
年2回熊本市内の病院通院
毎年受けていたが、予約をし忘れたため
かかりつけ医を定期的に受診
糖尿病なので薬を取りに行き、血液検査をしているため
自分の目の病気で手術をキャンセルし村の健診を頼んでいたが、役場の担当者の方が忘れていたのか連絡が来ず受けていない
妊娠中だったため
健診あてにならない
いつ受けようかと思っているうちの延び延びになってしまう
妊娠・出産で行く時間がない
毎年受けていたけどコロナで受けるのが怖く行けない
かかりつけの医療機関で定期的に受けている
予約が取れなかった
保険証を持たなかった
年に1度誕生日に血液検査を行っている
病院へかかっている
持病のため医療機関で受診
40歳にならないと安く受けられない
妊娠・出産で時間が全くない
通院中
統合失調症による幻聴で外出できない
5月まで介護をしていたから
高齢なので
施設入所中
仕事を辞めたため機会がなかった
高齢で歩行困難であり、付き添い者もいないので1人で行くのが不安
かかりつけ医にて、2か月に1度健診、年2回血液・レントゲン等検査をしている
時間がない
転職したタイミングが悪かった
妊娠中

問 25 あなたが過去1年間（胃がん・子宮頸がん・乳がんは過去2年間）に受けたがん検診はどれですか。それぞれの健診について1つ選んで○をつけてください。

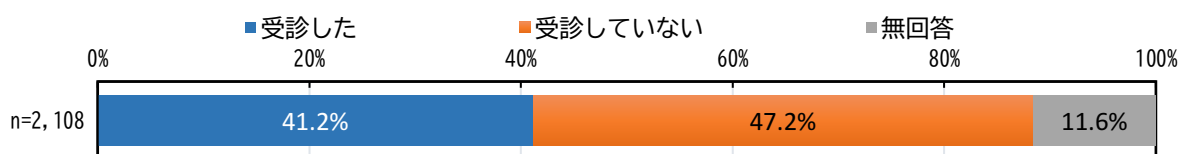
- (1) 胃がん検診 (2) 肺がん検診 (3) 大腸がん検診
 (4) 子宮頸がん検診※女性のみ (5) 乳がん検診※女性のみ

胃がん検診の受診状況について、「受診した」41.2%、「受診していない」47.2%となっている。

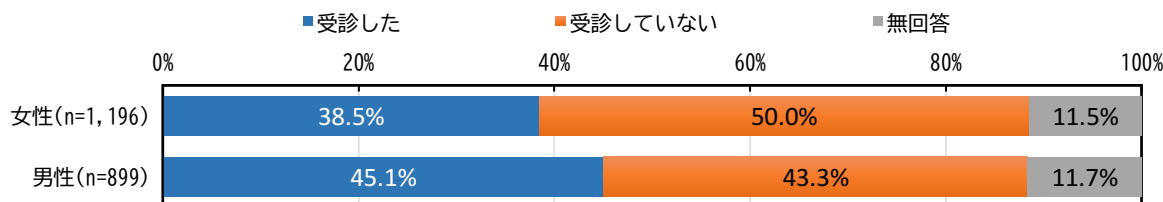
性別でみると、男性では「受診した」と回答した割合が女性と比べて6.6ポイント高く、女性では半数が「受診していない」と回答している。

性、年代別でみると、20歳代の男女ともに「受診していない」と回答した割合が9割を占めている。一方、30歳代から60歳代までの男女では、年代が上がるにつれて「受診した」と回答した割合が高くなっている。

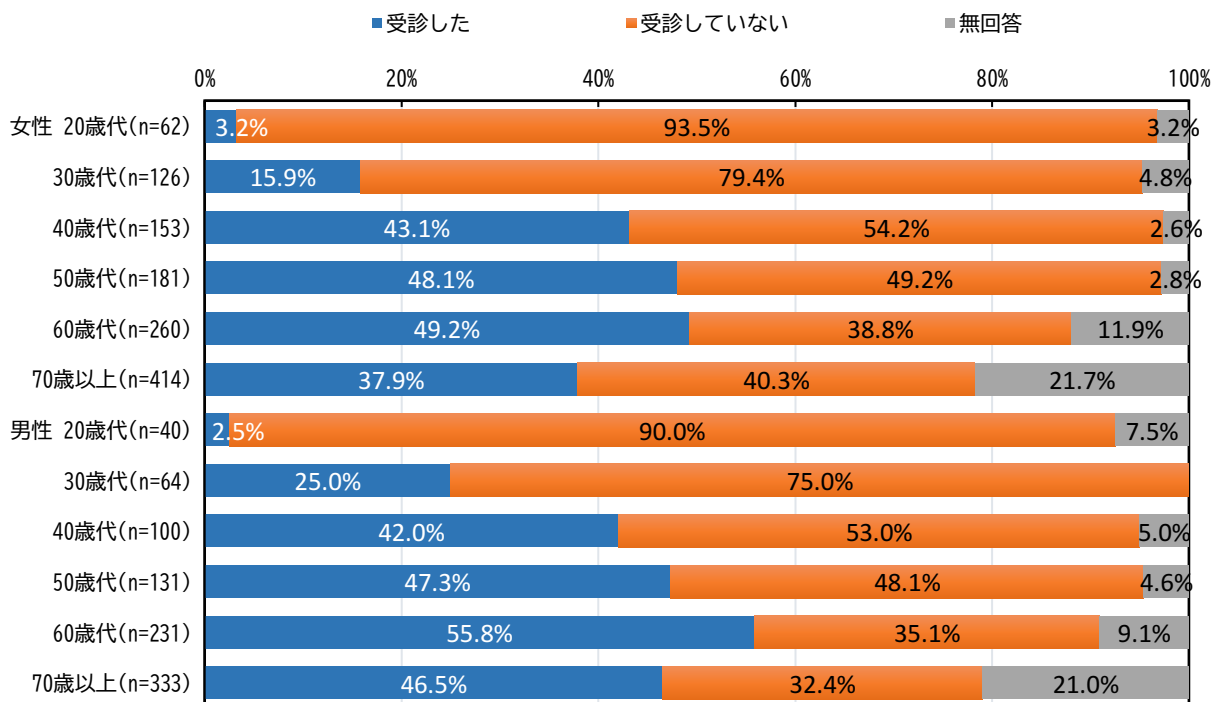
【(1) 胃がん検診】



(性別)



(性・年代別)



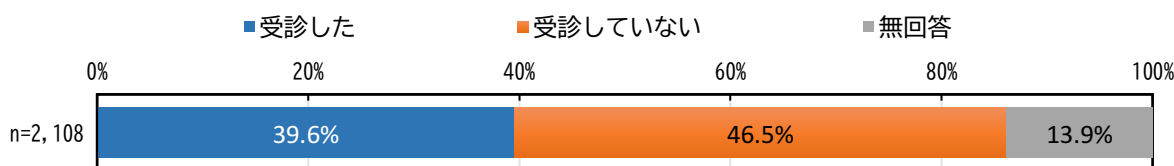
問 25 あなたが過去1年間（胃がん・子宮頸がん・乳がんは過去2年間）に受けたがん検診はどれですか。それぞれの健診について1つ選んで○をつけてください。
 (1) 胃がん検診 (2) 肺がん検診 (3) 大腸がん検診
 (4) 子宮頸がん検診※女性のみ (5) 乳がん検診※女性のみ

肺がん検診の受診状況について、「受診した」39.6%、「受診していない」46.5%となっている。

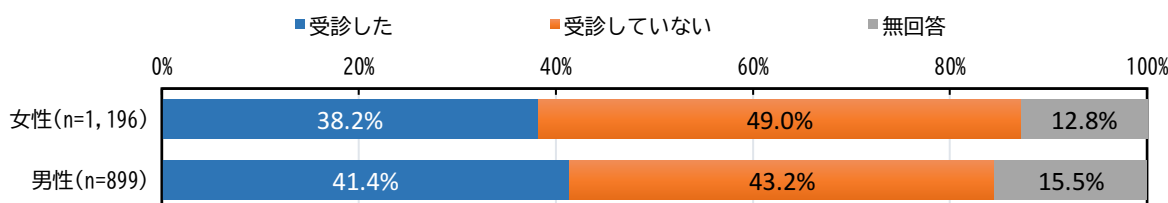
性別でみると、女性では「受診していない」と回答した割合が約半数となっている。

性、年代別でみると、20歳代から30歳代までの男女ともに「受診していない」と回答した割合は約8割以上を占めている。一方、40歳代以上の男女では「受診した」と回答した割合は約4割以上となっている。

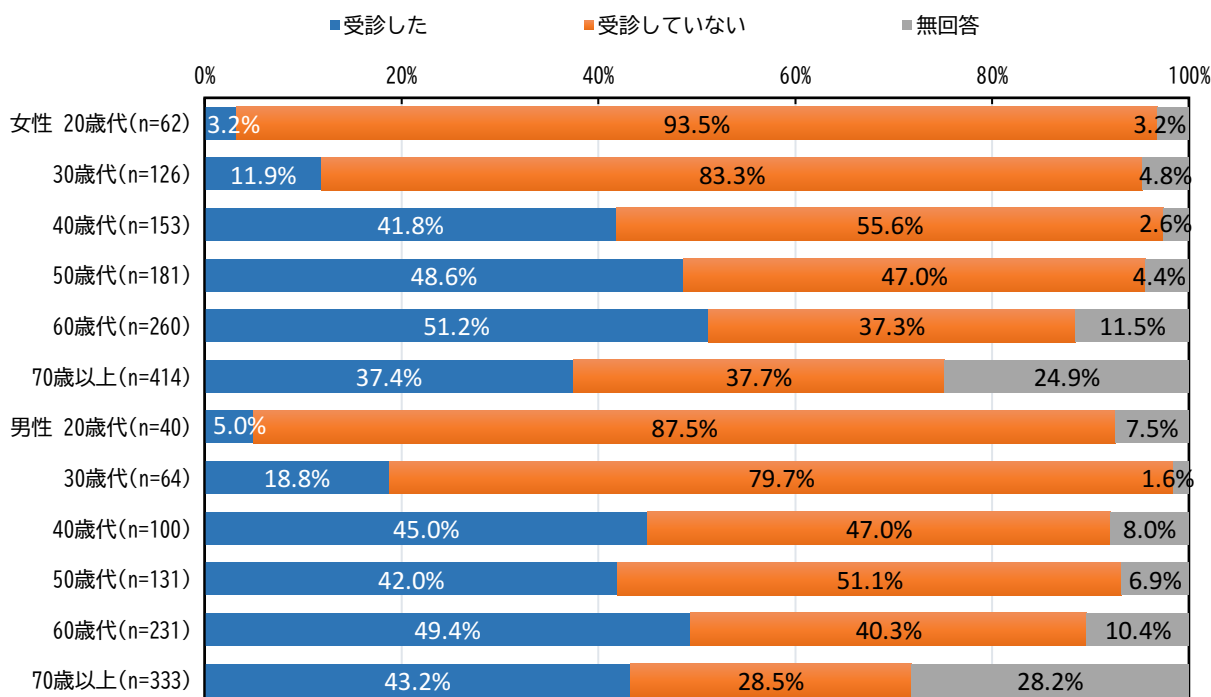
【(2) 肺がん検診】



(性別)



(性・年代別)



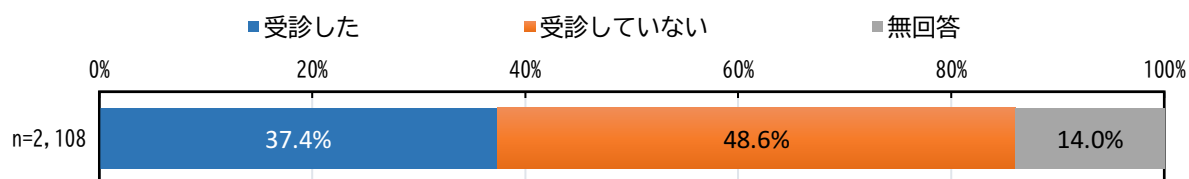
問 25 あなたが過去1年間（胃がん・子宮頸がん・乳がんは過去2年間）に受けたがん検診はどれですか。それぞれの健診について1つ選んで○をつけてください。
 (1) 胃がん検診 (2) 肺がん検診 (3) 大腸がん検診
 (4) 子宮頸がん検診※女性のみ (5) 乳がん検診※女性のみ

大腸がん検診の受診状況について、「受診した」37.4%、「受診していない」48.6%となっている。

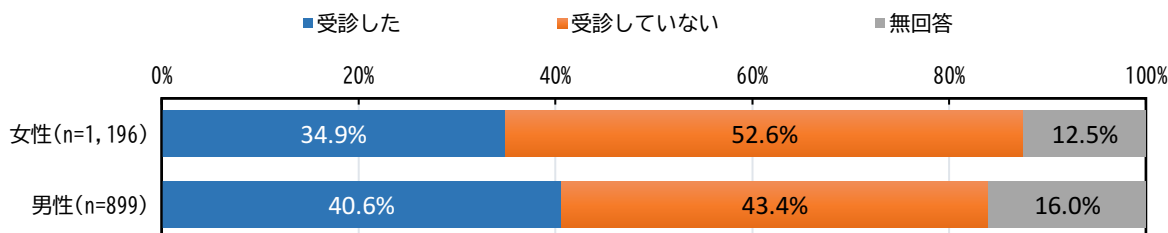
性別でみると、男性では「受診した」と回答した割合が女性と比べて5.7ポイント高く、女性では「受診していない」と回答した割合が52.6%と半数以上となっている。

性、年代別でみると、20歳代から30歳代までの男女ともに「受診していない」と回答した割合が7割以上となっている。一方、50歳代、60歳代の女性と60歳代の男性では「受診した」と回答した割合が約半数を占めている。

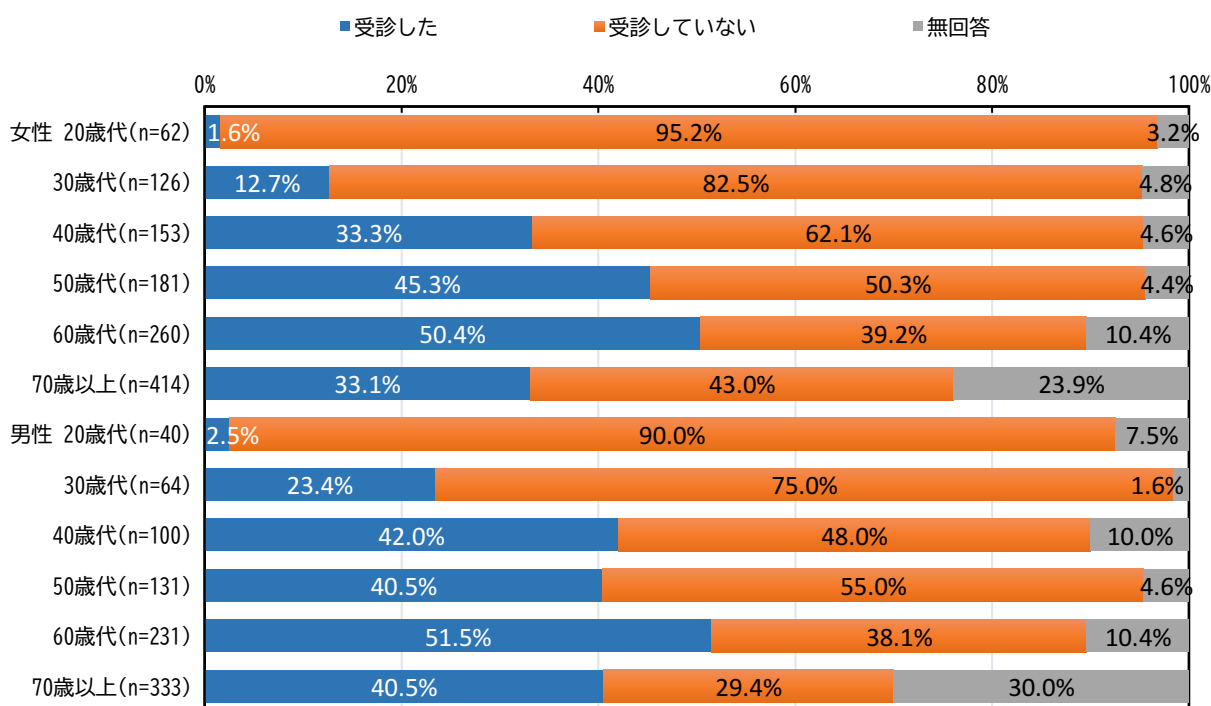
【(3) 大腸がん検診】



(性別)



(性・年代別)



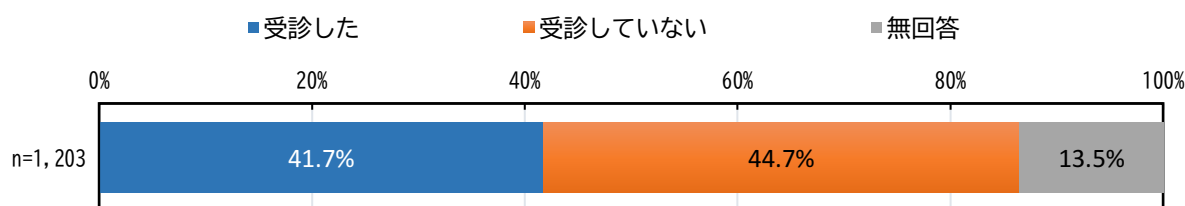
【女性のみお答えください】

問 25 あなたが過去1年間（胃がん・子宮頸がん・乳がんは過去2年間に受けたがん検診はどれですか。それぞれの健診について1つ選んで○をつけてください。
 (1) 胃がん検診 (2) 肺がん検診 (3) 大腸がん検診
 (4) 子宮頸がん検診※女性のみ (5) 乳がん検診※女性のみ

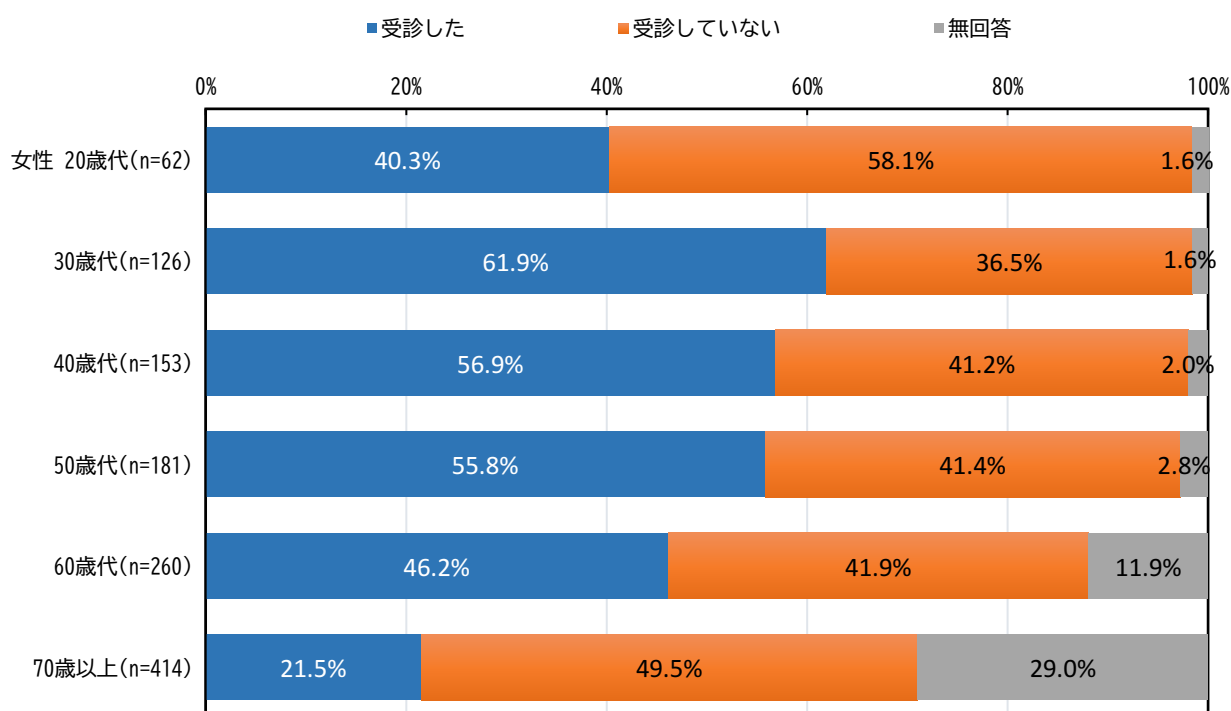
子宮頸がん検診（女性のみ）の受診状況について、「受診した」41.7%、「受診していない」44.7%となっている。

年代別でみると、30歳代では「受診した」と回答した割合6割以上となっており、それ以上の年代では、年代が上がるにつれて低くなっている。

【(4) 子宮頸がん検診】



(年代別)



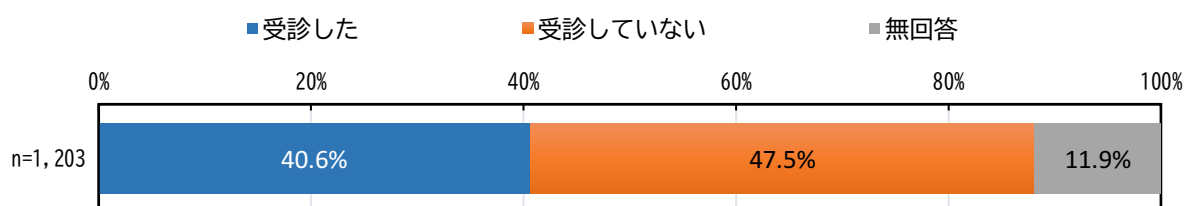
【女性のみお答えください】

問 25 あなたが過去1年間（胃がん・子宮頸がん・乳がんは過去2年間）に受けたがん検診はどれですか。それぞれの健診について1つ選んで○をつけてください。
 (1) 胃がん検診 (2) 肺がん検診 (3) 大腸がん検診
 (4) 子宮頸がん検診※女性のみ (5) 乳がん検診※女性のみ

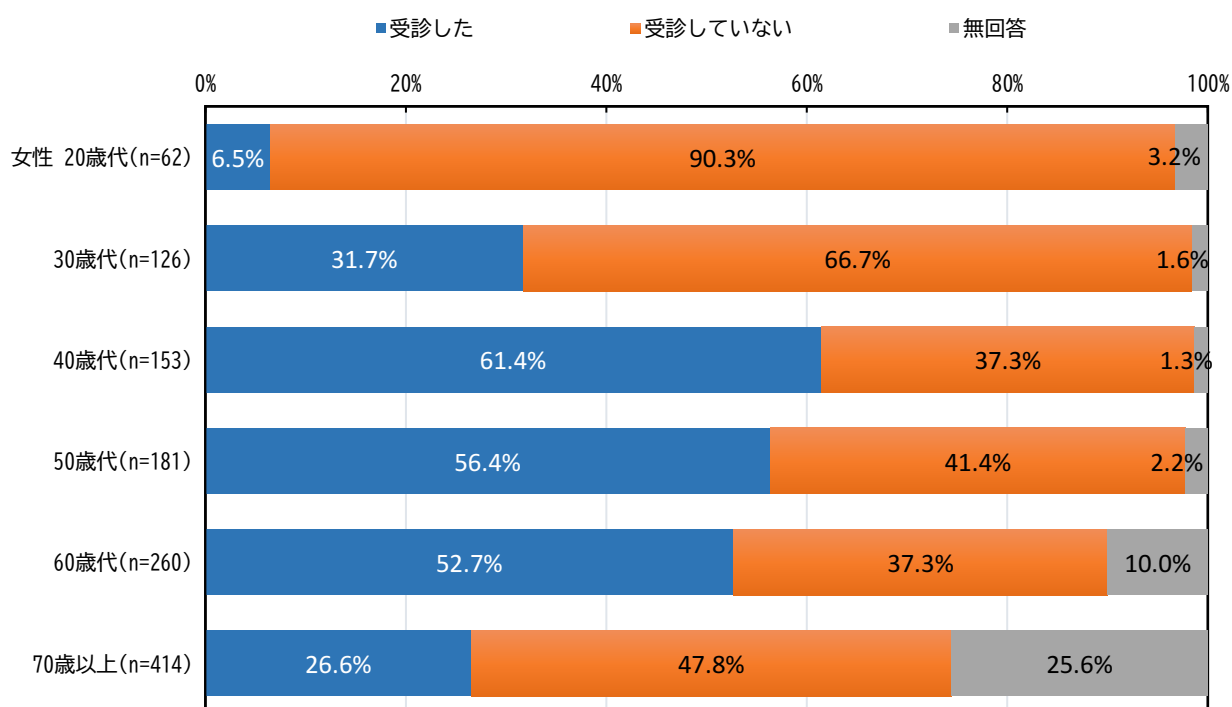
乳がん検診（女性のみ）の受診状況について、「受診した」40.6%、「受診していない」47.5%となっている。

年代別でみると、30歳代では「受診した」と回答した割合が6割以上となっており、それ以上の年代では、年代が上がるにつれて低くなっている。

【(5) 乳がん検診】



(年代別)



【問 25 で 1 つでも「2. 受診していない」に○をつけた方のみ、お答えください】

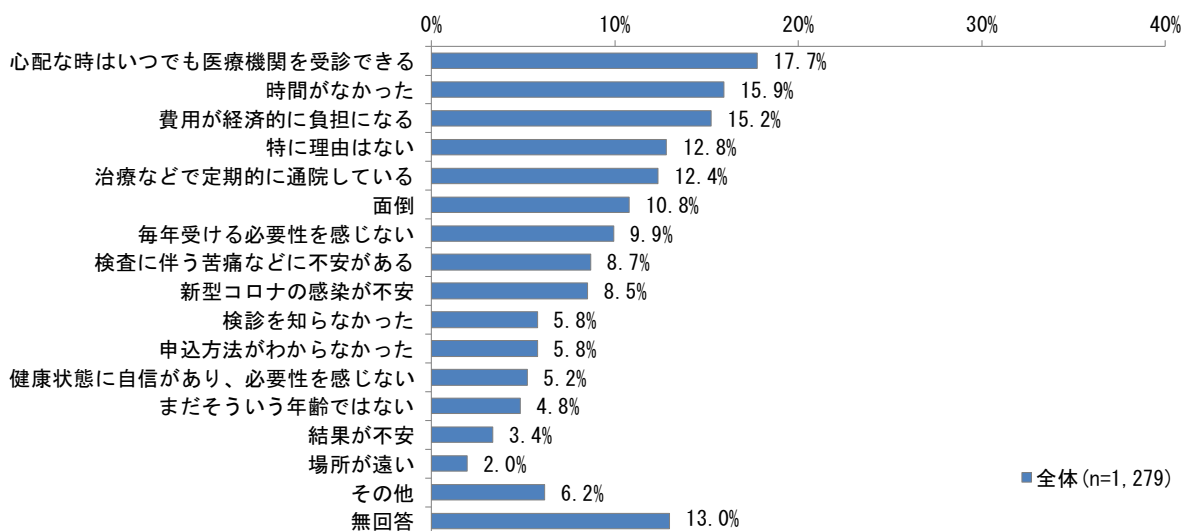
問 25-2 がん検診を受けなかった理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

がん検診を受けなかった理由について、「心配な時はいつでも医療機関を受診できる」17.7%が最も高く、次いで「時間がなかった」15.9%、「費用が経済的に負担になる」15.2%となっている。

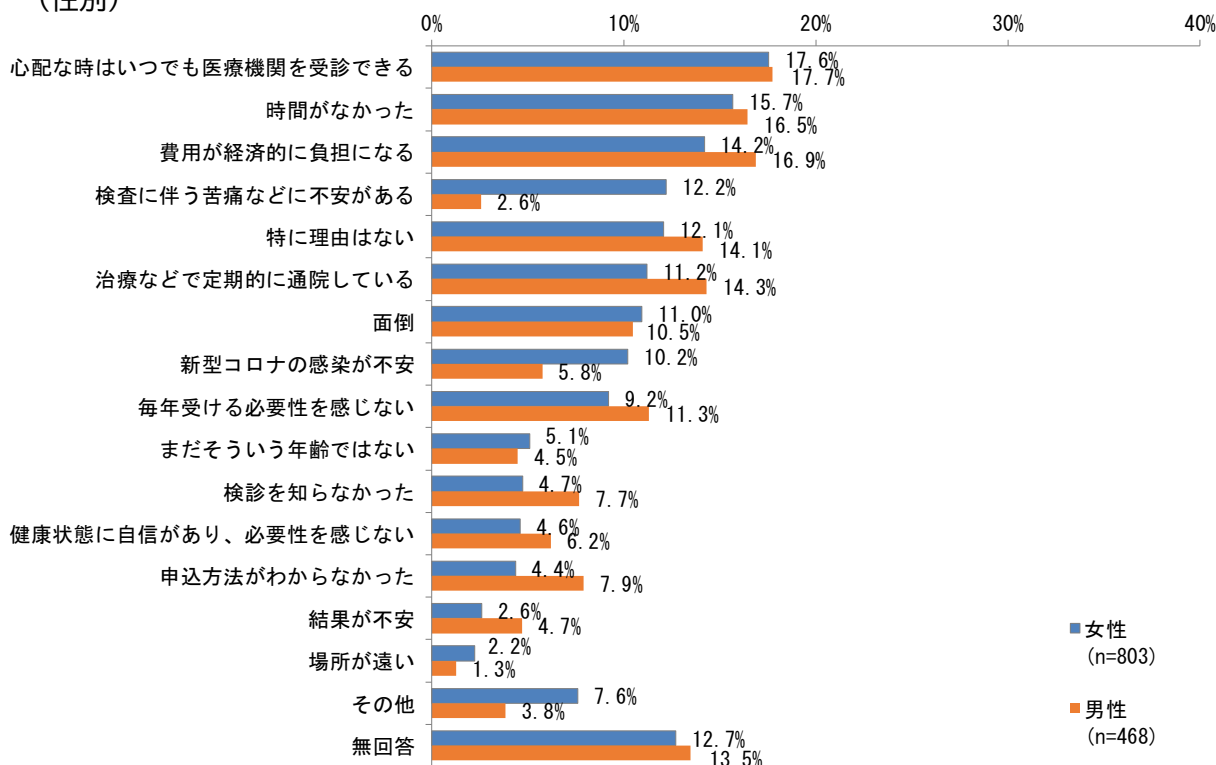
性別でみると、女性では「検査に伴う苦痛などに不安がある」と回答した割合が男性と比べて9.6ポイント高く、男性では「検診を知らなかった」「申込方法がわからなかった」「治療などで定期的に通院している」と回答した割合が女性と比べて3.0ポイント以上高くなっている。性・年代別でみると、20歳代の男女ともに「まだそういう年齢ではない」と回答した割合が約3割以上となっている。また、30歳代の男女ともに「費用が経済的に負担になる」と回答した割合が他の性・年代と比べて高くなっている。

【がん検診を受けなかった理由】

(全体)



(性別)



問25-2 その他回答内容
毎月病院で検査している為
施設に入所している為
入院中
人間ドックに項目がなかった
体の調子が悪くて受ける気にならない
高齢で動けない
一昨年受けたため
病院を迷ったため
肺がん検診は健康診断のレントゲンでカバーできると思っていた
職場で受けた
たばこを吸えない場所には行かない
健診にない
興味なし
億劫
4年程前に胃と腸で受けている
体が不自由
喘息でせき込むため
施設入所中
昨年が手術をし定期検査をしている
予約をし忘れていたため
仕事を休めない
年齢に達していないため市町村の健診で出来なかったから
20年前に卵巣がんになりすべて取り、乳がんは自分で気を付けています
治療の際、MRI受けた部位がある
入院時に診察を受けている
自分の目の病気で手術をキャンセルし市の健診を頼んでいたが、役場の担当者の方が忘れていたのか連絡が来ず受けていない
認知症
健診あてにならないと思う事例が多い
子宮けいがんは切除が必要がないため
コロナワクチン接種に行った際7年ぶりに健康診断をしたら胃カメラと大腸カメラをすることとなり、腹部エコーも半年に1回受けることにした
妊娠・出産で行く時間がない
経済的理由
定期的に病院で検査している
市町村の健康診断に申し込み忘れたため
コロナで病院に行きたくない
その臓器は手術でないから
受診する予定だがまだ予約を取っていない
人間ドックに入っていない為
バリウム検査を受ける体力がなかった
日程調整ができなかった
保険証を持たなかった
気になるが行きそびれている
勤務している病院が仕事を休むといやな顔をされるので休めない
かかりつけ医がある
以前肝炎ウイルスの治療を受けた後、定期的に検体検査を受けているのでそれでいいかと思っている
ついつい先延ばしになっている
月に1回かかりつけ医に通っている
コロナの影響で医療機関側よりキャンセルされた
前年受診した
介護があったから
職場の健康診断にない種目がある
高齢なので
定期的に病院へ通院している
2020年5月に乳がんが見つかり全摘手術を受け、その後治療しているので、他のがん健診は受けていない
月経の為、検査できなかった
昨年までガンで通院治療を受けていました
検査時にじっとしてられない(高齢の為、認知症もある)
受けたくない
歩行困難でないときはガン健診などにも行っていますが、高齢で付き添い者もいなくなってからおっくうになりました、また病院で「一人で来たのですか？」と度々聞かれるのも悲しいです
基本健診の項目になかったため
かかりつけ医の定期検査で
健康診断を受けている
1年8ヶ月ほどに乳腺外科を受診して問題なかったから
職場で受けるから
妊娠していたため
職場の人間ドックに当選しなかったから
健康診断で異常がないため
毎年、職場の健康診断を受けている
人間ドックにはいつているか不明
4歳の乳がん検診クーポンが来てから受けようと思っています
妊娠、出産で受けられない
ドックを毎年受けているから
浪人生のため
病院が嫌いだから

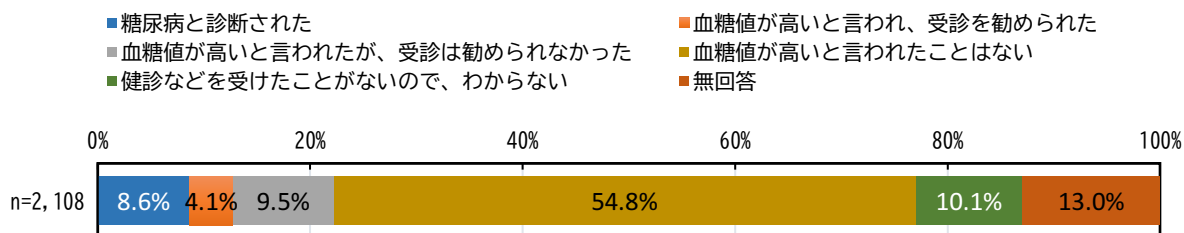
糖尿病について

問 26 あなたは、健診などで糖尿病についてどのような状況だと言われていますか。
1つ選んで○をつけてください。

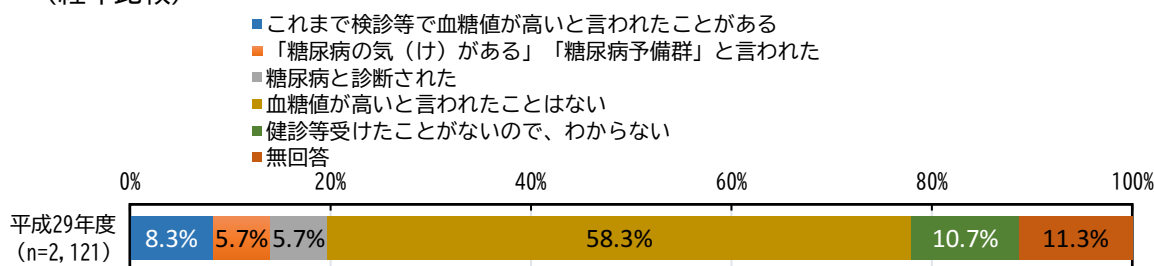
糖尿病について、「血糖値が高いと言われたことはない」54.8%が最も高く、次いで「健診などを受けたことがないので、わからない」10.1%となっている。

性別で見ると、男性では「糖尿病と診断された」と回答した割合が女性と比べて4.7ポイント高くなっている。性・年代別で見ると、70歳以上の男女ともに「糖尿病と診断された」と回答した割合は他の年代と比べて高くなっている。

【糖尿病について】

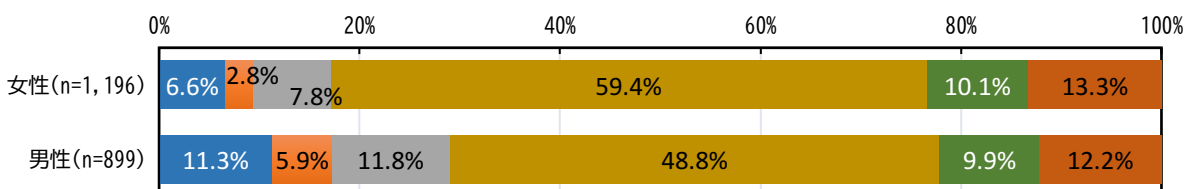


(経年比較)

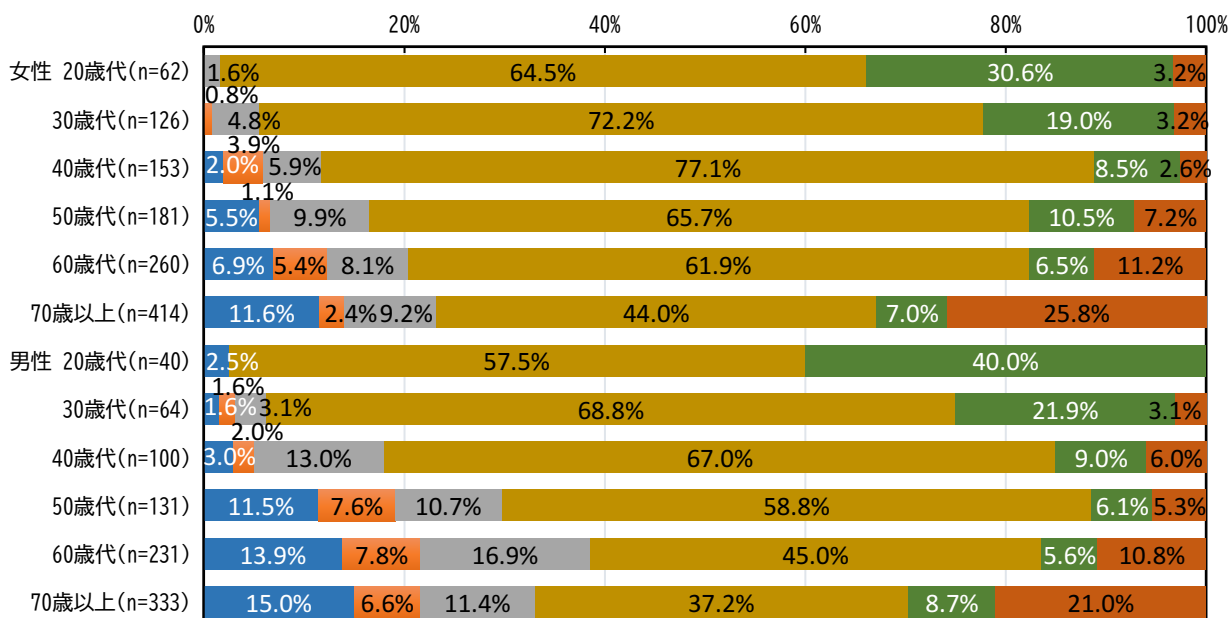


※選択肢の内容が異なるため、比較は行わず参考資料として掲載した。

(性別)



(性・年代別)



【問 26 で「1. 糖尿病と診断された」に○をつけた方のみ、お答えください】

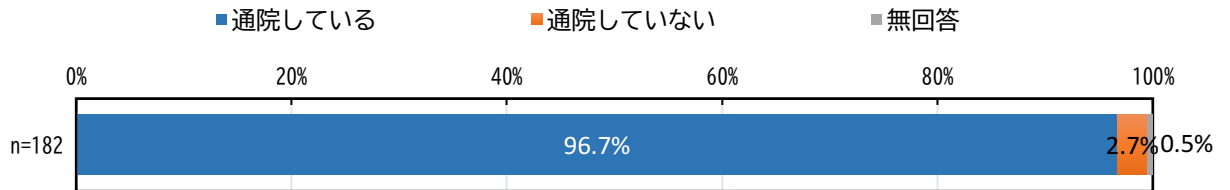
問 26-2 糖尿病の治療や経過観察のため、定期的に通院していますか。1つ選んで○をつけてください。

糖尿病の治療や経過観察のための通院状況について、「通院している」96.7%、「通院していない」2.7%となっている。

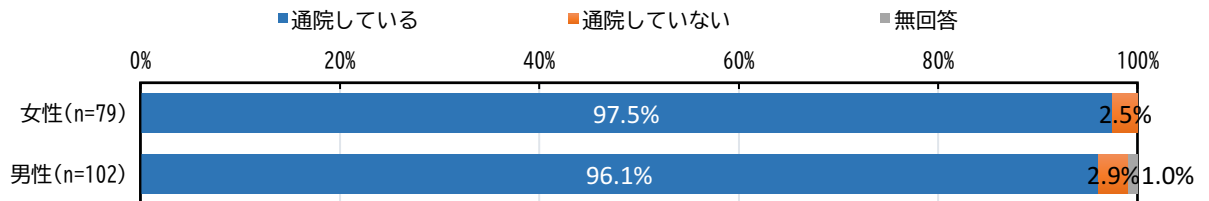
性別でみると、男女で大きな差異はみられない。

性・年代別でみると、40歳代女性では「通院している」と回答した割合は66.7%と6割以上を占めており、他の性・年代と比べて低くなっている。

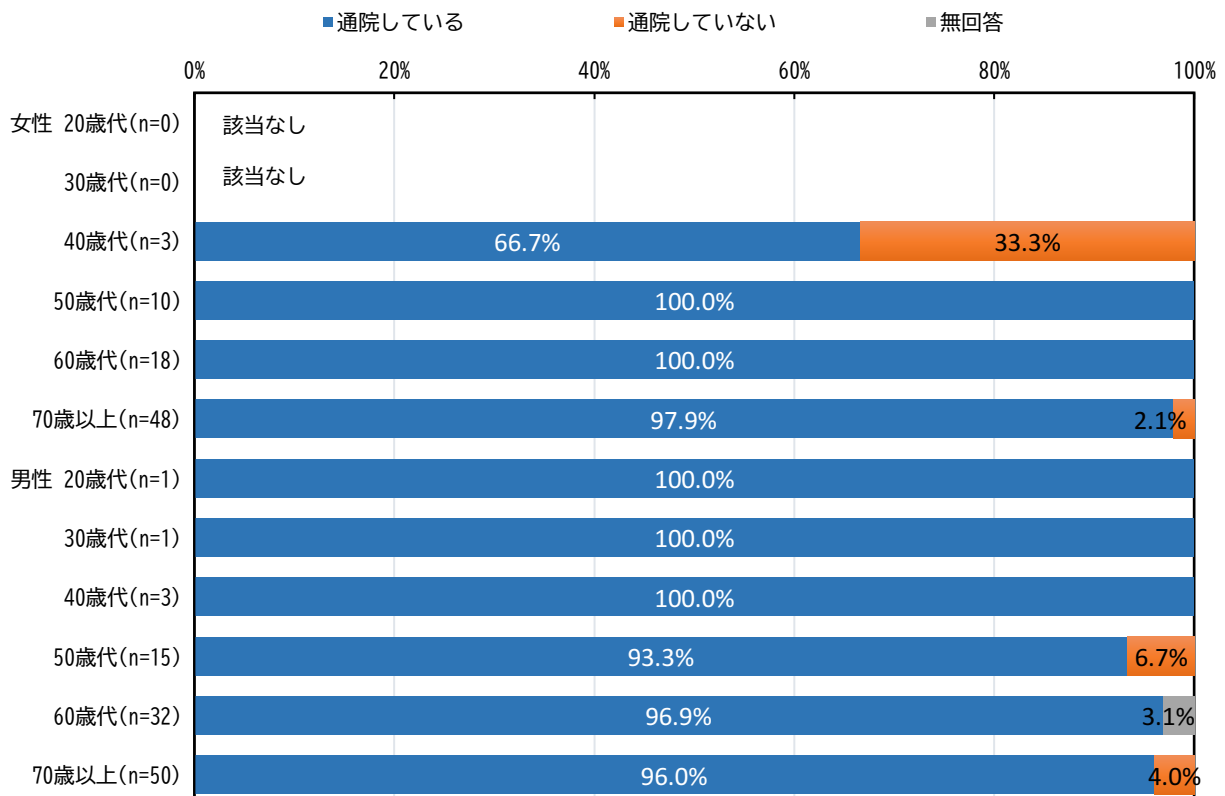
【糖尿病の治療や経過観察のための通院状況】



(性別)



(性・年代別)



【問 26-2 で「2. 通院していない」に○をつけた方のみ、お答えください】

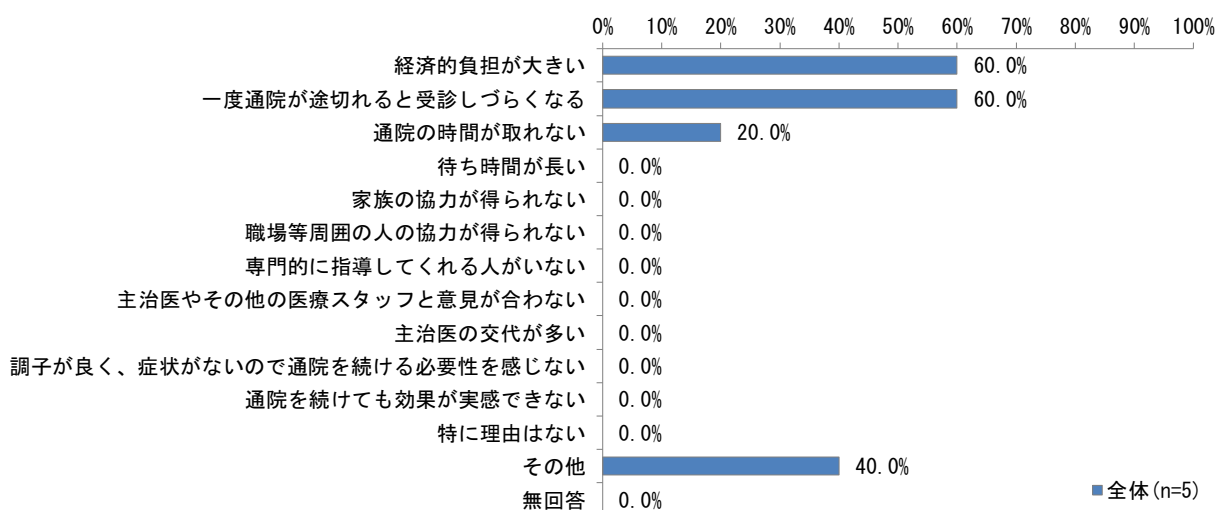
問 26-3 定期的な通院ができない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

糖尿病の治療や経過観察のための通院をしていない理由について、サンプル数が少ないことに留意する必要があるが、「経済的負担が大きい」「一度通院が途切れると受診しづらくなる」がいずれも 60.0%と最も高く、次いで「通院の時間が取れない」20.0%となっている。

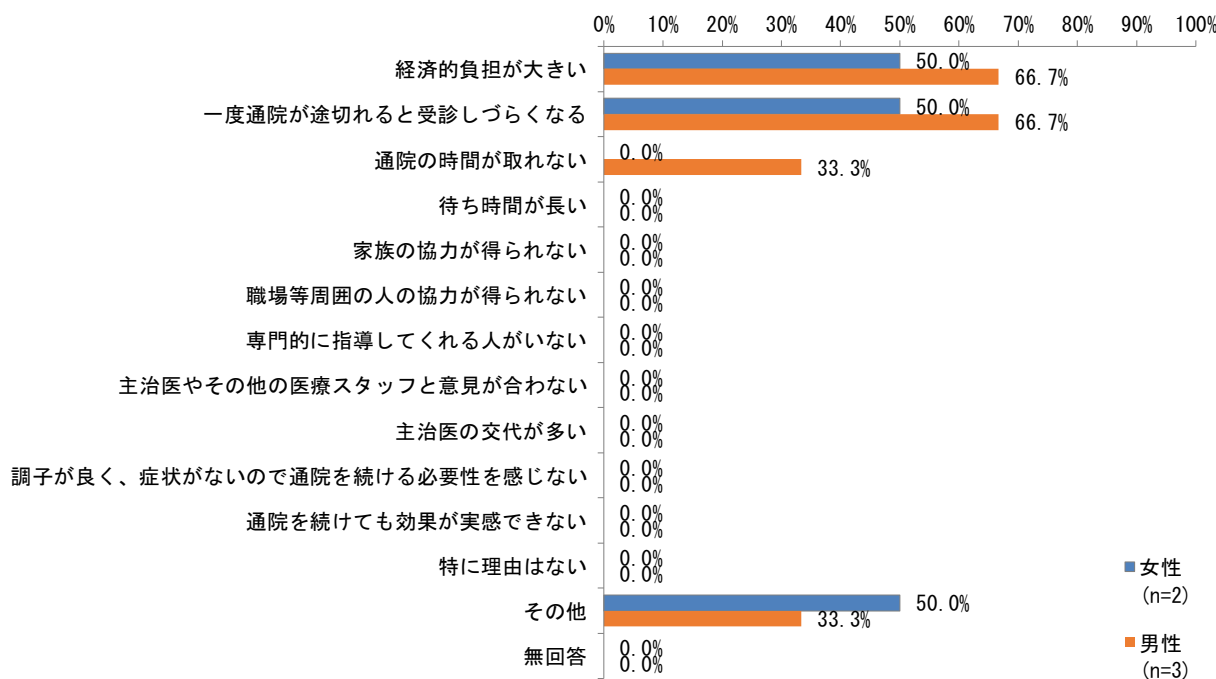
性別でみると、男女で大きな差異はみられない。

【通院していない理由】

(全体)



(性別)



複数回答のため 合計は100%に ならない 上段: 回答者数 下段: 構成比 ■ 上位1項目	サンプル数	通院の 時間が取れ ない	待 ち 時 間 が 長 い	家 族 の 協 力 が 得 ら れ ない	職 場 等 周 圍 の 人 の 協 力 が 得 ら れ ない	専 門 的 に 指 導 し て く る 人 が い ない	主 治 医 や そ の 他 の 医 療 ス タ ッフ と 意 見 が 合 わ ない	主 治 医 の 交 代 が 多 い	経 済 的 負 担 が 大 き い	一 度 通 院 が 途 切 れ る と 受 診 し づ ら く な る	調 子 が 良 く 、 症 状 が な い の で 通 院 を 続 け る 必 要 性 を 感 じ な い	通 院 を 続 け て も 効 果 が 実 感 で き な い	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答
全体	5	1	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	2	0	0
	-	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
女性	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
20歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
50歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
70歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	3	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	0
	-	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
20歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50歳代	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	-	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
70歳以上	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
熊本市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
荒尾市、玉名市、玉名郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山鹿市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
菊池市、合志市、菊池郡	2	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0
	-	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
阿蘇市、阿蘇郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上益城郡	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
宇土市、宇城市、下益城郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八代市、八代郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水俣市、葦北郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
人吉市、球磨郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
天草市、上天草市、天草郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
非常に健康だと思う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
まあ健康だと思う	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
あまり健康でない	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
健康ではない	3	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	0	0
	-	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問26-3 その他回答内容	
入院中	
パーキンソンで定期的に見てもらっているから	
特に深刻な程度ではなく、仕事が忙しくなったため	
難病のため	
往診	

【問 26 で「2. 血糖値が高いと言われ、受診を勧められた」に○をつけた方のみ、お答えください】

問 26-4 受診を勧められてから、現在どのような状況ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

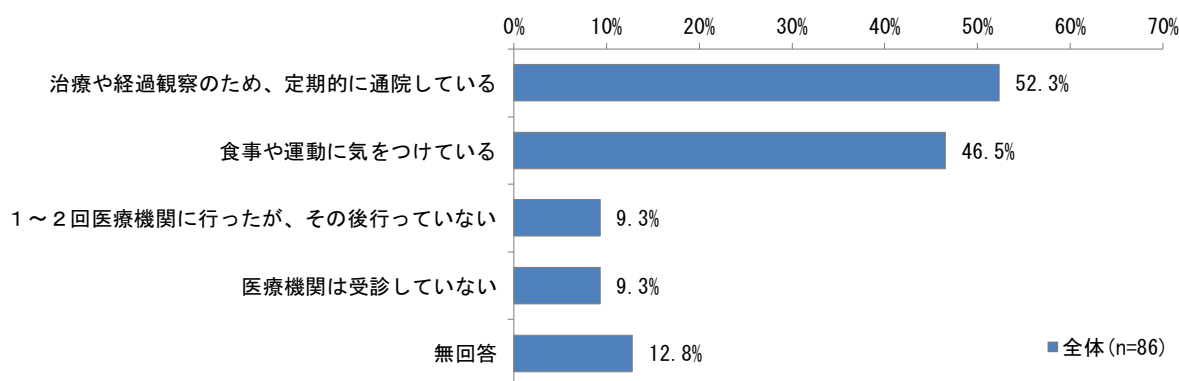
受診を勧められてから現在の状況について、「治療や経過観察のため、定期的に通院している」52.3%が最も高く、次いで「食事や運動に気をつけている」46.5%となっている。

性別で見ると、女性では「食事や運動に気をつけている」「1～2回医療機関に行ったが、その後行っていない」と回答した割合が男性と比べて高く、男性では「治療や経過観察のため、定期的に通院している」「医療機関は受診していない」と回答した割合が女性と比べて高くなっている。

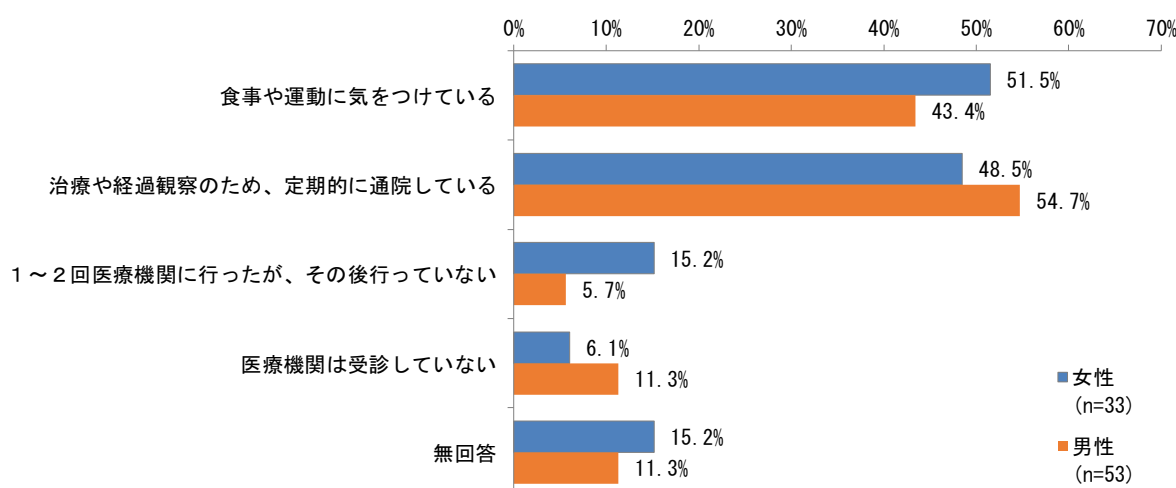
性・年代別で見ると、40歳代の女性では「治療や経過観察のため、定期的に通院している」と回答した割合が他の性・年代と比べて低くなっている。

【受診を勧められてから現在の状況】

(全体)



(性別)



【問 26 で「3. 血糖値が高いと言われたが、受診は勧められなかった」に○をつけた方のみ、お答えください】

問 26-5 血糖値が高いと言われてから、現在どのような状況ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

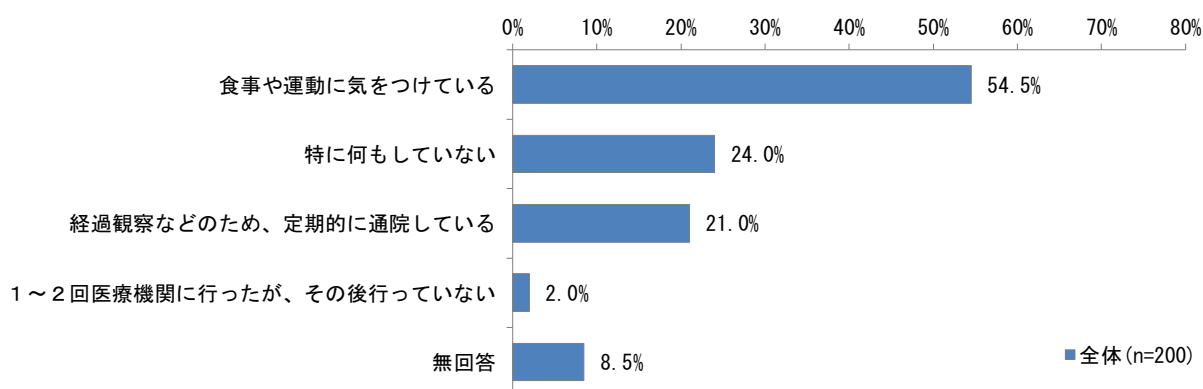
血糖値が高いと言われてから現在の状況について、「食事や運動に気をつけている」54.5%が最も高く、次いで「特に何もしていない」24.0%、「経過観察などのため、定期的に通院している」21.0%となっている。

性別で見ると、女性では「食事や運動に気をつけている」と回答した割合が男性と比べて26.3ポイント高く、男性では「経過観察などのため、定期的に通院している」「特に何もしていない」と回答した割合が女性と比べて高くなっている。

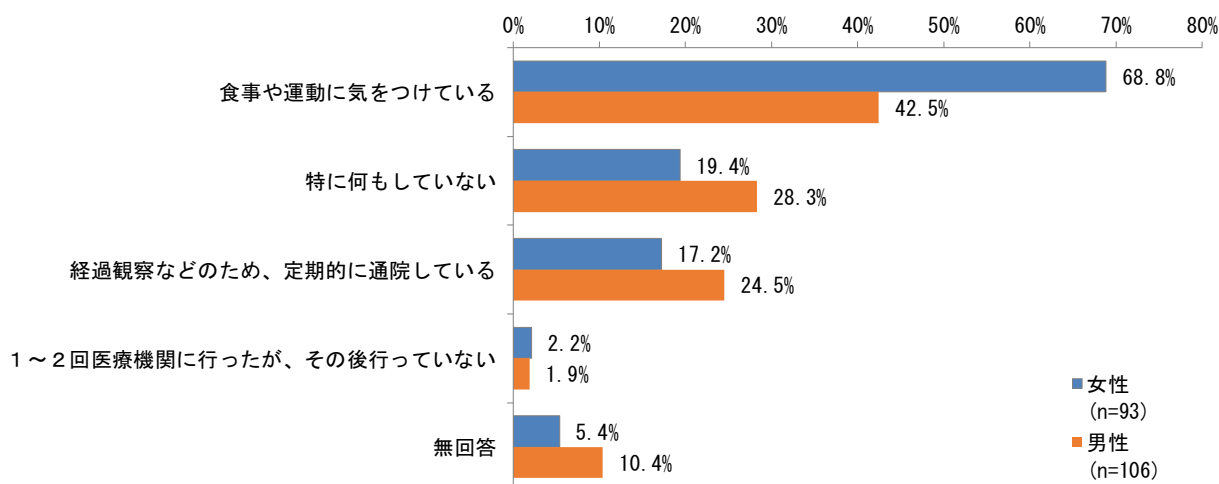
性・年代別で見ると、50歳代以上の女性では「食事や運動に気をつけている」と回答した割合が7割以上を占め、他の性・年代と比べて高くなっている。

【血糖値が高いと言われてから現在の状況】

(全体)



(性別)



新型コロナウイルス感染症の影響について

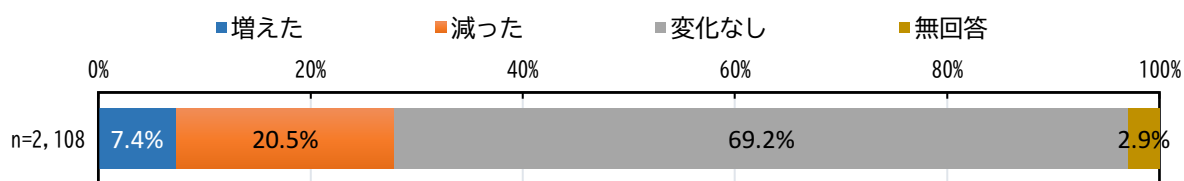
問 27 新型コロナウイルス感染症の流行前と比べて、現在の状況に変化はありますか。
各問について、それぞれ1つ選んで○をつけてください。
<運動について>

新型コロナウイルス感染症流行後の運動状況の変化について、「変化なし」69.2%が最も高く、次いで「減った」20.5%、「増えた」7.4%となっている。

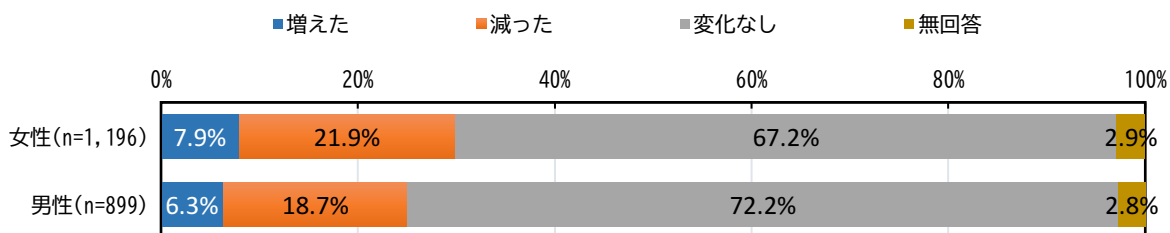
性別でみると、女性では「減った」と回答した割合が男性と比べて3.2ポイント高く、男性では「変化なし」と回答した割合が女性と比べて5.0ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、20歳代男性では「減った」と回答した割合が3割となっており、他の性・年代と比べて高くなっている。

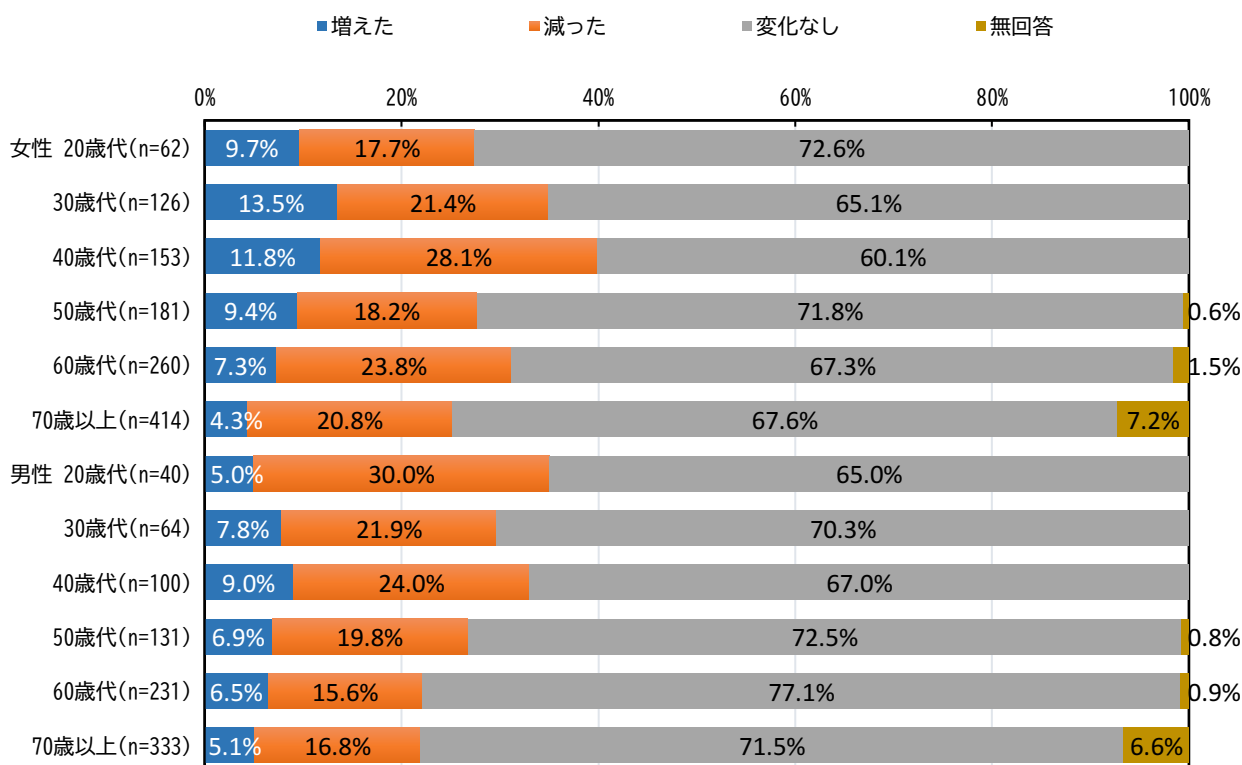
【運動についての状況の変化】



(性別)



(性・年代別)



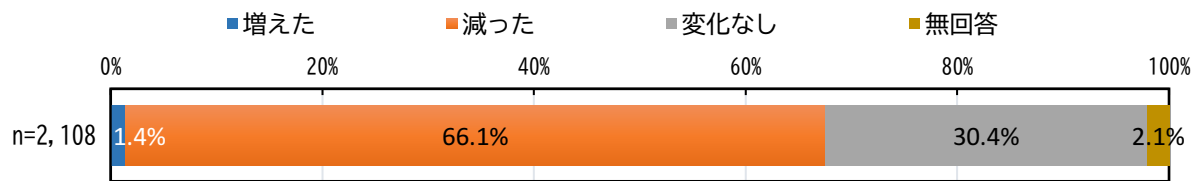
問 28 新型コロナウイルス感染症の流行前と比べて、現在の状況に変化はありますか。
各問について、それぞれ1つ選んで○をつけてください。
<外出の機会について>

新型コロナウイルス感染症流行後の外出機会状況の変化について、「減った」66.1%が最も高く、次いで「変化なし」30.4%、「増えた」1.4%となっている。

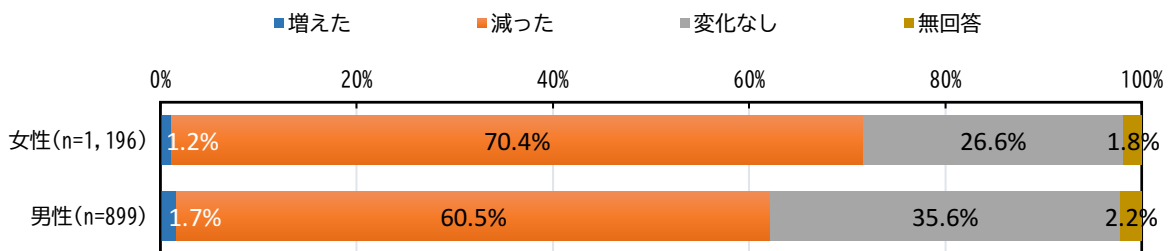
性別で見ると、女性では「減った」と回答した割合が男性と比べて9.9ポイント高く、男性では「変化なし」と回答した割合が女性と比べて9.0ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、30歳代から50歳代の女性では「減った」と回答した割合が約8割となっている。

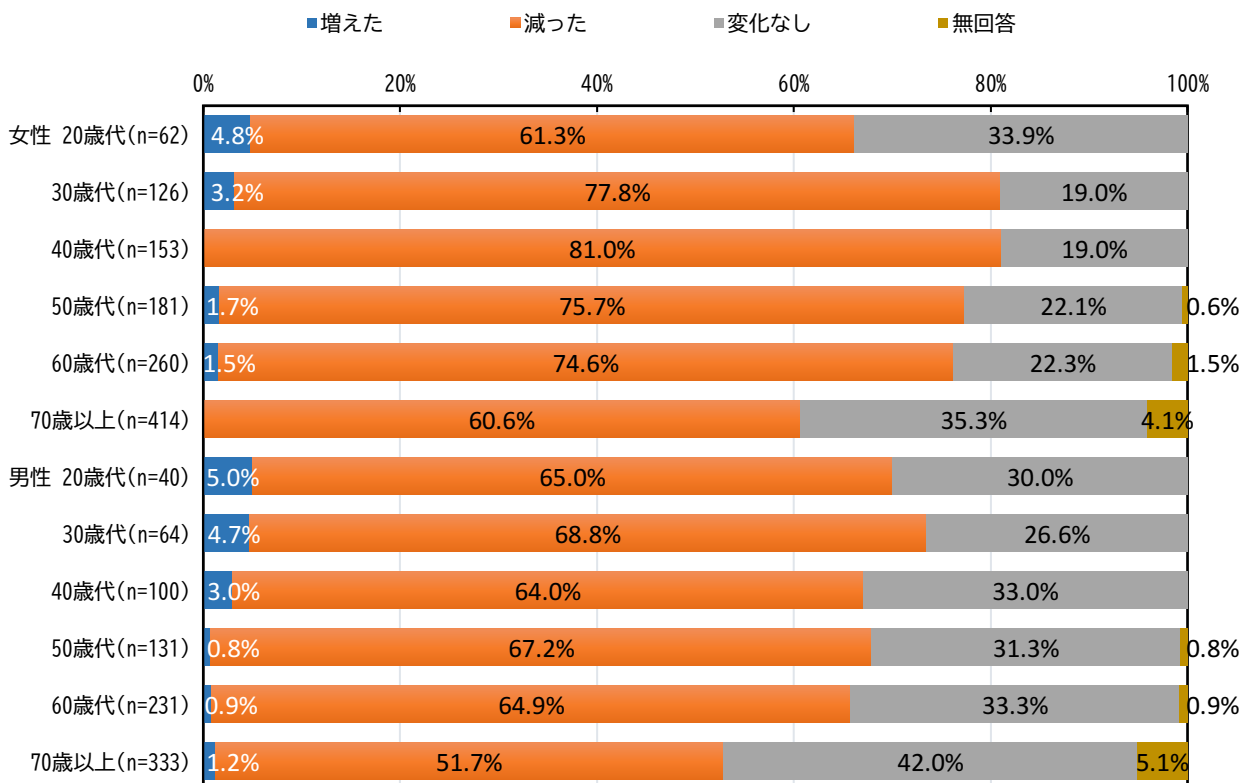
【外出の機会についての状況の変化】



(性別)



(性・年代別)



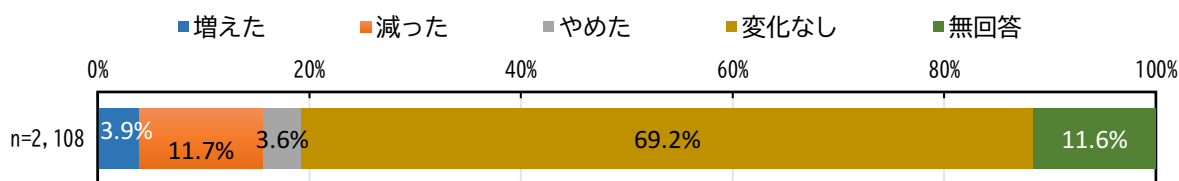
問 29 新型コロナウイルス感染症の流行前と比べて、現在の状況に変化はありますか。
各問について、それぞれ1つ選んで○をつけてください。
<飲酒（お酒の量）について>

新型コロナウイルス感染症流行後の飲酒（酒量）状況の変化について、「変化なし」69.2%が最も高く、次いで「減った」11.7%、「増えた」3.9%となっている。

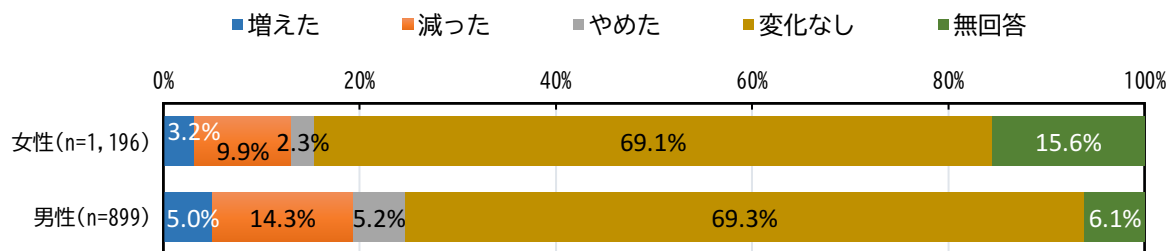
性別で見ると、男性では「減った」と回答した割合が女性と比べて4.4ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、男女ともに50歳代以上では、年代が上がるにつれて「増えた」「減った」と回答した割合が低くなっている。一方、40歳代男性では「増えた」と回答した割合が女性と比べて4.1ポイント高くなっている。

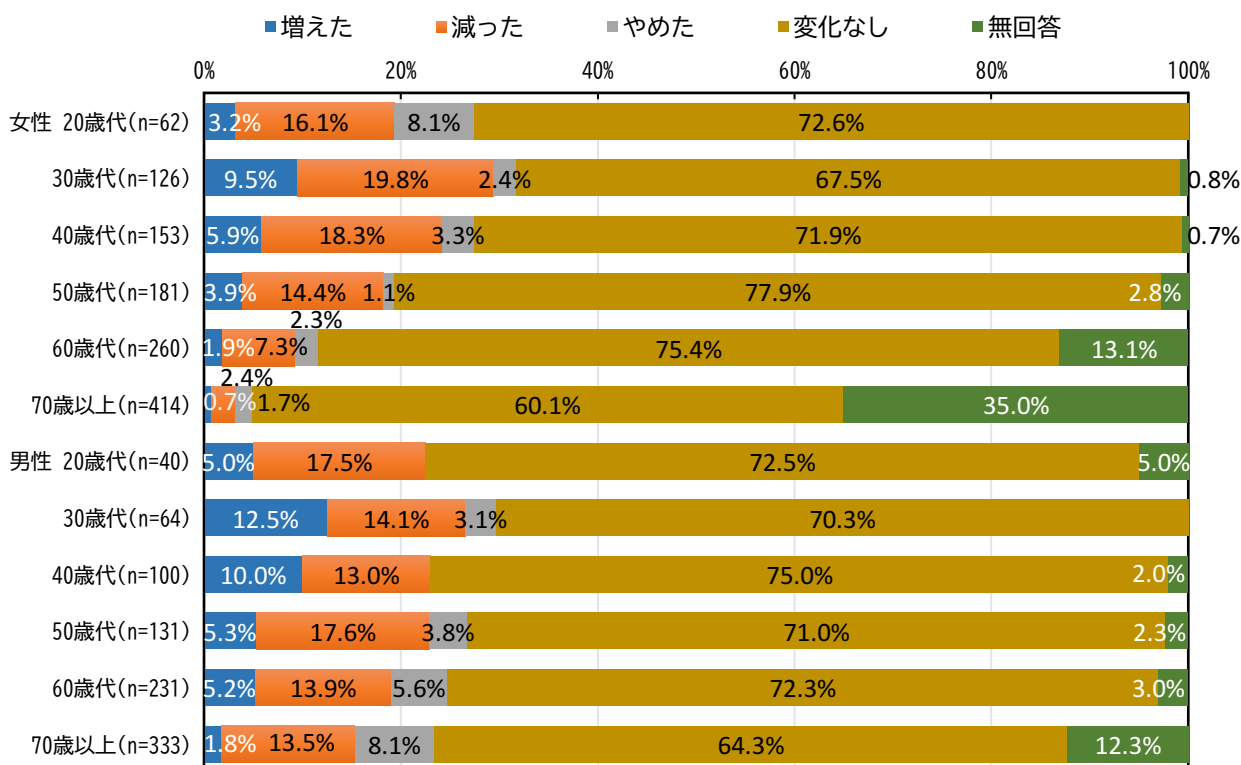
【飲酒（酒量）の状況の変化】



(性別)



(性・年代別)



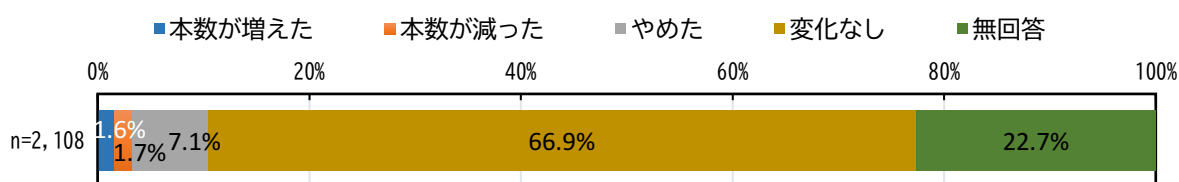
問 30 新型コロナウイルス感染症の流行前と比べて、現在の状況に変化はありますか。
各問について、それぞれ1つ選んで○をつけてください。
＜喫煙（たばこ）について＞

新型コロナウイルス感染症流行後の喫煙状況の変化について、「変化なし」66.9%が最も高く、次いで「やめた」7.1%、「本数が減った」1.7%、「本数が増えた」1.6%となっている。

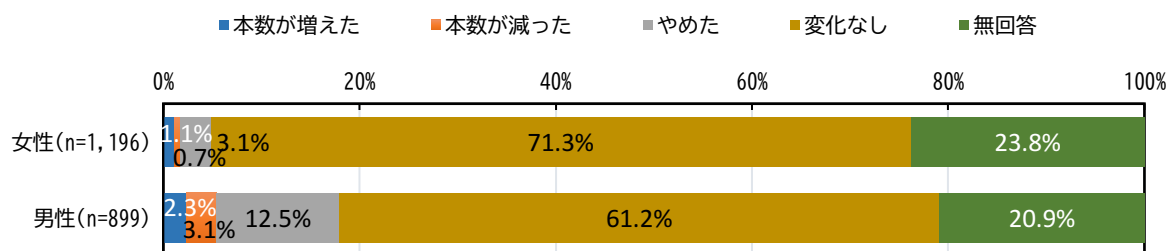
性別で見ると、女性では「変化なし」と回答した割合が男性と比べて10.1ポイント高く、男性では「やめた」と回答した割合が女性と比べて9.4ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、70歳以上男性では「やめた」と回答した割合が約2割となっており、他の性・年代と比べてわずかに高くなっている。

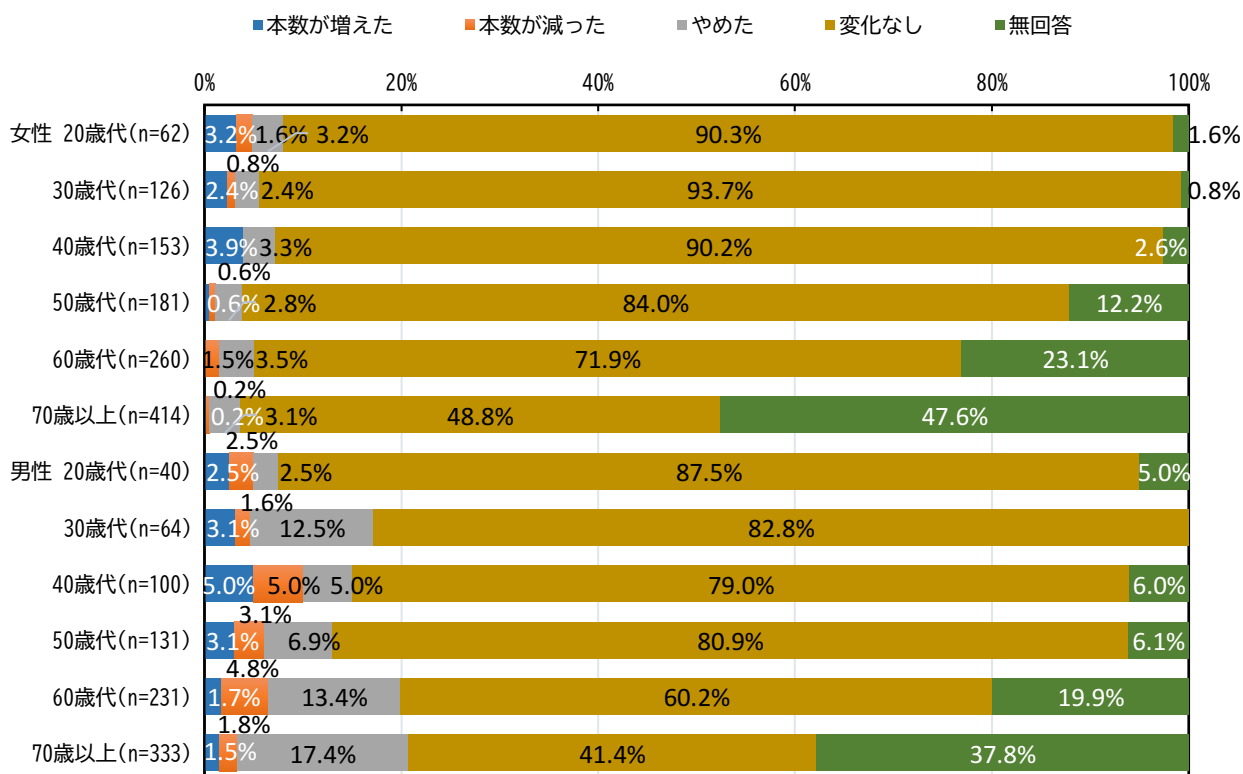
【喫煙の状況の変化】



(性別)



(性・年代別)



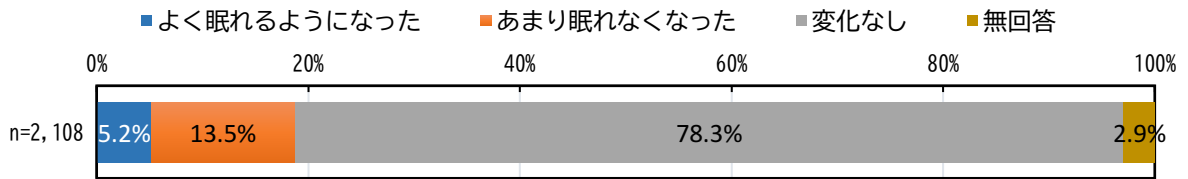
問 31 新型コロナウイルス感染症の流行前と比べて、現在の状況に変化はありますか。
各問について、それぞれ1つ選んで○をつけてください。
<睡眠について>

新型コロナウイルス感染症流行後の睡眠状況の変化について、「変化なし」78.3%が最も高く、次いで「あまり眠れなくなった」13.5%、「よく眠れるようになった」5.2%となっている。

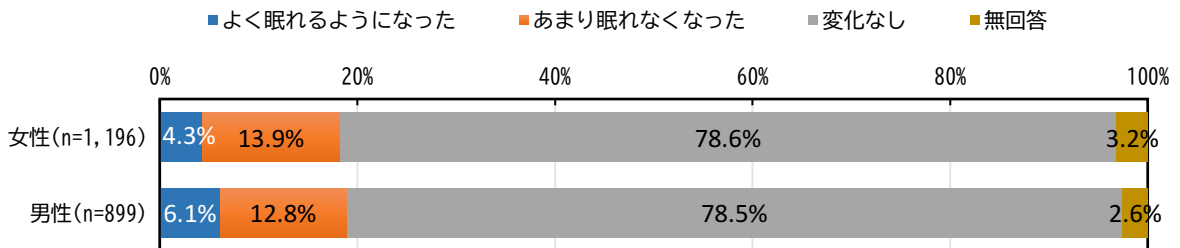
性別でみると、男女で大きな差異はみられない。

性・年代別でみると、30歳代の男女と、50歳代男性では「あまり眠れなくなった」と回答した割合が約2割となっており、他の性・年代と比べてわずかに高くなっている。

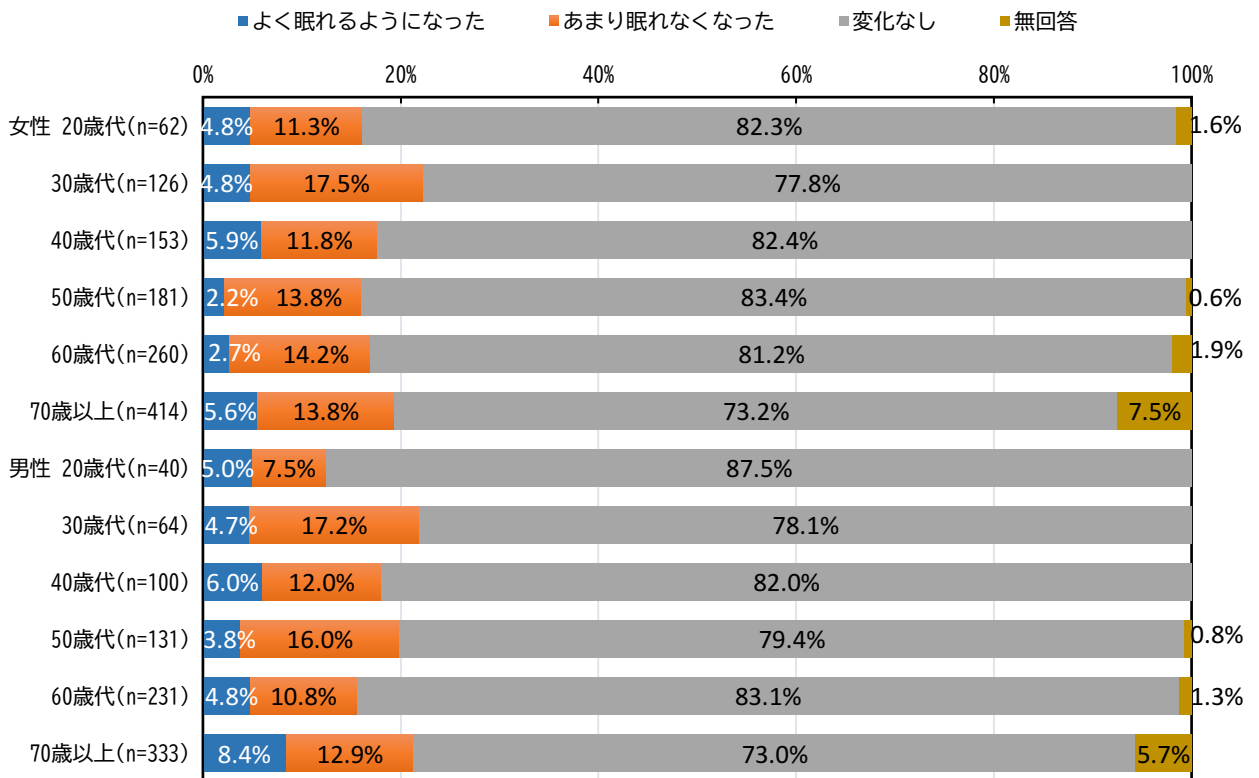
【睡眠の状況の変化】



(性別)



(性・年代別)



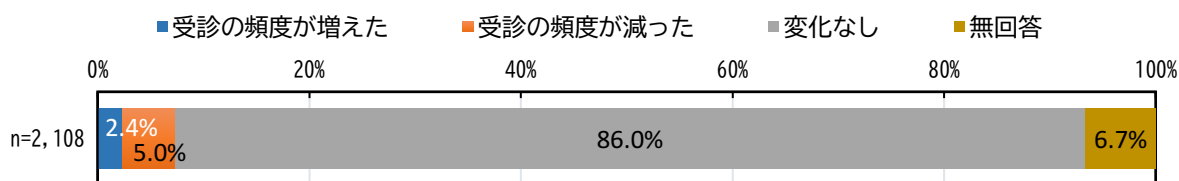
問 32 新型コロナウイルス感染症の流行前と比べて、現在の状況に変化はありますか。
各問について、それぞれ1つ選んで○をつけてください。
＜健康診断・人間ドックの受診について＞

新型コロナウイルス感染症流行後の健康診断・人間ドックの受診状況の変化について、「変化なし」86.0%が最も高く、次いで「受診の頻度が減った」5.0%、「受診の頻度が増えた」2.4%となっている。

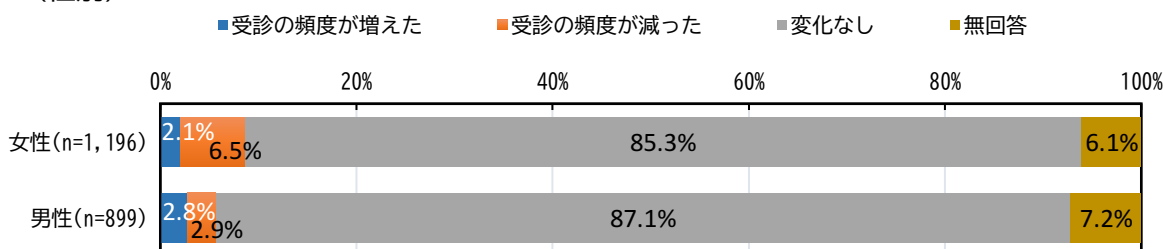
性別で見ると、女性では「受診の頻度が減った」と回答した割合が男性と比べて3.6ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、50歳代女性では「受診の頻度が減った」と回答した割合が、他の性・年代と比べてわずかに高くなっている。

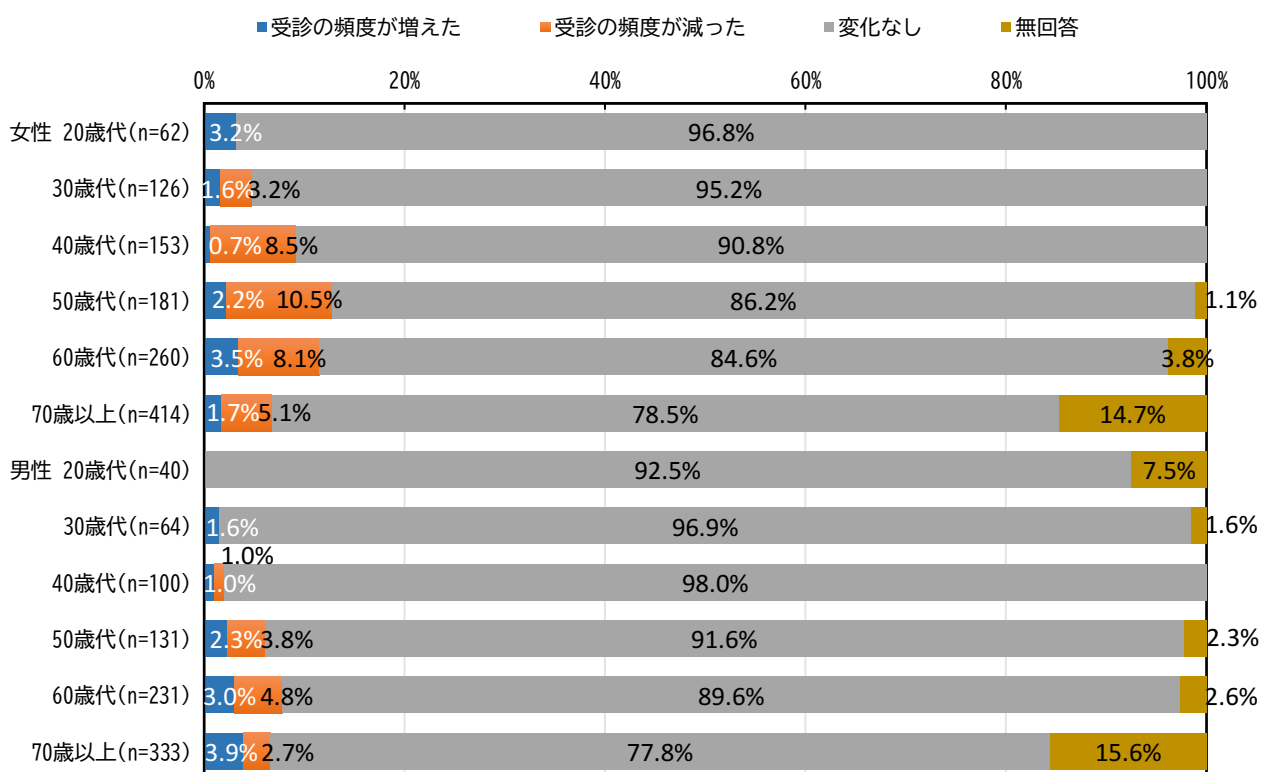
【健康診断・人間ドックの受診状況の変化】



(性別)



(性・年代別)



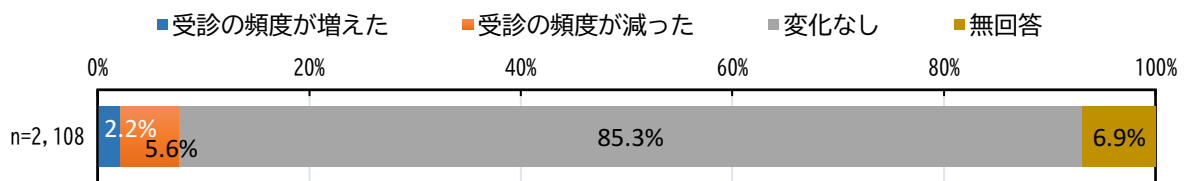
問 33 新型コロナウイルス感染症の流行前と比べて、現在の状況に変化はありますか。
各問について、それぞれ1つ選んで○をつけてください。
〈がん検診の受診について〉

新型コロナウイルス感染症流行後のがん検診受診状況の変化について、「変化なし」85.3%が最も高く、次いで「受診の頻度が減った」5.6%、「受診の頻度が増えた」2.2%となっている。

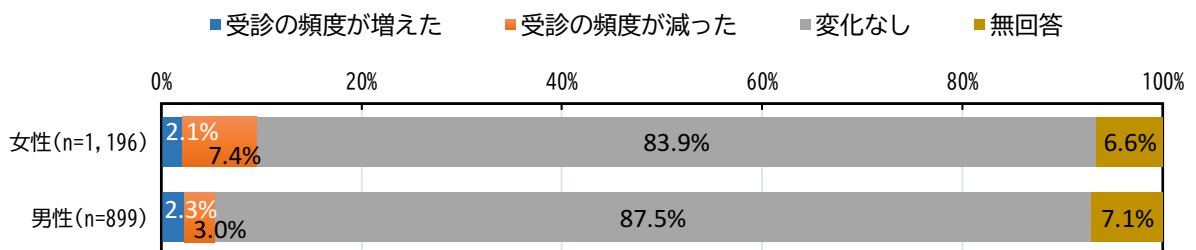
性別でみると、女性では「受診の頻度が減った」と回答した割合が男性と比べて4.4ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、60歳代女性では「受診の頻度が減った」と回答した割合が、他の性・年代と比べてわずかに高くなっている。

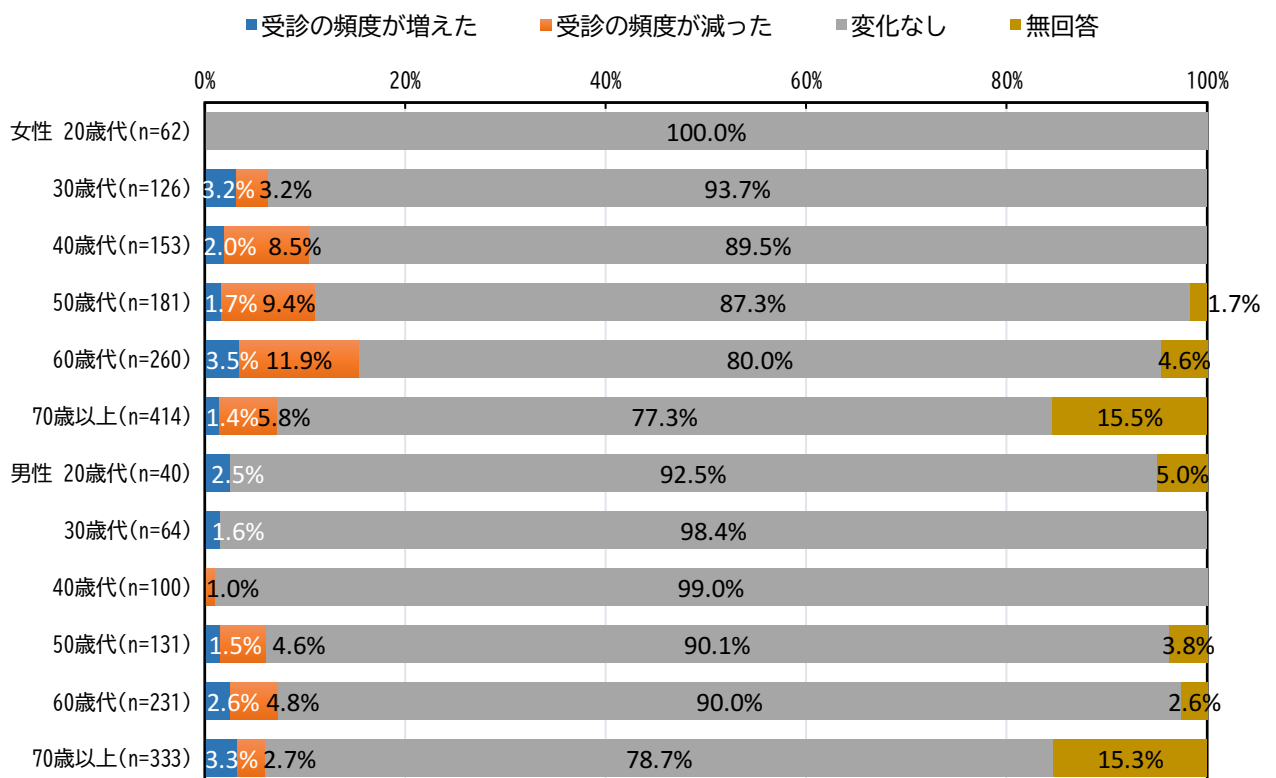
【がん検診受診状況の変化】



(性別)



(性・年代別)



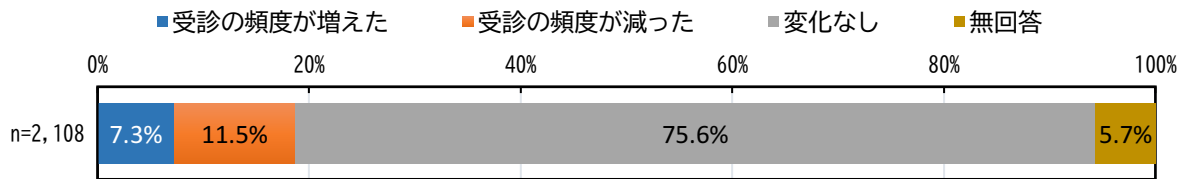
問 34 新型コロナウイルス感染症の流行前と比べて、現在の状況に変化はありますか。
各問について、それぞれ1つ選んで○をつけてください。
〈歯科の受診について〉

新型コロナウイルス感染症流行後の歯科受診の状況の変化について、「変化なし」75.6%が最も高く、次いで「受診の頻度が減った」11.5%、「受診の頻度が増えた」7.3%となっている。

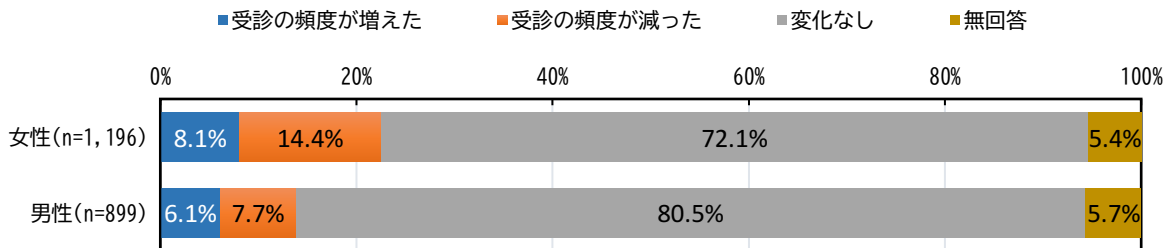
性別でみると、女性では「受診の頻度が減った」と回答した割合が男性と比べて6.7ポイント高く、男性では「変化なし」と回答した割合が女性と比べて8.4ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、40歳代から60歳代の女性では「受診の頻度が減った」と回答した割合が約2割となっており、他の性・年代と比べて高くなっている。

【歯科受診状況の変化】



(性別)



(性・年代別)

